

移行ガイド

iPlanet Messaging Server

Release 5.0

2001 年 2 月

Copyright © 2001 Sun Microsystems, Inc. Some preexisting portions Copyright © 2001 Netscape Communications Corporation. All rights reserved.

Sun、Sun Microsystems、Sun ロゴ、iPlanet、および iPlanet ロゴは、Sun Microsystems, Inc. の米国またはその他の国における商標または登録商標です。Netscape および Netscape N ロゴは、Netscape Communications Corporation の米国またはその他の国における登録商標です。その他の Netscape ロゴ、製品名、およびサービス名も Netscape Communications Corporation の登録商標であり、その他の国で登録されている場合があります。

Federal Acquisitions: 商用ソフトウェア -- 政府のユーザは、標準ライセンス条項の対象となります。

本書に記載されている製品は、使用、複製、配布、および逆コンパイルを制限するライセンスに基づいて配布されています。製品または本書のいかなる部分も Sun-Netscape Alliance およびライセンス許可者の書面による事前の承認がない限り、いかなる手段によるいかなる形式においても複製は禁止されています。

本書は「無保証」で提供されており、すべての明示または黙示の条件、表現、および保証は、黙示の商用性、特定の目的への適合性、または非侵害を含め、そのような否認が法的に無効である場合を除き、否認します。

目次

本書について	9
対象読者	9
前提条件	9
本書の構成	10
表記規則	10
関連情報	12
本書のオンライン情報	12
第 1 章 SIMS 4.0 および Netscape Messaging Server 4.x の変更、サポート中止および iPlanet Messaging Server への移行	13
メッセージングコンポーネントの進化	14
ディレクトリサポートの変更	15
ディレクトリサーバ	15
ディレクトリ情報ツリー (DIT)	16
Netscape Messaging Server 4.x Directory のネームスペース制限	18
iPlanet Messaging Server スキーマ	20
SIMS 4.0 のサポート中止 / 変更 / 移行	21
SIMS 4.0 MTA のサポート中止および変更	21
Vacation 機能	21
imta startup	21
メーリングリストへのアクセスの許可またはブロック	22
SMTP リレーの追加	22
SIMS 4.0 メッセージストアのサポート中止 / 変更	24
Netscape Messaging Server 4.x のサポート中止 / 変更 / 移行	26
Netscape Messaging Server 4.x MTA のサポート中止 / 変更	26
プラグイン	26
メーリングリストの無効な ErrorsTo アドレスに関してポストマスターへ通知する	26
グループ属性の移行について	27
SMTP リレー機能	28
RBL 検査を含む DNS 検査	32
許可のない大量電子メール (UBE) フィルタリング	33

Netscape Messaging Server 4.x メッセージストアのサポート中止 / 変更	34
高可用性クラスタでの SIMS および Netscape Messaging Server の移行	34

第 2 章 移行の概要	35
移行の前提条件	35
移行ツールキット	36
移行プロセス	36
SIMS メッセージストアの移行方法の選択	38
メッセージストアのオフライン移行	38
メッセージストアのオンライン移行	39
メッセージストアの段階的な移行	40

第 3 章 シングルサーバシステムの iPlanet Messaging Server への移行に関するシナリオおよび手順	43
メッセージストアのオフライン移行方法を使用したシングルサーバ SIMS システムからのアップグレード	44
メッセージストアのオンライン移行方法を使用したシングルサーバ SIMS システムからのアップグレード	48
メッセージストアの段階的な移行方法を使用したシングルサーバ SIMS システムからのアップグレード	54
SIMS 段階的な移行 - 付録	61
シングルサーバ Netscape Messaging Server システムからの移行	61

第 4 章 マルチサーバシステムの iPlanet Messaging Server への移行に関するシナリオおよび手順	67
マルチサーバ移行の概要	68
マルチサーバシナリオのトポロジ表示	68
構成サーバのインストール	71
SIMS マルチサーバ導入からの移行	72
SIMS ドメインエントリの iPlanet Messaging Server ドメインエントリへのアップグレード	73
SIMS SMTP リレーサーバのアップグレード	73
SIMS POP/IMAP プロキシサーバのアップグレード	75
オフライン移行方法を使用した、バックエンド SIMS メールストアサーバの iPlanet Messaging Server への移行	76
オンライン移行方法を使用した、バックエンド SIMS メールストアサーバの iPlanet Messaging Server への移行	81
マルチサーバ、オンラインで、ハードウェアに余裕がない場合の移行手順:	82
マルチサーバ、オンラインで、ハードウェアに余裕がある場合の移行手順:	86
段階的な移行方法を使用した、SIMS メッセージストアサーバから iPlanet Messaging Server への移行	90
付録	96
Netscape Messaging Server マルチサーバ導入のアップグレード	97

必要な命名コンテキストの追加	97
Netscape Messaging Server SMTP リレーサーバのアップグレード	98
Netscape Messaging Server MMP サーバのアップグレード	102
Netscape Messaging Server バックエンドメッセージストアの移行	102
第 5 章 iPlanet Messaging Server 移行のトラブルシューティング	107
バックアウトストラテジ	107
ディレクトリ移行中のエラー	107
付録 A コマンド行インタフェース	109
imsdirmig	109
形式	109
オプション	109
例	111
imsdaaci	112
形式	112
オプション	112
例	113
付録 B 共通移行手順	115
SIMS/Netscape Messaging Server から Netscape Directory Server 4.12 へのアップグレード	115
複数スキーマのサポート	116
SIMS でのマルチスキーマサポートの使用	116
Netscape Messaging Server 4.x でのマルチスキーマサポートの使用	117
iPlanet Messaging Server での既存のディレクトリ情報ツリーの使用	117
単一ドメインの Netscape Messaging Server ネームスペースから iPlanet Messaging Server ネームスペースへのマッピング	118
複数ドメインの Netscape Messaging Server ネームスペースから iPlanet Messaging Server ネームスペースへのマッピング	121
SIMS ディレクトリネームスペースの使用	124
用語集	125
索引	157

目次

図 1-1	ディレクトリ情報ツリー (DIT) の例	17
図 1-2	バニティドメインを使用した仮想ドメインのサポート	20
図 4-1	複数のサーバの例	70
図 B-1	Netscape Messaging Server 単一ドメインネームスペース	118
図 B-2	iPlanet Messaging Server がインストールされた後の単一ドメインネームスペース (下線付きノードはインストールプログラムにより作成される)	118
図 B-3	単一ドメインの Netscape Messaging Server ネームスペースから iPlanet Messaging Server ネームスペースへのマッピング - Delegated Administrator およびホストドメインはサポートされない	119
図 B-4	単一ドメインの Netscape Messaging Server ネームスペースから iPlanet Messaging Server ネームスペースへのマッピング - Delegated Administrator およびホストドメインはサポートされる	120
図 B-5	Netscape Messaging Server 複数ドメインネームスペース	121
図 B-6	iPlanet Messaging Server がインストールされた後の複数ドメインネームスペース (下線付きノードはインストールプログラムにより作成される)	121
図 B-7	簡単な複数ドメインの Netscape Messaging Server ネームスペースから iPlanet Messaging Server ネームスペースへのマッピング - Delegated Administrator およびホストドメインはサポートされない (下線付きノードは管理者により作成される)	122
図 B-8	複数ドメインの Netscape Messaging Server ネームスペースから iPlanet Messaging Server ネームスペースの DC ツリーへのマップ - Delegated Administrator およびホストドメインはサポートされない (下線付きノードは管理者により作成 / 変更される)	123
図 B-9	SIMS ディレクトリネームスペース	124

本書について

『*iPlanet Messaging Server* 移行ガイド』では、Sun Internet Mail Server (SIMS) 4.0 または Netscape Messaging Server 4.x 電子メールシステムから iPlanet Messaging Server 電子メールシステムに移行する方法を説明します。

この章は、以下の節で構成されています。

- 対象読者
- 前提条件
- 本書の構成
- 表記規則
- 関連情報
- 本書のオンライン情報

対象読者

本書は、SIMS 4.0 または Netscape Messaging Server 4.x から iPlanet Messaging Server に移行する必要のあるユーザを対象にしています。

前提条件

本書は、次のことに関して一般的な知識を有していることを前提としています。

- インターネットおよび World Wide Web
- iPlanet Administration Server
- iPlanet Directory Server および LDAP
- Netscape コンソール
- SIMS または Netscape Messaging Server のいずれか

本書の構成

本書は、次の章および付録で構成されています。

- 本書について (この章)
- 第1章「SIMS 4.0 および Netscape Messaging Server 4.x の変更、サポート中止および iPlanet Messaging Server への移行」
- 第2章「移行の概要」
- 第3章「シングルサーバシステムの iPlanet Messaging Server への移行に関するシナリオおよび手順」
- 第4章「マルチサーバシステムの iPlanet Messaging Server への移行に関するシナリオおよび手順」
- 第5章「iPlanet Messaging Server 移行のトラブルシューティング」
- 付録 A 「コマンド行インタフェース」
- 付録 B 「共通移行手順」
- 「用語集」

表記規則

このマニュアルでは、次のような字体や記号を特別な意味を持つものとして使用します。

字体または記号	意味	例
<code>AaBbCc123</code>	コマンド名、ファイル名、ディレクトリ名、画面上的コンピュータ出力、コード例を示します。	<code>.login</code> ファイルを編集します。 <code>ls -a</code> を使用してすべてのファイルを表示します。 <code>system%</code>
AaBbCc123	ユーザーが入力する文字を、画面上的コンピュータ出力と区別して示します。	<code>system% su</code> <code>password:</code>
<i>AaBbCc123</i>	変数を示します。実際に使用する特定の名前または値で置き換えます。	ファイルを削除するには、 <code>rm filename</code> と入力します。
『』	参照する書名を示します。	『コードマネージャ・ユーザーズガイド』を参照してください。

字体または記号	意味	例
	参照する章、節、ボタンやメニュー名、強調する単語を示します。	第5章「衝突の回避」を参照してください。パーユーザー」だけです。
\	枠で囲まれたコード例で、テキストがページ行幅を超える場合に、継続を示します。	sun% grep '^#define \ XV_VERSION_STRING'

コード例は次のように表示されます。

- C シェルプロンプト

```
system% command y|n [filename]
```

- Bourne シェルおよび Korn シェルのプロンプト

```
system$ command y|n [filename]
```

- スーパーユーザーのプロンプト

```
system# command y|n [filename]
```

[] は省略可能な項目を示します。上記の例は、*filename* は省略してもよいことを示しています。

| は区切り文字 (セパレータ) です。この文字で分割されている引数のうち 1 つだけを指定します。

キーボードのキー名は英文で、頭文字を大文字で示します (例 :Shift キーを押します)。ただし、キーボードによっては Enter キーが Return キーの動作をします。

ダッシュ (-) は 2 つのキーを同時に押すことを示します。たとえば、Ctrl-D は Control キーを押したまま D キーを押すことを意味します。

関連情報

本書の他に、iPlanet Messaging Server には、管理者の補足情報、およびエンドユーザや開発者のマニュアルが用意されています。次の URL を使用すると、すべての Messaging Server マニュアルを参照できます。

<http://docs.iplanet.com/docs/>

本書のオンライン情報

『iPlanet Messaging Server 移行ガイド』は、PDF および HTML フォーマットでオンライン参照できます。本書を参照するには、次の URL を使用します。

<http://docs.iplanet.com/docs/>

SIMS 4.0 および Netscape Messaging Server 4.x の変更、サポート中止および iPlanet Messaging Server への移行

iPlanet Messaging Server は、Netscape Messaging Server と Sun Internet Messaging Server (SIMS) を組み合わせた、まさに「最高品質の」統合です。両製品のもっとも堅牢で、もっともパフォーマンスの高いコンポーネントが結合され、iPlanet Messaging Server が開発されました。このような理由により、ユーザにとって、iPlanet Messaging Server の多くのプロセスおよび手続きが、Netscape Messaging Server および SIMS とは異なっています。

この章では、Netscape Messaging Server、SIMS システム、および iPlanet Messaging Server 間の主な違い、および iPlanet Messaging Server への移行に影響を与えるその他の要素を説明します。この章は、次の節で構成されています。

- 14 ページの「メッセージングコンポーネントの進化」
- 15 ページの「ディレクトリサポートの変更」
- 21 ページの「SIMS 4.0 のサポート中止 / 変更 / 移行」
- 26 ページの「Netscape Messaging Server 4.x のサポート中止 / 変更 / 移行」
- 34 ページの「高可用性クラスタでの SIMS および Netscape Messaging Server の移行」

メッセージングコンポーネントの進化

iPlanet Messaging Server は、Netscape Messaging Server および SIMS 製品を拡張したものです。次の iPlanet Messaging Server コンポーネントは、Netscape Messaging Server 4.x のコンポーネントに基づいているため、同じデータ形式および構成情報が使用されます。

- Mail アクセス (IMAP および POP) サーバ
- Web ブラウザメールアクセス (Messenger Express)
- ディレクトリサービス (Netscape Directory Server)
- Netscape Console を使用した GUI 管理

次の iPlanet Messaging Server コンポーネントは、Sun Internet Mail Server 4.0 の同じコンポーネントに基づいています。

- メール転送エージェント (MTA)
- ホストドメインの代行管理用の基本的な管理方法 (iPlanet Delegated Administrator for Messaging のアーキテクチャおよび実装を追加)
- ホストドメインの Directory Architecture

iPlanet Messaging Server には、以前の製品と同等のコンポーネントが含まれていますが、管理手順およびデータは、完全には上位互換性がありません。表 1-1 に、SIMS、Netscape Messaging Server および iPlanet Messaging Server 間の主な違いを示します。

表 1-1 SIMS 5.0 および Netscape Messaging Server 4.x と iPlanet Messaging Server 5.0 との相違

メッセージングコンポーネント	SIMS 4.0 から 5.0 への変更	Netscape Messaging Server 4.x から 5.0 への変更
MTA	SIMS MTA の更新バージョンを使用。管理、構成、およびカスタマイズプロセスはほとんど同じ。新規オプションについては、管理用マニュアルを参照	Netscape Messaging Server MTA は、新規 MTA に置き換え。管理、構成、およびカスタマイズプロセスは異なる
メッセージストア	異なるメッセージストア。管理コマンドはいくつか保持される	Netscape Messaging Server メッセージストアを使用。ユーティリティが追加
プロビジョニング ¹	CLI をプロビジョニングする SIMS の使用。新規 Delegated Administrator により GUI 作成が提供される。新規プロビジョニングガイドを参照	新規 CLI の提供。新規 Delegated Administrator により GUI プロビジョニングが提供される。新規プロビジョニングガイドを参照

表 1-1 SIMS 5.0 および Netscape Messaging Server 4.x と iPlanet Messaging Server 5.0 との相違

メッセージング コンポーネント	SIMS 4.0 から 5.0 への変更	Netscape Messaging Server 4.x から 5.0 への変更
System Admin CLI	いくつかのコマンドは同じだが、ほとんどのコマンドが異なる	いくつかのコマンドは同じだが、多くのコマンドが異なる。configutil は引き続き使用される
System Admin GUI	古い GUI は Netscape Admin Console で置き換えられる	変更なし。Netscape Admin GUI を使用
LDAP Directory	Sun Internet Directory Server は Netscape Directory Server に置き換えられる	変更なし。Netscape Directory を使用
スキーマ	異なるスキーマが使用されるが、古いスキーマはサポートされる	異なるスキーマが使用されるが、古いスキーマはサポートされる

1. アカウント管理システムにより提供されるデータに基づいて、ユーザおよびグループディレクトリエントリを作成および修正するカスタム作成ツールがある場合、エントリを新規ディレクトリスキーマに移行する前にこれらのツールを修正する必要があります。詳細については、『iPlanet Messaging Server プロビジョニングガイド』を参照してください。

ディレクトリサポートの変更

この節では、iPlanet Messaging Server のディレクトリサポートの変更について説明します。

ディレクトリサーバ

表 1-2 に、iPlanet Messaging Server およびその前のバージョンでサポートされるディレクトリサーバを示します。少なくとも、Sun Directory Server または以前のバージョンの Netscape Directory Server を使用したインストールを、iPlanet Messaging Server に移行する前に Netscape Directory Server 4.12 にアップグレードする必要があります。

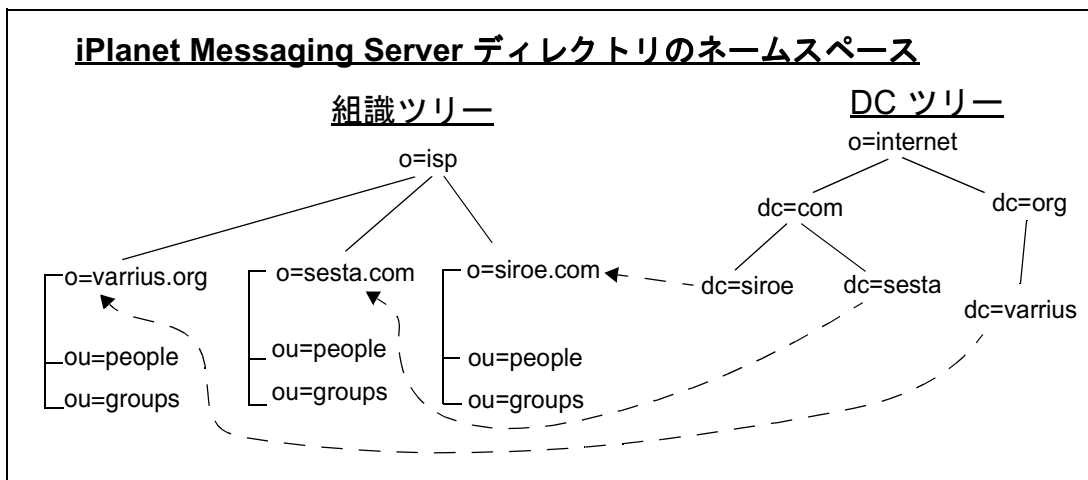
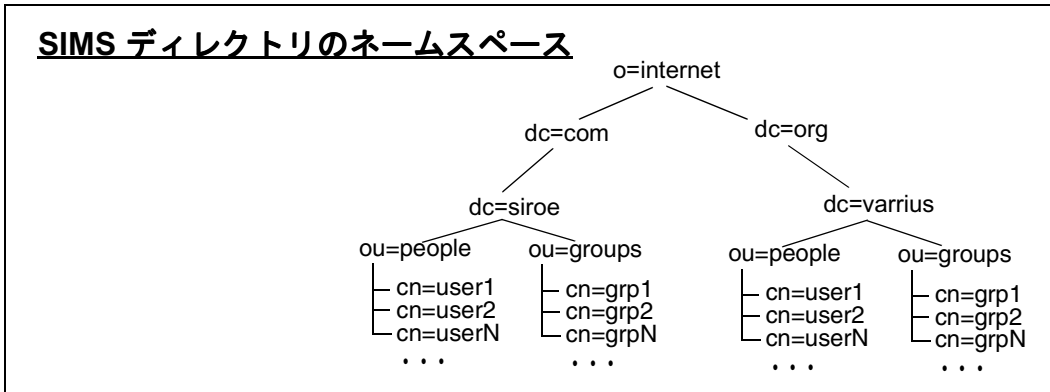
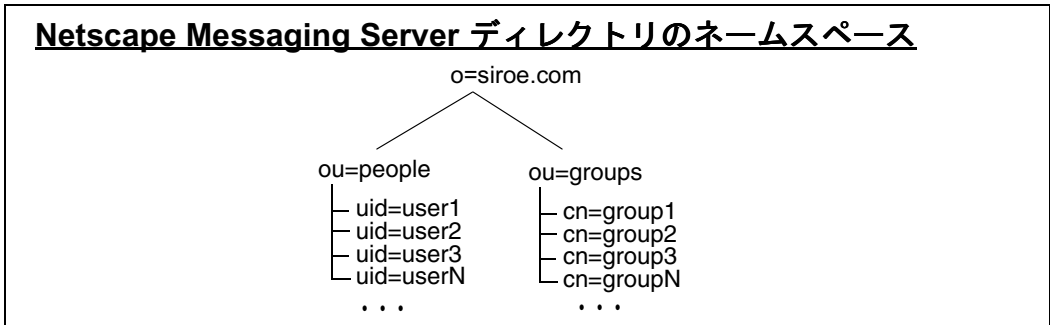
表 1-2 ディレクトリサーバのサポート

Messaging Server	Sun Directory Server 3.1 のサポート	Netscape Directory Server 4.12 のサポート
Netscape Messaging Server 4.x	なし	あり
Sun Internet Mail Server 4.0	あり	あり
iPlanet Messaging Server	なし	あり

ディレクトリ情報ツリー (DIT)

iPlanet Messaging Server のデフォルトの DIT は、Netscape Messaging Server および SIMS のディレクトリ DIT とは異なります。3 つの DIT を以下に示します。

図 1-1 ディレクトリ情報ツリー (DIT) の例



インストールされた、iPlanet Messaging Server ネームスペースは、組織ツリーおよびドメインコンポーネント ツリー (DC ツリー) の 2 種類のディレクトリ ツリーで構成されます。組織ツリー (別の組織ツリーを追加してシステムをサポートすることもできます) には、ユーザおよびグループエントリが含まれます。DC ツリーは、ローカル DNS ストラクチャをミラー化し、データエントリのインデックスとしてシステムで使用されます (17 ページの図 1-1 を参照)。DC ツリーは、スマートホスト、ルーティング、ホスト、ドメインディスク制限値などさまざまなドメインのオペレーティングパラメータも指定します。

iPlanet Messaging Server では、SIMS 形式のネームスペースが完全にサポートされています。Netscape Messaging Server への移行は、この時点でいくらか制限されます。これらについては、次の節で説明します。

Netscape Messaging Server 4.x Directory のネームスペース制限

iPlanet Messaging Server で Netscape Messaging Server ディレクトリネームスペースを使用するには、Netscape Messaging Server の Directory Information Tree (DIT) を iPlanet Messaging Server の DC ツリーにマッピングする必要があります。この作業の手順は、現在のシステムで仮想ドメインがサポートされているか、および UID がどのように指定されているかにより異なります。UID 指定は、iPlanet Messaging Server への移行を制限できます。また、UID 指定は、おおまかに 4 つのカテゴリに分けることができます。

- 仮想ドメインなし。書式 <LocalPart> の UID (ドメインが 1 つだけ)。例：

```
uid:wallyc  
uid:ofanning
```

- 仮想ドメインを含む。UID に @ セパレータを使用。@ の右側は完全修飾のドメイン名 (FQDN)。書式 <LocalPart>@<FQDN> の UID。例：

```
uid:wallyc@varrius.org  
uid:ofanning@siroe.com
```

- 仮想ドメインを含む。@ セパレータを使用。@ の右側は、FQDN ではない。例：

```

ofanning@siroe
havlicek@sesta
barkley@florizel

```

この書式の UID を使用するシステムは、この時点では移行できません。

- UID が @ 以外のセパレータを使用する仮想ドメインを含む。例：

```

ofanning#siroe
eddie#sesta
barkley#florizel.com

```

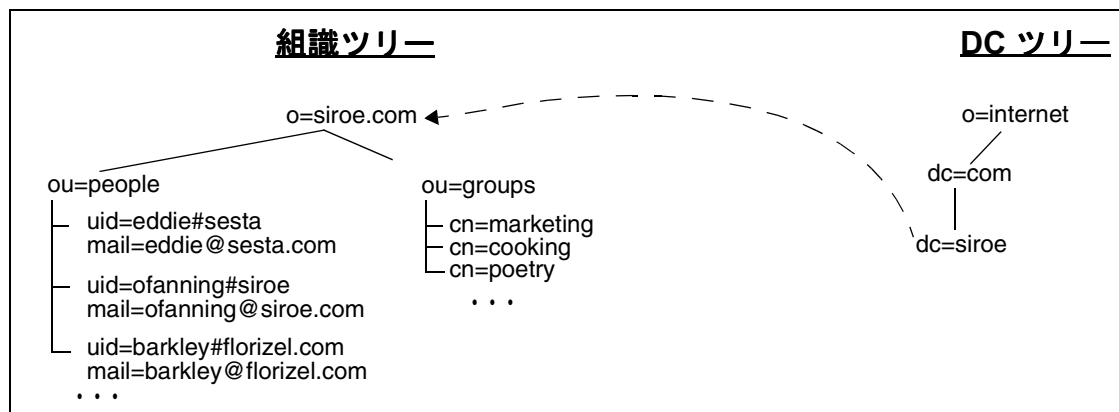
imsdirmig では、この時点では、このスタイルの UID はサポートされていません。しかし、ドメインレベルの管理がサポートされないという制限はありますが、バニティドメインを使用して、このタイプの導入を iPlanet Messaging Server に移行することもできます (Delegated Administrator なし)。

このスタイルの UID をサポートするには、次のようにします。

- すべてのユーザ/グループをデフォルトドメインに含めます。これは、DC ツリーのデフォルトドメインノードの inetDomainBaseDN 属性を、組織ツリーのルートサフィックスに設定することで行います。dc=siroe、dc=com、o=internet の場合、inetDomainBaseDN を、ルートサフィックス o=siroe.com に設定します。これには、デフォルトドメインのすべての仮想ドメインのユーザ/グループが含まれます。
- オブジェクトクラス msgVanityDomainUser をすべてのユーザエントリに追加して、属性 msgVanityDomain を、ユーザの仮想ドメインの完全修飾ドメイン名に設定します。ユーザの仮想ドメインは、ユーザのメールアドレスのドメイン部分です。たとえば、uid=eddie#sesta エントリの場合、メールアドレス eddie@sesta.com のドメイン部分は sesta.com なので、msgVanityDomain の値は sesta.com になります (図 1-2 を参照)。

inetDomainBaseDN のルートサフィックスへの設定については、『*iPlanet Messaging Server* プロビジョニングガイド』を参照してください。Netscape Messaging Server ネームスペースの iPlanet Messaging Server ネームスペースへのマッピングについては、117 ページの「iPlanet Messaging Server での既存のディレクトリ情報ツリーの使用」を参照してください。

図 1-2 バニティドメインを使用した仮想ドメインのサポート



iPlanet Messaging Server スキーマ

ホストドメインや iPlanet Delegated Administrator などのさまざまな機能をサポートするため、iPlanet Messaging Server ではいくつかの拡張が導入され、ディレクトリスキーマが変更されました。しかし、これらの変更はオプションであり、iPlanet Messaging Server では Netscape Messaging Server および SIMS スキーマの両方がサポートされています。

ただし、新しい iPlanet Messaging Server 機能をすべて利用するには、ディレクトリオブジェクトを新規スキーマにアップグレードする必要があります。新規機能を利用するには、データ全体を iPlanet Messaging Server スキーマにアップグレードすることをお勧めします。iPlanet Messaging Server スキーマを必要とする機能は次のとおりです。

- iPlanet Delegated Administrator for Messaging コマンド行ユーティリティ
- iPlanet Delegated Administrator for Messaging GUI ツール
- サーバ側のフィルタリング規則
- Vacation 属性
- ホストドメインのサポート

新規スキーマへの移行は、サービスを中継せず徐々に行うことができます。しかし、一度新規スキーマに移行したグループまたはユーザを、古いメッセージングサーバを実行するホストに戻すことは困難です。移行は、古いサーバに戻す必要がなくなった場合だけ行なってください。スキーマの完全な説明については、『*iPlanet Messaging Server Schema Reference Manual*』を参照してください。

iPlanet Messaging Server スキーマへのアップグレードは、`imsdirmig` ユーティリティで行われます。また、このアップグレードは、各移行シナリオで説明されています。`imsdirmig` は、移行ツールキットで利用できます。

SIMS 4.0 のサポート中止 / 変更 / 移行

SIMS 4.0 MTA のサポート中止および変更

iPlanet Messaging Server では、SIMS で使用されていた MTA と同じ MTA が使用されますが、これは、より高度なバージョンです。また、新規バージョンでの変更箇所がいくつかありますので、この節で説明します。

Vacation 機能

Vacation (不在) 属性は、iPlanet Messaging Server では異なります。ユーザ LDAP エントリを iPlanet Messaging Server スキーマに変換しない限り、Vacation 機能は有効になりません。

imta startup

`imsimta startup` および `imsimta restart` コマンドを使用しても、構成のコンパイルは自動的には行われません。iPlanet Messaging Server では、コンパイル済みの構成を使用するか、しないかを選択できます。パフォーマンス向上のため、コンパイル済みの構成を使用することをお勧めします。また、これは、`dirsync` が正常に機能するために必要です。しかし、たとえば、システムテストのときなど、コンパイル済みの構成を使用せずに実行する方が、便利なこともあります。構成をコンパイルする場合、`imsimta cnbuild` コマンドを明示的に発行するか、`imsimta cnbuild` および `imsimta restart` を使用した場合と同じ効果がある `imsimta refresh` コマンドを使用する必要があります。

メーリングリストへのアクセスの許可またはブロック

`mgrpAllowedBroadcaster` または `mgrpDisallowedBroadcaster` を `iPlanet Messaging Server` の静的グループのアドレスに設定することはできません。その代わりに、`mgrpAllowedBroadcaster` および `mgrpDisallowedBroadcaster` 属性は、特定の許可ポスターのアドレスに設定するか、動的グループ (URL 条件を使用した LDAP 検索) として指定する必要があります。

SMTP リレーの追加

`iPlanet Messaging Server` は、デフォルトでは、SMTP リレーをブロックするように構成されています。つまり、権限のない外部ソースからの外部アドレスへのメッセージ転送が拒否されます (外部システムとは、サーバ自体が常駐するホスト以外のシステムです)。このデフォルトの構成は、ほかのすべてのシステムが外部システムと見なされるという点で、SMTP リレーのブロックにおいて非常に強固なものです。

外部アドレスに指定された `iPlanet Messaging Server` システムの SMTP サーバを介してメッセージを送信しようとした IMAP および POP クライアントが、SMTP AUTH (SASL) を使用して認証しない場合、メッセージの送信は拒否されます。そのため、リレーが常に受け入れられる独自の内部システムおよびサブネットが認識されるように、構成を修正することがあります。

どのシステムおよびサブネットが内部として認識されているかは、通常、`<InstanceRoot>/imta/config/mappings` ファイルにある `INTERNAL_IP` マッピングテーブルにより制御されます。

たとえば、IP アドレスが `123.45.67.89` の `iPlanet Messaging Server` システムでは、デフォルトの `INTERNAL_IP` マッピングテーブルは次のようになります。

```
INTERNAL_IP

$(123.45.67.89/32)    $Y
127.0.0.1           $Y
*                   $N
```

ここで、最初のエントリは、\$(IP-pattern/significant-prefix-bits) 構文を使用しており、123.45.67.89 のすべての 32 ビットと一致する任意の IP アドレスが、内部で一致し、内部として扱われることを示しています。2 番目のエントリは、ループバック IP アドレス 127.0.0.1 を内部として認識します。最後のエントリは、ほかのすべての IP アドレスが、内部として認識されないことを指定します。すべてのエントリの前には、空白を少なくとも 1 つ入れる必要があるので注意してください。

最後の \$N エントリの前に追加の IP アドレスまたはサブネットを指定して、別のエントリを追加することもできます。これらのエントリは、左側の IP アドレスまたはサブネット (サブネットの指定には \$(.../...) 構文を使用) および右側の \$Y を指定する必要があります。また、既存の \$(.../...) エントリを修正して、より一般的なサブネットを使用することもできます。

たとえば、この例と同じサイトに、クラス C ネットワークがある場合、つまり、123.45.67.0 サブネットのすべてが所有されている場合、アドレスのマッチングで使用されるビット数を変更することで、このサイトの初期エントリを修正する必要があります。以下のマッピングテーブルでは、32 ビットから 24 ビットに変更します。これにより、クラス C ネットワークのすべてのクライアントは、この SMTP リレーサーバを介してメールをリレーできます。

INTERNAL_IP		
\$(123.45.67.89/24)		\$Y
127.0.0.1		\$Y
*		\$N

また、このサイトで、範囲 123.45.67.80-123.45.67.99 の IP アドレスだけが所有されている場合、このサイトでは、以下を使用する必要があります。

```
INTERNAL_IP

! Match IP addresses in the range 123.45.67.80-123.45.67.95
$(123.45.670,80/28) $Y
! Match IP addresses in the range 123.45.670.96-123.45.670.99
$(123.45.670.96/30) $Y
127.0.0.1 $Y
* $N
```

<InstanceRoot>/imsimta test -match ユーティリティは、IP アドレスが特定の \$(.../...) テスト条件に一致するかどうか検査するときに使用できます。また、通常、<InstanceRoot>/imsimta test -mapping ユーティリティは、INTERNAL_IP マッピングテーブルがさまざまな IP アドレス入力に対して目的の結果を返すか検査するときに使用するとより役立ちます。

INTERNAL_IP マッピングテーブルを修正したら、変更内容が有効になるように、必ず <InstanceRoot>/imsimta restart コマンド (コンパイル構成で実行していない場合) または <InstanceRoot>/imsimta refresh コマンド (コンパイル構成で実行している場合) を発行します。

マッピングファイルや一般的なマッピングテーブルフォーマット、および imsimta コマンドライン ユーティリティの詳細については、『iPlanet Messaging Server リファレンスマニュアル』を参照してください。

SIMS 4.0 メッセージストアのサポート中止 / 変更

既存の SIMS 4.0 メッセージストアは、新しい iPlanet Messaging Server フォーマットとの互換性がありません。SIMS 4.0 メッセージストアを新しいメッセージストアフォーマットに変換する必要があります。これについては、以降の章で説明します。

SIMS でのメッセージストア構成および管理は、SIMS Admin Console を使用して構成ファイルを修正するか、いくつかのコマンド行ユーティリティを実行することで行われていました。iPlanet Messaging Server では、構成ファイルは使用されませんが、その構成パラメータはディレクトリに保存されます。これらのパラメータは、Administration Console および `configutil` コマンドを使用して修正されます。また、メッセージストア コマンド行 ユーティリティの多くは、iPlanet Messaging Server で引き続き使用できます。SIMS からの移行における変更箇所を、以下にいくつか示します。詳細については、『*iPlanet Messaging Server* 管理者ガイド』および『*iPlanet Messaging Server* リファレンスマニュアル』を参照してください。

- iPlanet Messaging Server には、`imexpire` および `impurge` で事前に処理される機能を自動的に実行するメッセージストア デーモンがあります。このデーモンは、メッセージストア ロックおよびトランザクションログを自動的に管理します。このデーモンは、常に実行している必要があります。
- バックアップおよび復元は、SIMS 4.0 と同じです。
- `/var/mail` メッセージアクセスはありません。
- `imsrestore` の対話型モードはありません。
- `imcheck` は、`reconstruct` に変わりました。
- IMAP IDLE コマンドはありません。
- `imdeluser` は、`mboxutil -d` に変わりました。
- `imexpire`、`iminitquota`、および `impurge` は不要になりサポートされていません。
- `imquotacheck` は、`quotacheck` になりました。
- POP beofre SMTP はありません (この機能は、ディレクトリを使用して、UID の解釈方法を制御するときに利用できます)。
- AUTH API はありません。

Netscape Messaging Server 4.x のサポート中止 / 変更 / 移行

Netscape Messaging Server 4.x MTA のサポート中止 / 変更

iPlanet Messaging Server では、Netscape Messaging Server と完全に異なる MTA が使用されるので、変更箇所がたくさんあります。これらの変更のいくつかを以下に示します。詳細については、『*iPlanet Messaging Server* 管理者ガイド』および『*iPlanet Messaging Server* リファレンスマニュアル』を参照してください。

プラグイン

一般的なプラグイン機能の多くは、iPlanet Messaging Server MTA においても同じですが、iPlanet Messaging Server では、メッセージプラグインはサポートされていません。しかし、一部の Netscape Messaging Server オプションおよびカスタマイズについては、iPlanet Messaging Server で直接替わりになるものはありません。これらの機能やカスタムプラグインについては特にマニュアルに記載されていません。iPlanet Messaging Server チャンネルプログラムは、Netscape Messaging Server プラグイン API とは互換性がないので、iPlanet Messaging Server のカスタムチャンネルプログラムとして Netscape Messaging Server プラグインを再コーディングする必要があります。このような新規プログラムは、移行を始める前に、開発およびテストする必要があります。

メーリングリストの無効な ErrorsTo アドレスに関してポストマスターへ通知する

Netscape Messaging Server では、メールリストに無効なメンバーおよび無効な ErrorsTo アドレスが含まれている場合、グループにメッセージを送信すると、無効なグループメンバーについてのエラーメッセージおよび無効な ErrorsTo アドレスについてのエラーメッセージの 2 種類のエラーメッセージがポストマスターに送信されます。iPlanet Messaging Server では、デフォルトでは、ポストマスターは無効なグループメンバーについてのメッセージだけを受け取ります。また、デフォルトでは、ポストマスターは無効な ErrorsTo アドレスのインスタンス通知についてなど、通知メッセージの返送に関する通知を受け取りません。

その代わりに、ポストマスターが通知メッセージの返送のコピー (たとえば、ErrorsTo アドレスの通知の返送などのような、返送の返送) も受け取るようにしたいサイトでは、sendpost キーワードを使用できます。

グループ属性の移行について

次のグループ属性および値は、サポートされていません。

グループ属性 mgrpMsgRejectAction はサポートされていない

グループ属性 mgrpMsgRejectAction および mgrpMsgRejectText は、この時点ではサポートされていません。これらの属性では、グループへのメッセージが拒否された場合に実行するアクションを指定できました。これらの属性は使用できますが、将来のバージョンまでサポートされません。

グループ属性 mgrpAllowedBroadcaster では、グループも有効な値として扱わない

グループ名を、mgrpAllowedBroadcaster の値として指定することはできません。対策としては、各グループメンバーの電子メールを追加します。この問題は、次のリリース (5.1) で修正される予定です。

グループ属性値「mgrpBroadcasterPolicy=PASSWD_REQUIRED」はサポートされない

グループ属性 mgrpBroadcasterPolicy は、PASSWD_REQUIRED に指定しても意味を持ちません。これは、今後のリリースで実装されます。

グループ属性 mgrpErrorsTo は、グループが LDAP 値として指定されている場合、機能しない

値は、mailto アドレスとして指定できます。例：

```
mgrpErrorsTo:mailto:baseball@siroe.com
```

LDAP 値は指定できません。例：

```
mgrpErrorsTo:ldap:///cn=baseball,ou=Groups,o=siroe.com,o=siroe.com
```

この問題は修正されません。

SMTP リレー機能

Netscape Messaging Server では、「アンチリレー」機能 (外部ドメインから送信されたメールは別の外部ドメインにリレーされない) は、プラグインにより提供されていました。iPlanet Messaging Server では、この機能は、MTA により提供されません。iPlanet Messaging Server の初期デフォルト構成は、SMTP リレーをブロックするように構成されています。つまり、権限のない外部ソースから外部アドレスへのメッセージ転送が拒否されます (外部システムとは、サーバ自体が常駐するホスト以外のシステムです)。このデフォルトの構成は、ほかのすべてのシステムが外部システムと見なされるという点で、SMTP リレーのブロックにおいて非常に強固です。

外部アドレスに指定された iPlanet Messaging Server システムの SMTP サーバを介してメッセージを送信しようとした IMAP および POP クライアントが、SMTP AUTH (SASL) を使用して認証しない場合、メッセージの送信は拒否されます。そのため、リレーが常に受け入れられる独自の内部システムおよびサブネットを認識するように、構成を修正することがあります。

どのシステムおよびサブネットが内部として認識するかは、通常、`<server-instance>/imta/config/mappings` ファイルにある INTERNAL_IP マッピングテーブルにより制御されます。

たとえば、IP アドレスが 123.45.67.89 の iPlanet Messaging Server システムでは、デフォルトの INTERNAL_IP マッピングテーブルは次のようになります。

```
INTERNAL_IP

$(123.45.67.89/32)  $Y
127.0.0.1        $Y
*                $N
```

ここで、最初のエントリーは、\$(IP-pattern/significant-prefix-bits) 構文を使用し、123.45.67.89 のすべての 32 ビットと一致する任意の IP アドレスが、内部で一致し、内部として扱われることを示しています。2 番目のエントリーは、ループバック IP アドレス 127.0.0.1 を内部として認識します。最後のエントリーは、すべてのその他の IP アドレスが、内部として認識されないことを指定します。すべてのエントリーの前には、空白を少なくとも 1 つ入れる必要があるので注意してください。

最後の \$N エントリーの前に追加の IP アドレスまたはサブネットを指定して、別のエントリーを追加することもできます。これらのエントリーは、左側の IP アドレスまたはサブネット (サブネットの指定には \$(.../...) 構文を使用) および右側の \$Y を指定する必要があります。また、既存の \$(.../...) エントリーを修正して、さらに一般的なサブネットを使用することもできます。

たとえば、この例と同じサイトに、クラス C ネットワークがある場合、つまり、123.45.67.0 サブネットのすべてが所有されている場合、アドレスのマッチングで使用されるビット数を変更することで、このサイトの初期エントリーを修正する必要があります。以下のマッピングテーブルでは、32 ビットから 24 ビットに変更します。これにより、クラス C ネットワークのすべてのクライアントは、この SMTP リレーサーバを介してメールをリレーできます。

INTERNAL_IP		
\$(123.45.67.89/24)		\$Y
127.0.0.1		\$Y
*		\$N

また、このサイトで、範囲 123.45.67.80-123.45.67.99 の IP アドレスだけが所有されている場合、このサイトでは、以下を使用する必要があります。

```
INTERNAL_IP

! Match IP addresses in the range 123.45.67.80-123.45.67.95
$(123.45.670.80/28) $Y
! Match IP addresses in the range 123.45.670.96-123.45.670.99
$(123.45.670.96/30) $Y
127.0.0.1 $Y
* $N
```

<InstanceRoot>/imsimta test -match ユーティリティは、IP アドレスが特定の \$(.../...) テスト条件に一致するかどうか検査するときに使用できます。また、通常、<InstanceRoot>/imsimta test -mapping ユーティリティは、INTERNAL_IP マッピングテーブルによりさまざまな IP アドレス入力に対して目的の結果が返されるかどうかを検査するときに使用するとより役立ちます。

INTERNAL_IP マッピングテーブルを修正したら、変更内容が有効になるように、必ず、<InstanceRoot>/imsimta restart コマンド (コンパイル構成で実行していない場合) または <InstanceRoot>/imsimta refresh コマンド (コンパイル構成で実行している場合) を発行します。

マッピングファイルや一般的なマッピングテーブルフォーマット、および imsimta コマンド行ユーティリティの詳細については、『*iPlanet Messaging Server* リファレンスマニュアル』を参照してください。

外部サイトでの SMTP リレーの使用

すべての内部 IP アドレスは、上記で説明したように、INTERNAL_IP マッピングテーブルに追加する必要があります。SMTP リレーを使用する使いやすいシステムおよびサイトがある場合、実際の IP アドレスとともにこれらを INTERNAL_IP マッピングテーブルに追加するのがもっとも簡単な方法です。

これらを実際の内部システムまたはサイトとして扱いたくない場合 (たとえば、ログ記録やその他の制御の目的で、実際の内部システムと、リレー特権を持つ使いやすいが内部ではないシステムを区別したい場合)、システムを構成する他の方法があります。

1 つには、このような使いやすいシステムからのメッセージ受信に特別なチャンネルを設定する方法があります。この設定を行うには、公式ホスト名 *tcp_friendly-daemon* で、既存の *tcp_internal* チャンネルと同種の *tcp_friendly* チャンネルを作成し、使いやすいシステムの IP アドレスをリストする INTERNAL_IP マッピングテーブルと同種の FRIENDLY_IP マッピングテーブルを作成します。次に、以下に示す現在の再指定規則のすぐ後に、

```
! Do mapping lookup for internal IP addresses []
$E$R${INTERNAL_IP,$L}$U%[$L]@tcp_intranet-daemon
```

以下に示す新しい再指定規則を追加します。

```
! Do mapping lookup for "friendly", non-internal IP addresses []
$E$R${FRIENDLY_IP,$L}$U%[$L]@tcp_friendly-daemon
```

別の方法としては、ORIG_SEND_ACCESS マッピングテーブルを、新規のエントリの書式で最後の \$N エントリの上に追加します。

```
tcp_local|*@siroe.com|tcp_local|* $Y
```

ここで、*siroe.com* は、使いやすいドメインの名前です。また、以下の書式で、ORIG_MAIL_ACCESS マッピングテーブルを追加します。

```
ORIG_MAIL_ACCESS
```

```
TCP|*|25|$(match-siroe.com-IP-addresses)|*|SMTP|MAIL| \
tcp_local|*@siroe.com|tcp_local|* $Y
TCP|*|*|*|SMTP|MAIL|tcp_local|*|tcp_local|* $N
```

ここで、\$(...) IP アドレス構文は、以前の節で説明した構文と同じです。

ORIG_SEND_ACCESS 検査は、アドレスが有効な限り成功するので、先に進み、より厳しい ORIG_MAIL_ACCESS 検査を行います。これが成功するのは、IP アドレスが *siroe.com* の IP アドレスに対応する場合だけです。

より簡単なこの方法における短所は、内部ユーザからのメッセージを含む、すべての通常の着信 SMTP メッセージが検査されるということです。これは、インターネットの接続性がダウンした場合に、効率が下がり、問題が発生する可能性があります。別の方法としては、PORT_ACCESS マッピングテーブルまたは ORIG_MAIL_ACCESS マッピングテーブルから dns_verify にコールアウトする方法があります。PORT_ACCESS マッピングテーブルには、ローカルな内部 IP アドレスやメッセージ送信者を検査しない初期エントリ、およびすべてのユーザに対して目的の検査をする後期のエントリがあります。または、ORIG_MAIL_ACCESS マッピングテーブルでは、tcp_local チャネルへの着信メッセージの検査を適用する場合だけ、内部システムまたはクライアントからの着信メッセージに対する検査を省略します。dns_verify へのエントリポイントを使用する例を以下に示します。

PORT_ACCESS

```
! Allow internal connections in unconditionally
*|*|*|*|* $C$|INTERNAL_IP;$3|$Y$E
! Check other connections against RBL list
TCP|*|25|*|* \
    $C$[<server-root>/bin/msg/imta/lib/dns_verify, \
dns_verify_domain_port,$1,rbl.maps.vix.com]EXTERNAL$E
```

ORIG_MAIL_ACCESS

```
TCP|*|25|*|*|SMTP|*|tcp_local|*|*|* \
    $C$[<server-root>/bin/msg/imta/lib/dns_verif, \
dns_verify_domain,$1,rbl.maps.vix.com]$E
```

許可のない大量電子メール (UBE) フィルタリング

アンチリレーについては、前の節を参照してください。サーバ側のメールボックスフィルタの手順については、『*iPlanet Messaging Server 管理者ガイド*』を参照してください。メッセージヘッダに基づいた着信メッセージのフィルタリングは、iPlanet Delegated Administrator for Messaging を使用して行うことができます。

Netscape Messaging Server 4.x メッセージストアのサポート中止 / 変更

iPlanet Messaging Server で使用されるメッセージストアデータ書式は、Netscape Messaging Server 4.x のものに基づいています。既存の Netscape Messaging Server メッセージストアは、新しい iPlanet Messaging Server に自動的に変換されます。ただし、簡単な変換手順が必要です。これについては、次の章で説明します。

高可用性クラスタでの SIMS および Netscape Messaging Server の移行

本書で説明するシナリオは、高可用性クラスタでの電子メールシステムのアップグレードで使用できます。クラスタソフトウェア自体のアップグレードおよびクラスタノードの分割方法などの詳細は、本書では扱いません。クラスタベンダーが提供するマニュアルを参照してください。

移行の概要

この章では、移行プロセスの概要について説明します。この章は、以下の節で構成されています。

- 35 ページの「移行の前提条件」
- 36 ページの「移行ツールキット」
- 36 ページの「移行プロセス」
- 38 ページの「SIMS メッセージストアの移行方法の選択」
 - 38 ページの「メッセージストアのオフライン移行」
 - 39 ページの「メッセージストアのオンライン移行」
 - 40 ページの「メッセージストアの段階的な移行」

移行の前提条件

これらの移行手順およびシナリオでは、次の条件が前提です。

- 移行するシステムが、SIMS 4.0 または Netscape Messaging Server 4.x システムである。
- システムで使用する LDAP ディレクトリが、Netscape Directory Server 4.12 である。
- Netscape Messaging Server システムが、`<LocalPart>` または `<LocalPart>@<FQDM>` 書式の UID を使用している (18 ページの「Netscape Messaging Server 4.x Directory のネームスペース制限」を参照)。

移行ツールキット

移行ツールキットは、本書で説明されている手順に必要です。このツールキットは、次のもので構成されています。

- 移行時のマルチスキーマサポートを提供するスキーマファイル
- ディレクトリエントリを変換して、iPlanet Messaging Server スキーマを使用する `imsdirmig` コマンド。このコマンドは、iPlanet Messaging Server がサポートされているすべてのプラットフォームで実行できます。
- LDIF ファイルを作成して、iPlanet Delegated Administrator for Messaging をサポートする `imsdaaci` コマンド。このコマンドは、iPlanet Messaging Server がサポートされているすべてのプラットフォームで実行できます。

移行プロセス

どの移行方法を選択するかは、次の3つの要素により異なります。

- システムを、SIMS または Netscape Messaging Server のどちらから移行するか
- メールシステムの複雑性 (システムが単一のスタンドアロンシステムで機能するか、またはさまざまな機能を実行し、それぞれが相互作用して機能するいくつかのシステムで構成されているか)
- ダウンタイムの許容度 (カスタマがどのくらい、メールの送受信を行わないでいられるか)

どの方法を選択しても、基本的な目的および手順は同じです。これらを簡単に説明します。

Netscape Messaging Server からの移行の場合、カスタマイズプラグインを再実装します。iPlanet Messaging Server では、メッセージングプラグインがサポートされていないので、新しいMTAの機能を使用して、プラグイン機能を再設計して、再コーディングする必要があります。MTAの機能では、もっとも一般的なプラグイン機能が扱われます。26ページの「Netscape Messaging Server 4.x MTAのサポート中止/変更」を参照してください。

ディレクトリサーバを Netscape Directory Server 4.12 にアップグレードします。115ページの「SIMS/Netscape Messaging Server から Netscape Directory Server 4.12 へのアップグレード」を参照してください。

ディレクトリサーバでマルチスキーマがサポートされるようにします。移行中、SIMS または Netscape Messaging Server スキーマと同時に、iPlanet Messaging Server スキーマをサポートする必要があります。これには、SIMS の新規スキーマファイルおよび Netscape Messaging Server の LDAP マスターやそのレプリカへのインストールが関連します (116 ページの「複数スキーマのサポート」を参照)。

マルチサーバ導入では、構成サーバをインストールします。構成サーバとは、iPlanet Messaging Server 構成データを含む LDAP サーバのことです。iPlanet Messaging Server を既存の Netscape Messaging Server 構成サーバにインストールできるのは、A) 新規スキーマにアップグレードした後、および B) 構成サーバで新規 Admin Domain を作成した後ですので注意してください。

iPlanet Messaging Server をインストールします。新しい iPlanet Messaging Server がインストールされたら、以前のディレクトリサーバからユーザエントリおよびグループエントリを取得するように、サーバを構成します (『iPlanet Messaging Server インストールガイド』を参照)。

メッセージストアを変換または移動します。SIMS 環境の場合：SIMS メッセージストアを iPlanet Messaging Server メッセージストアに変換します。この作業は、オフライン、オンラインまたはユーザバッチで段階的に行われます (38 ページの「SIMS メッセージストアの移行方法の選択」を参照)。Netscape Messaging Server 環境の場合：メッセージストアの移行は、システムがメッセージストアに指定されたときに、自動的にオンラインで行われます。

ユーザ、グループおよびドメインエントリをアップグレードして、iPlanet Messaging Server スキーマを使用します。iPlanet Messaging Server コンポーネントでは、ユーザおよびグループが混合スキーマで扱われるので、この移行は、段階的に、また任意のサービスの介入なしで行うことができます。しかし、新規スキーマへの移行を行うと、古いメッセージングサーバを実行しているホストに、グループやユーザを戻すのが困難になります。ユーティリティ `imsdirmig` は、エントリを移行して新規スキーマを利用するときに使用されます。

Netscape Messaging Server 移行の場合、すべてのユーザおよびメーリングリストエントリが、組織ツリーのドメインモードの下になるように、ディレクトリを修正する必要があります。これは、ドメインだけでなく、iPlanet Delegated Administrator for Messaging GUI ツールおよびユーティリティのサポートに必要です。これについては、117 ページの「iPlanet Messaging Server での既存のディレクトリ情報ツリーの使用」で説明します。

iPlanet Delegated Administrator for Messaging がサポートされるように、システムを修正します。Delegated Administrator Service Administrator エントリおよび Delegated Administrator Service Admin Group エントリを作成します。適切な ACI を追加します。

SIMS メッセージストアの移行方法の選択

SIMS メッセージストアを iPlanet Messaging Server メッセージストアに移行する方法には、オフライン移行、オンライン移行、および段階的な移行の 3 種類があります。どの方法を選択するかは、メッセージストアのサイズ、ダウンタイムの許容値、POP または IMAP を実行する場所により異なります。この節では、これらの各方法を説明し、各方法の長所と短所、各方法のシステムシナリオを示します。実際の段階的な移行手順は、後の節で説明します。

メッセージストアのオフライン移行

メッセージストアのオフライン移行には、SIMS のシャットダウン、iPlanet Messaging Server のインストール、古い SIMS メッセージストアデータのバックアップ、iPlanet Messaging Server メッセージストアデータへの復元や変換、iPlanet Messaging Server のオンライン起動が関係します。

メッセージストアのオフライン移行の長所

- 移行方法の中でもっとも単純で簡単である
- 必要に応じて、SIMS に戻すのがもっとも簡単である
- メッセージ到着順序を正確に保守する
- 移行に要する時間が短い

メッセージストアのオフライン移行の短所

- 必要なサーバダウンタイム (クライアントアクセスがない) がもっとも長い。ダウンタイムは、20 G バイトのメッセージストアの移行にそれぞれ約 1～2 時間、¹ および LDAP エントリのアップグレードにさらに 1～2 時間です (エントリ数やメールホスト名を変更するかどうかにより異なります)。

メッセージストアのオフライン移行のシナリオ

- メッセージストア 20 G バイト、ユーザ 50K で、POP または IMAP のいずれかを使用する単一または複数のサーバシステム

予測ダウンタイム：2～3 時間

- メッセージストア 100 G バイト、ユーザ 200K で、POP または IMAP のいずれかを使用する単一または複数のサーバシステム

予測ダウンタイム：7～12 時間

オフライン移行の詳細については、44 ページの「メッセージストアのオフライン移行方法を使用したシングルサーバ SIMS システムからのアップグレード」または 76 ページの「オフライン移行方法を使用した、バックエンド SIMS メールストアサーバの iPlanet Messaging Server への移行」を参照してください。

メッセージストアのオンライン移行

メッセージストアのオンライン移行には、iPlanet Messaging Server のインストール、および新規メッセージが新規メッセージストアで受信されるようにインストールサーバをデフォルトサーバとしてアクティブにする作業が関係します。後で SIMS メッセージストアが、新しくインストールされたサーバがアクティブおよびオンラインになっている間に、この新規サーバに移行されます。

メッセージストアのオンライン移行の長所

- ダウンタイムがもっとも短い
- 移行方法が単純で簡単である

短所

1. オフライン移行時間はハードウェアに依存する。複数の同時バックアップ / 復元セッションを実行する UltraSPARC プロセッサが 2 つ搭載された Ultra Enterprise E450 において、1 時間で移行できるメッセージストアは最大 20 G バイトです。メッセージストアのサブセットで検証し、合計移行時間を決定します。

- メッセージストアを移行すると、メッセージストアキューの到着順序が不正確になることがあります。より古いメッセージが、SIMS から移行されると、これらのメッセージは、iPlanet Messaging Server で受信された新規メッセージの上に追加されます。新しく受信されたメッセージの順序が古いメッセージの順序と混合します。
- sync を有効にする必要があるため、メッセージストアの移行が遅い（ハードウェアにより異なりますが、オフライン移行の場合 1 時間あたり 10 ～ 20 G バイトで、オンライン移行では 1 時間あたり 2 ～ 4 G バイト）。
- ログインするユーザに、古いメッセージおよびフォルダが移行されるまで、一時的に空のメールボックスが表示される。IMAP メールボックスの古いメッセージは、移行中には利用できません。iPlanet Messaging Server メッセージストアに送信された新規メッセージは利用できます。

メッセージストアのオンライン移行のシナリオ

- POP だけを使用するユーザコミュニティ
- メッセージストア 20 G バイト、ユーザ 50K で、POP または IMAP のいずれかを使用し、A) ダウンタイムが最小であることが重要、B) 古いメッセージと新規メッセージの順序が重要でない、C) ユーザメールボックスのすべてのメッセージが一時的に表示されなくても構わない、単一または複数のサーバシステム。IMAP の場合、ユーザは、移行が終了するまで、古い電子メールにアクセスできません。予測移行時間：5 ～ 10 時間
- メッセージストア 100 G バイト、ユーザ 200K で、POP または IMAP のいずれかを使用する単一または複数のサーバシステム。予測移行時間：25 ～ 50 時間

オンライン移行の詳細については、48 ページの「メッセージストアのオンライン移行方法を使用したシングルサーバ SIMS システムからのアップグレード」および 81 ページの「オンライン移行方法を使用した、バックエンド SIMS メールストアサーバの iPlanet Messaging Server への移行」を参照してください。

メッセージストアの段階的な移行

このシナリオでは、まだ移行されていないユーザの既存のマシンで SIMS がアクティブになっている間に、iPlanet Messaging Server が新規マシンにインストールされ、移行されたユーザ用にアクティブになります。ユーザメールボックスのバッチは、古い SIMS システムから新規 iPlanet Messaging Server システムに段階的に移行されます。

段階的な移行の基本手順は次とおりです。SIMS がアクティブになっている間に iPlanet Messaging Server がインストールされます。ユーザのバッチは一時的にメールシステムを使用できなくなり、SIMS から iPlanet Messaging Server に移行されます。次に、iPlanet Messaging Server は、SIMS システムが移行されていないユーザに対してアクティブでありながら、移行されたユーザのメールホストとしてアクティブになります。ユーザのバッチは、次々と SIMS から iPlanet Messaging Server に移行されます。すべてのユーザが移行されると、SIMS のアクティブ状態を解除できます。ダウンタイムは、移行されるユーザのバッチに制限されます。

メッセージストアの段階的な移行の長所

- ダウンタイムが、移行されるユーザのバッチに制限される
- 多くのユーザが使用する大規模なメッセージストアで、ダウンタイムを長くしたくない場合の移行に適している
- ほかのユーザが SIMS システムを使用している間に、少数のユーザを新規システムに移行できる

段階的な移行の短所

- 追加のハードウェアが必要
- プロセスが複雑
- 新規システムに移行されたユーザを SIMS システムに戻すのが困難。すべてのユーザを移行する前に、少数のユーザで移行を行なってみることを推奨する

メッセージストアの増分移行のシナリオ

- メッセージストア 500G バイト、ユーザ 500K、IMAP システム、最小のユーザ ダウンタイム
- すべてのユーザを一度にではなく、段階的に移行する必要のある任意のシステム

移行パフォーマンスは、オンライン移行と同じくらいです。詳細については、54 ページの「メッセージストアの段階的な移行方法を使用したシングルサーバ SIMS システムからのアップグレード」および 90 ページの「段階的な移行方法を使用した、SIMS メッセージストアサーバから iPlanet Messaging Server への移行」を参照してください。

シングルサーバシステムの iPlanet Messaging Server への移行に関するシナリオおよび手順

この章では、SIMS 4.0 または Netscape Messaging Server 4.x シングルサーバシステム¹ から iPlanet Messaging Server システムへの移行手順について説明します。この章の 4 つのシナリオでは、多くの SIMS 4.0 および Netscape Messaging Server 4.x 導入を扱います。ただし、それぞれシステム独自の導入であるため、状況に応じて手順を修正する必要があるので注意してください。

注 本書全体を読み、自身の移行問題についてのすべての局面を理解してください。プロセスを理解したら、すべてのディレクトリおよびメッセージストアデータのバックアップを作成し、システム全体の移行を行う前に、数人のユーザについて移行を実施してみてください。

この章は、以下の節で構成されています。

- 44 ページの「メッセージストアのオフライン移行方法を使用したシングルサーバ SIMS システムからのアップグレード」
- 48 ページの「メッセージストアのオンライン移行方法を使用したシングルサーバ SIMS システムからのアップグレード」

1. シングルサーバシステムとは、MTA およびメッセージストアがシングル ホストにある状態を指します。ディレクトリは、同じホストまたは異なるホストにあります。

- 54 ページの「メッセージストアの段階的な移行方法を使用したシングルサーバ SIMS システムからのアップグレード」
- 61 ページの「シングルサーバ Netscape Messaging Server システムからの移行」

メッセージストアのオフライン移行方法を使用したシングルサーバ SIMS システムからのアップグレード

シナリオの条件:

- 同じホストの SIMS 4.0 を iPlanet Messaging Server に置き換える
- メールサービスは、メッセージストア移行中は利用できない (オフライン)
- システムでは、Netscape Directory Server 4.12 が使用されている (ディレクトリサーバは、同じホストまたは異なるホストにある)
- SIMS ユーザ / グループディレクトリサフィックス: o=internet
SIMS/iPlanet Messaging Server メールサーバ名: mail.siroe.com
マスター Directory Server: mail.siroe.com
ディレクトリサーバ・バインドパスワード: secret
SIMS のデフォルトの組織 DN: dc=siroe,dc=com,o=internet
ユーザ / グループエントリは、DC ツリー (1 つの DIT) にある

移行手順:

1. ディレクトリサーバデータベースのバックアップを作成します。

コマンドは、<InstanceRootDirServer>/bin/db2ldif です。完全な説明については、
<http://docs.ipplanet.com/docs/manuals/directory.html#dirserver41>
の Netscape Directory Server のマニュアルを参照してください。

2. マルチスキーマサポート (SIMS、Netscape Messaging Server、および iPlanet Messaging Server) を有効にします。

結合スキーマファイル (merged.oc.conf および merged.at.conf) をディレクトリサーバに追加します。このディレクトリサーバは、ユーザまたはグループサーバとして iPlanet Messaging Server で使用されます。116 ページの「複数スキーマのサポート」を参照してください。

3. SMTP サーバキュー・サーバのすべてのメッセージが処理され、キューが空になっていることを確認します。

これを行う 1 つの方法として、ディスパッチャを停止します。

```
/opt/SUNWmail/sbin/imta stop dispatcher
```

この時点で、SMTP サーバはシャットダウンされますが、ジョブコントローラはキューのメッセージを処理し続けます。次のコマンドを入力すると、キューが空になっているか確認できます。

```
/opt/SUNWmail/sbin/imta qm counters
```

4. SIMS を停止します。次のコマンドを使用します。

```
/opt/SUNWmail/sbin/im.server stop
```

すべての SIMS プロセスが停止しているか確認します。LDAP サーバ、slapd は停止しないでください。停止中は、メールの送受信ができなくなります。

5. (メッセージストアの 2.5 倍のサイズを保守できるだけのシステムディスク容量があれば、この手順は飛ばしてください。) SIMS imbackup コマンドを使用して、SIMS メッセージストアのバックアップを別のデバイス (テープドライブなど) に作成します。

この SIMS メッセージストアバックアップコピーは、後の手順で、iPlanet Messaging Server メッセージストアに移動されます。imbackup コマンドを使用して、テープにバックアップを作成する例を以下に示します。

```
imbackup -f /dev/rmt/0
```

ディスク容量に余裕がある場合、SIMS メッセージストアを適切な場所に置き、手順 10 で説明するように imbackup から imsrestore に直接データを送信することで、ダウンタイムを最小限にすることができます。

6. 同梱のディレクトリサーバを含め、iPlanet Messaging Server をインストールおよび構成します。すべての iPlanet Messaging Server プロセスを停止します。

インストール中は、ユーザ/グループ情報を保存するサーバとして、既存の SIMS ディレクトリサーバを指定しないでください。この作業は後で行いますが、今は、新しいディレクトリサーバをインストールして、iPlanet Messaging Server の構成データを保存する必要があります。以下のインストールの質問に No と答えます。

Do you want to use another directory to store your data?[No]:

デフォルトのインストール オプションを使用しますが、SIMS ディレクトリサーバにより使用されるのと同じディレクトリサーバ用 ネットワークポートは使用しません。これは、通常、389 ですが、390 を使用することもできます。ユーザおよびメーリングリスト エントリは、既存のディレクトリサーバに残ります。

インストールプログラムは、インストールの最後にすべてのサーバプロセスを起動するので注意してください。インストールが終了したら、すべてのプロセスを停止できます。停止するには、ルートとして次のコマンドを実行します。

```
<InstanceRoot>/stop-msg
```

7. SIMS で使用されるユーザ / グループディレクトリサーバを指すように、iPlanet Messaging Server 構成を変更します。これは、直前の手順と同時に実行できます。

configutil を使用して、以下の構成パラメータを変更します。

```
local.ugldapbasedn = o=internet (SIMS 4.0 がユーザの格納に使用したサフィックス)  
local.ugldapbinddn = "cn=Directory Manager" (DS バインド DN)  
local.ugldapbindcred = secret (DS バインド パスワード)  
local.ugldapdeforgdn = "dc=siroe,dc=com,o=internet" (デフォルトの組織 DN)  
local.ugldaphost = mail.siroe.com (ユーザ / グループ LDAP サーバが常駐するホスト)  
local.ugldapport = 389 (ユーザ / グループ LDAP サーバが常駐するポート)
```

8. 古い SIMS サーバで「+」がログインセパレータとして使用されている場合、iPlanet Messaging Server ではデフォルトは「@」なので「+」に変更します。

次のコマンドを使用します。

```
configutil -o service.loginseparator -v +
```

9. iPlanet Messaging Server スキーマを使用するように、ドメイン、ユーザおよびグループディレクトリエントリをアップグレードします。
 - a. imsdirmig コマンド (付録 A 「コマンド行インタフェース」を参照) を使用してドメインエントリをアップグレードします。

```
imsdirmig -h mail.siroe.com -b "o=internet" -M sims -D  
"cn=Directory Manager" -w secret -m domains
```

この場合、o=internet 下のすべてのドメインがアップグレードされます。

- b. ユーザ / グループエントリをアップグレードします。

```
imsdirmig -h mail.siroe.com -b "o=internet" -M sims -D  
"cn=Directory Manager" -w secret -m both
```

この場合、o=internet 下のすべてのユーザ / グループエントリがアップグレードされます。

10. SIMS メッセージストアを iPlanet Messaging Server メッセージストアに変換します。

- a. 手順 5 で説明したように、SIMS メッセージストアのバックアップをテープなどのメディアに作成した場合、次のコマンドを使用して、iPlanet Messaging Server メッセージストアに復元または変換できます。メッセージストアのバックアップを他のデバイスに作成していない場合、この手順を省略して、手順 b に進んでください。

```
configutil -o "local.store.synclevel" -v 0  
<InstanceRoot>/start-msg store  
imsrestore -f /dev/rmt/0 -cy -n -v1
```

- b. ディスク容量に余裕がある場合、次のコマンドを使用して、SIMS メッセージストアを iPlanet Messaging Server メッセージストアに直接変換します。

```
configutil -o "local.store.synclevel" -v 0  
<InstanceRoot>/start-msg store  
imbackup -f- -u <UserFile> |  
<SERVERROOT>/bin/msg/store/bin/imsrestore -f- -cy -n -v1
```

ここで、<UserFile> は、ユーザメールボックス名を含むファイルです。ユーザエントリを各ユーザファイルに均等なグループに分割し、10 ~ 15 のバックアップ / 復元セッションを同時に実行します。これにより、適切な速度で新規メッセージストアに復元できます。

11. 変換が終了したら、同期レベルを変更します。

```
configutil -o local.store.synclevel -v -1
```

12. stored を停止します。

```
<InstanceRoot>/stop-msg store
```

13. iPlanet Messaging Server を起動します。

コマンド `imsimta dirsync -F` を iPlanet Messaging Server で実行し、「start-msg」コマンドを使用して、その他すべてのサーバプロセスを起動します。この時点で、iPlanet Messaging Server は完全に機能します。

注 新しくインストールした iPlanet Messaging Server のデフォルト構成では、すべての SMTP リレーがブロックされます。デフォルト構成をサイトポリシーに合わせるには、28 ページの「SMTP リレー機能」を参照してください。

14. iPlanet Delegated Administrator for Messaging がサポートされるように、システムを修正します。

以下に示す、移行ツールキットにある `imsdaaci` コマンドを使用すると、必要な ACI に従って Delegated Administrator Service Administrator Group および Delegated Administrator Domain Administrator Group が作成されるときに使用できる LDIF ファイルが生成されます。

```
<ServerRoot>/bin/msg/migrate/bin/imsdaaci
```

`ldapmodify` を使用して、LDIF ファイルを DIT に追加します。ACI の例外については、『iPlanet Messaging Server プロビジョニングガイド』を参照してください。

メッセージストアのオンライン移行方法を使用したシングルサーバ SIMS システムからのアップグレード

次の手順では、メッセージストアのオンライン移行方法を使用して、シングルサーバ SIMS 電子メールシステムをシングルサーバ iPlanet Messaging Server に移行する方法を説明します。

シナリオの条件：

- iPlanet Messaging Server は、新しいホストまたは現在の SIMS 4.0 システムと同じホストにインストールされる
- ディレクトリサーバは Netscape Directory Server 4.12 で、SIMS と同じホストまたは異なるホストにある。新規ディレクトリサーバは、iPlanet Messaging Server にインストールされるが、サーバ構成データだけが含まれる。古いディレクトリ、つまり SIMS をサポートするディレクトリは、同じ（アップグレード済みの）ユーザ、グループ、およびドメインエントリで新しい iPlanet Messaging Server をサポートする。

- SIMS メッセージストアは、サーバがアクティブでオンライン状態にあるときに、iPlanet Messaging Server メッセージストアに移行される。移行されるメッセージは、移行プロセス前に配信された新規メッセージとまとめられる。
- これらの試行は、新規ホストにインストールされるシステムの例である。iPlanet Messaging Server が同じホストにインストールされる場合に手順が異なれば、そのように記される。条件：
SIMS ユーザ/グループディレクトリサフィックス: o=internet
SIMS メールサーバ名: oldmail.siroe.com
iPlanet Messaging Server メールサーバ名: newmail.siroe.com
マスター Directory Server: ldap.siroe.com
ディレクトリサーバ・バインドパスワード: secret
SIMS のデフォルトの組織 DN: dc=siroe,dc=com,o=internet

移行手順:

1. ディレクトリサーバデータベースのバックアップを作成します。
コマンドは、<InstanceRootDirServer>/bin/db2ldif です。完全な説明については、
<http://docs.iplanet.com/docs/manuals/directory.html#dirserver41>
の『Netscape Directory Server』マニュアルを参照してください。
2. 結合スキーマファイル (merged.oc.conf および merged.at.conf) をディレクトリサーバに追加し、マルチスキーマサポート (SIMS、Netscape Messaging Server、および iPlanet Messaging Server) を有効にします。116 ページの「複数スキーマのサポート」を参照してください。
3. SMTP サーバキュー・サーバのすべてのメッセージが処理され、キューが空になっていることを確認します。
これを行う 1 つの方法として、ディスパッチャを停止します。

```
/opt/SUNWmail/sbin/imta stop dispatcher
```


この時点で、SMTP サーバはシャットダウンされますが、ジョブコントローラはキューのメッセージを処理し続けます。次のコマンドを入力すると、キューが空になっているか確認できます。

```
/opt/SUNWmail/sbin/imta qm counters
```
4. 同じホストにインストールする場合、SIMS を停止します。

```
/opt/SUNWmail/sbin/im.server stop
```


すべての SIMS プロセスが停止しているか確認します。LDAP サーバ、slapd は停止しないでください。停止中は、メールの送受信ができなくなります。

5. 同梱のディレクトリサーバを含め、iPlanet Messaging Server をインストールおよび構成します。すべての iPlanet Messaging Server プロセスを停止します。

インストール中は、ユーザおよびグループ情報を保存するサーバとして、既存の SIMS ディレクトリサーバを指定しないでください。これは後で行いますが、今は、新しいディレクトリサーバをインストールして、iPlanet Messaging Server の構成データを保存する必要があります。以下のインストールの質問に No と答えます。

Do you want to use another directory to store your data?[No]:

デフォルトのインストールオプションを使用しますが、ディレクトリサーバが同じホストにインストールされている場合、SIMS ディレクトリサーバで使用されているのと同じディレクトリサーバネットワークポートを使用しないでください。これは、通常、389 ですが、390 を使用することもできます。ユーザおよびメーリングリストエントリは、既存のディレクトリサーバに残ります。

インストールプログラムは、インストールの最後にすべてのサーバプロセスを起動するので注意してください。インストールが終了したら、すべてのプロセスを停止します。停止するには、ルートとして次のコマンドを実行します。

```
<InstanceRoot>/stop-msg
```

6. SIMS 4.0 ユーザ/グループディレクトリを指すように、iPlanet Messaging Server 構成を変更します。

configutil を使用して、以下の構成パラメータを変更します。

```
local.ugldapbasedn = o=internet (SIMS 4.0 がユーザの格納に使用したサフィックス)  
local.ugldapbinddn = "cn=Directory Manager" (DS バインド DN)  
local.ugldapbindcred = secret (DS バインドパスワード)  
local.ugldapdeforgdn = "dc=siroe,dc=com,o=internet" (デフォルトの組織 DN)  
local.ugldaphost = ldap.siroe.com (LDAP サーバが常駐するホスト)  
local.ugldapport = 389
```

7. 古い SIMS サーバで「+」がログインセパレータとして使用されている場合、iPlanet Messaging Server ではデフォルトは「@」なので「+」に変更します。

```
<InstanceRoot>/configutil -o service.loginseparator -v +
```

8. (これらの手順は、iPlanet Messaging Server が、古い SIMS サーバと同じホスト (oldmail.siroe.com) にインストールされている場合だけ実行してください。異なるホストにインストールする場合、次の手順に進んでください。) iPlanet Messaging Server スキーマを使用するように、ドメイン、ユーザ、およびメーリングリストディレクトリエントリをアップグレードします。

- a. `imsdirmig` コマンド (付録 A 「コマンド行インタフェース」を参照) を使用してドメインエントリをアップグレードします。

```
imsdirmig -h ldap.siroe.com -b "o=internet" -M sims -D  
"cn=Directory Manager" -w secret -m domains
```

`o=internet` 下のすべてのドメインがアップグレードされます。

- b. ユーザ/グループエントリをアップグレードします。

```
imsdirmig -h ldap.siroe.com -b "dc=com,o=internet" -M sims -D  
"cn=Directory Manager" -w secret -m both
```

`o=internet` 下のすべてのユーザ/グループエントリがアップグレードされます。

- c. iPlanet Messaging Server でコマンド `imsimta dirsync -F` を実行します。

```
<InstanceRoot>/imsimta dirsync -F
```

9. (これらの手順は、iPlanet Messaging Server が、新しいホストにインストールされている場合だけ実行します。) iPlanet Messaging Server スキーマを使用するように、ドメイン、ユーザ、およびグループディレクトリエントリをアップグレードし、ユーザ/グループエントリの `mailhost` 属性を新しいホスト (`newmail.siroe.com`) に設定します。

- a. `/opt/SUNWmail/sbin/im.server stop` を使用して SIMS を停止します。すべての SIMS プロセスが停止しているか確認します。LDAP サーバ、`slapd` は停止しないでください。停止中は、メールの送受信ができなくなります。

- b. ドメインエントリをアップグレードして、iPlanet Messaging Server スキーマを使用します。

`imsdirmig` コマンド (付録 A 「コマンド行インタフェース」を参照) を使用します。

```
imsdirmig -h ldap.siroe.com -b "o=internet" -M sims -D  
"cn=Directory Manager" -w secret -m domains -A  
mailroutinghosts:newmail.siroe.com
```

`o=internet` 下のすべてのドメインがアップグレードされます。

- c. ユーザ/グループエントリをアップグレードします。

```
imsdirmig -b "dc=com,o=internet" -M sims -D "cn=Directory  
Manager" -w secret -m both -A mailhost:newmail.siroe.com
```

`o=internet` 下のすべてのユーザ/グループエントリに、新しいメールホストが割り当てられ、新しいスキーマにアップグレードされます。

- d. ユーザクライアントが、新しいメールサーバを指していることを確認します。古いメールに一時的にアクセスできないことを、ユーザクライアントに通知します。

移行したユーザに、新規メールサーバを参照するようにそのメールクライアントプログラムを変更してもらいます(この例では、参照先を `oldmail.siroe.com` から `newmail.siroe.com` に変更します)。既存のメールホストが新規メールホストに置き換わっているため、この作業は必ず行なってください。

メッセージストアが完全に移行されるまで、古いメールにはアクセスできず、そのメールボックス表示は一時的に空の状態になることをユーザに通知します。さらに、新着メールメッセージ(つまり、新しい **iPlanet Messaging Server** に送信されるメッセージ)は、メッセージストアが移行されるたびに、古いメッセージとまとめられます。

- e. `newmail.siroe.com` で完全な `dirsync` を実行します。

```
<InstanceRoot>/imsimta dirsync -F
```

これで、メッセージは、`newmail.siroe.com` メッセージストアに送信されます。

- f. **iPlanet Messaging Server** を、システムの新規デフォルトメッセージングサーバに設定します。

`oldmail.siroe.com` の A レコードが、`newmail.siroe.com` (`oldmail.siroe.com` で以前ホストに指定されていたドメイン用のサーバ)を指すように変更します。

10. メッセージングサーバを起動します。

SIMS メッセージストアが、iPlanet Messaging Server メッセージストアに移行されると、古いメッセージは復元できなくなります。また、古いメッセージが SIMS から移行されると、iPlanet Messaging Server メッセージストアに直接送信された新規メッセージとまとめられます。このため、正確なメッセージ着信順序を保守できない可能性があります。

その他のすべてのサーバプロセスを起動します。

```
<InstanceRoot>/start-msg
```

この時点で、iPlanet Messaging Server は完全に機能します。

注 新しくインストールした iPlanet Messaging Server のデフォルト構成では、すべての SMTP リレーがブロックされます。デフォルト構成をサイト ポリシに合わせるには、28 ページの「SMTP リレー機能」を参照してください。

11. SIMS メッセージストアを iPlanet Messaging Server メッセージストアに変換します。

同じホストへのアップグレード: oldmail.siroe.com で次のコマンドを実行します。

```
imbackup -f- -u <UserFile> |  
<ServerRoot>/bin/msg/store/bin/imsrestore -f- -cy -n -v1
```

新しいホストへのアップグレード: newmail.siroe.com で次のコマンドを実行します。

```
rsh <ipaddress_of_oldmail.siroe.com> /opt/SUNWmail/sbin/imbackup -f-  
-u <UserFile> | <ServerRoot>/bin/msg/store/bin/imsrestore -f- -cy -n  
-v1
```

ここで、<UserFile> は、ユーザメールボックス名を含むファイルです。ユーザエントリを各ユーザ ファイルに均等なグループに分割し、10 ~ 15 のバックアップ/復元セッションを同時に実行します。これにより、もっとも速く新規メッセージストアに復元できます。

注 configutil -o "local.store.synclevel" -v 0 を使用して fsync を無効にしないでください。

12. iPlanet Delegated Administrator for Messaging がサポートされるように、システムを修正します。

以下に示す、移行ツールキットにある `imsdaaci` コマンドを使用すると、必要な ACI に従って Delegated Administrator Service Administrator Group および Delegated Administrator Domain Administrator Group が作成されるときに使用できる LDIF ファイルが生成されます。

```
<ServerRoot>/bin/msg/migrate/bin/imsdaaci
```

`ldapmodify` を使用して、LDIF ファイルを DIT に追加します。ACI の例外については、『*iPlanet Messaging Server* プロビジョニングガイド』を参照してください。

メッセージストアの段階的な移行方法を使用したシングルサーバ SIMS システムからのアップグレード

次の手順では、メッセージストアの段階的な移行方法を使用して、シングルサーバ SIMS 電子メールシステムを、シングルサーバ iPlanet Messaging Server に移行する方法を説明します。

シナリオの条件:

- iPlanet Messaging Server を、新規ホストにインストールし、SIMS 4.0 を置き換える (追加のハードウェアが必要)。
- ディレクトリサーバは、Netscape Directory Server 4.12 で、SIMS と同じホストまたは異なるホストにある。新規ディレクトリサーバは、iPlanet Messaging Server にインストールされるが、サーバ構成データだけが含まれる。古いディレクトリ、つまり、SIMS をサポートするディレクトリは、同じ (アップグレード済みの) ユーザ、グループ、およびドメインエントリで新しい iPlanet Messaging Server をサポートする。
- ユーザメールボックスは、一度にすべてではなく、バッチ単位で移行される。
- SIMS ユーザ / グループディレクトリサフィックス : `o=internet`
SIMS メールサーバ名 : `oldmail.siroe.com`
iPlanet Messaging Server メールサーバ名 : `newmail.siroe.com`
マスター Directory Server : `ldap.siroe.com`
ディレクトリサーバ・バインドパスワード : `secret`
SIMS のデフォルト組織 DN: `dc=siroe,dc=com,o=internet`

移行手順：

1. ディレクトリサーバデータベースのバックアップを作成します。

コマンドは、`<InstanceRootDirServer>/bin/db2ldif` です。完全な説明については、
<http://docs.iplanet.com/docs/manuals/directory.html#dirserver41>
の Netscape Directory Server のマニュアルを参照してください。

2. 結合スキーマファイル (`merged.oc.conf` および `merged.at.conf`) を SIMS ディレクトリサーバ (マスターおよびレプリカ) に追加し、マルチスキーマサポート (SIMS、Netscape Messaging Server、および iPlanet Messaging Server) を有効にします。116 ページの「複数スキーマのサポート」を参照してください。

3. 同梱のディレクトリサーバを含め、iPlanet Messaging Server を `newmail.siroe.com` という新規システムにインストールおよび構成します。すべての iPlanet Messaging Server プロセスを停止します。

インストール中は、ユーザ/グループ情報を保存するサーバとして、既存の SIMS ディレクトリサーバを指定しないでください。これは後で行いますが、今は、新しいディレクトリサーバをインストールして、iPlanet Messaging Server の構成データを保存する必要があります。以下のインストールの質問に **No** と答えます。

Do you want to use another directory to store your data?[No]:

インストールプログラムは、インストールの最後にすべてのサーバプロセスを起動するので注意してください。インストールが終了したら、すべてのプロセスを停止できます。停止するには、ルートとして次のコマンドを実行します。

`<InstanceRoot>/stop-msg`

4. SIMS 4.0 ユーザ/グループディレクトリを指すように、iPlanet Messaging Server 構成を変更します。 `configutil` を使用して、以下の構成パラメータを変更します。

```
local.ugldapbasedn = o=internet (SIMS 4.0 がユーザの格納に使用したサフィックス)  
local.ugldapbinddn = "cn=Directory Manager" (DS バインド DN)  
local.ugldapbindcred = secret (DS バインドパスワード)  
local.ugldapdeforgdn = "dc=siroe,dc=com,o=internet" (デフォルトの組織 DN)  
local.ugldaphost = ldap.siroe.com (LDAP サーバが常駐するホスト)  
local.ugldapport = 389
```

- 古い SIMS サーバで「+」がログインセパレーターとして使用されている場合、iPlanet Messaging Server ではデフォルトは「@」なので「+」に変更します。次のコマンドを使用します。

```
configutil -o service.loginseparator -v +
```

- SIMS ドメインエントリをアップグレードします。この手順により、ドメインエントリが新規属性でアップグレードされ、iPlanet Messaging Server スキーマがサポートされます。次のコマンドを使用します。

```
imsdirmig -h ldap.siroe.com -b "o=internet" -M sims -D  
"cn=Directory Manager" -w secret -m domains -A  
mailroutinghosts:newmail.siroe.com -P
```

この例では、ドメインエントリだけがアップグレードされ、ドメインのユーザまたはメーリングリストエントリはアップグレードされません。これらは、後の手順でアップグレードします。

- マルチスキーマ LDAP エントリがサポートされるように、iPlanet Messaging Server (newmail.siroe.com) で dirsync コマンドを構成します。

configutil を使用して、以下の3つのパラメータを設定します。

```
<InstanceRoot>/configutil -o local.imta.schematag -v "sims40,ims50"  
<InstanceRoot>/configutil -o local.imta.ugfilter -v  
"(|(objectClass=inetLocalMailRecipient)(|(objectClass=inetMailUs  
er)(objectClass=inetMailGroup)))"  
<InstanceRoot>/configutil -o local.imta.sims_migrate -v True
```

- newmail.siroe.com で完全な dirsync を実行します。

```
<InstanceRoot>/imsimta dirsync -F
```

- newmail.siroe.com ですべてのサーバプロセスを起動します。

```
<InstanceRoot>/start-msg
```

注 新しくインストールした iPlanet Messaging Server のデフォルト構成では、すべての SMTP リレーがブロックされます。デフォルト構成をサイトポリシーに合わせるには、28 ページの「SMTP リレー機能」を参照してください。

10. oldmail.siroe.com で SIMS 4.0 プロキシサーバを構成します。

この手順を実行すると、oldmail.siroe.com から移行された後で、newmail.siroe.com を参照するようにメールクライアント構成をユーザに変更してもらう手間が省けます。IMAP/POP プロキシとして機能するように oldmail.siroe.com を構成すると、着信クライアント接続が、適切なメールサーバに対して確立されます。

oldmail.siroe.com で /etc/opt/SUNWmail/ims/ims.cnf のメッセージストア構成ファイルを編集して、次のように変更します。

```
ims-proxy:on
```

このように変更すると、oldmail.siroe.com の IMAP/POP サーバが、ローカルメールボックスへのアクセス権付与と同時にプロキシサーバとして機能します。oldmail.siroe.com は、プロキシサーバおよびメッセージストアサーバの両方として実行します。

IMAP/POP サーバを再起動します。

```
/opt/SUNWmail/sbin/mt.scheduler stop  
/opt/SUNWmail/sbin/mt.scheduler start
```

11. ユーザのバッチを oldmail.siroe.com から newmail.siroe.com に移行します。

新規システムに移行するユーザのサブセットを選択することで、ユーザダウンタイム (ユーザがメールボックスへのアクセスをブロックされる時間) を最小にできます。プロセスがどのように行われるか確認するため、まず少数のユーザを移行することをお勧めします。ユーザの各バッチについて、次の手順を実行します。

- a. 移行するユーザのバッチを選択します。移行プロセス中は、メールにアクセスできないことをユーザに通知します。

- b. これらのユーザへのすべての着信メッセージを、ユーザのメールボックスではなく保守チャンネルに送信し、ユーザのメールボックスが移行中に開かれないようにロックします。次のコマンドを使用します。

```
imsdirmig -b "dc=siroe,dc=com,o=internet" -M sims -D  
"cn=Directory Manager" -w secret -m users -F "(uid=s*)" -A  
mailDeliveryOption:hold\;mailFolderMap:LOCK -O
```

上記の例では、uid 値が「s」(RFC-1558 に従って任意の LDAP フィルタを使用可能) で始まる siroe.com のすべてのユーザエントリが、mailDeliveryOption および mailFolderMap の新規属性値で更新されます。このコマンドを使用しても、iPlanet Messaging Server スキーマがサポートされるようにエントリはアップグレードされません。この手順は、移行プロセスの後半で行います。

このコマンドを実行したら、これらのユーザは、メールを送信することはできませんが、メールボックスにアクセスできなくなります。着信メールは、保守チャンネルに保存され、この手順の最後にメールボックスに送信されます。

- c. oldmail.siroe.com および newmail.siroe.com の両方で段階的な dirsync を実行し、以前の手順で行なった変更をピックアップします。
- d. SIMS ユーザメッセージストアのバッチを iPlanet Messaging Server メッセージストアに変換および移動します。

iPlanet Messaging Server で次のコマンドを実行します。

```
rsh <SIMS_host> /opt/SUNWmail/ims/sbin/imbackup -f -u  
<usernames_file> | <ServerRoot>/bin/msg/store/bin/imsrestore -f-  
-cy -n -v1
```

imbackup は、SIMS ホストで実行されます。<usernames_file> は、ユーザメールボックス名を含むファイルです。ユーザエントリを各ユーザファイルに均等なグループに分割し、10 ~ 15 のバックアップ/復元セッションを同時に実行します。これにより、適切な速度で新規メッセージストアに復元できます。imsrestore は、iPlanet Messaging Server ホストで実行されます。

- e. 新規 iPlanet Messaging Server を参照するようにユーザエントリを変更し、`mailDeliveryOption:mailbox` およびユーザエントリの `mailhost:newmail.siroe.com` を設定することで、メールボックスのロックを解除します。-O および -A オプションを指定して、`imsdirmig` を使用します。

```
imsdirmig -b "dc=siroe,dc=com,o=internet" -M sims -D  
"cn=Directory Manager" -w secret -m users -F "(uid=s*)" -O -A  
mailDeliveryOption:mailbox\;mailhost:newmail.siroe.com
```

これで、移行ユーザは、メールボックスにアクセスできるようになります。

- f. `newmail.siroe.com` および `oldmail.siroe.com` で段階的な `dirsync` を実行します。

移行ユーザへのメッセージは、`oldmail.siroe.com` MTA から `newmail.siroe.com` メッセージストアに送信されます。

- g. `oldmail.siroe.com` および `newmail.siroe.com` の保持キューを解放し、ユーザメールボックスを新規サーバ `newmail.siroe.com` に移動中にシステムに送信されたメッセージをすべて再送信します。

`oldmail.siroe.com` で、次のコマンドを実行します。

```
/opt/SUNWmail/imta/sbin/hold_master -u <uid> -d <domain>
```

ここで、-u は受信者の名前を指定し、-d はユーザが属するドメインの名前を指定します。

- 12. ユーザ / グループの次のバッチについて、上記の手順を繰り返します。上記の手順を参照してください。
- 13. グループエントリについて、`mailhost` 属性を、新規 iPlanet Messaging Server ホストの完全修飾名 (例: `newmail.siroe.com`) に変更します。このようにしないと、ローカルで配送した場合、メールは古い SIMS サーバに戻されます。

```
imsdirmig -b "dc=siroe,dc=com,o=internet" -M sims -D  
"cn=Directory Manager" -w secret -m groups -F  
"(objectclass=inetmailgroup)" -O -A mailhost:newmail.siroe.com
```

これにより、すべてのグループの LDAP エントリがアップグレードされます。

- 14. 新規 iPlanet Messaging Server を、システムの新規デフォルトメッセージングサーバに設定します。

`oldmail.siroe.com` の DNS レコードを CNAME または、`newmail.siroe.com` を参照する A レコードに変更します。

15. SMTP サーバキュー・サーバのすべてのメッセージが処理され、キューが空になっていることを確認します。

これを行う 1 つの方法として、ディスパッチャを停止します。

```
/opt/SUNWmail/sbin/imta stop dispatcher
```

この時点で、SMTP サーバはシャットダウンされますが、ジョブコントローラはキューのメッセージを処理し続けます。次のコマンドを入力すると、キューが空になっているか確認できます。

```
/opt/SUNWmail/sbin/imta qm counters
```

16. 古いホストを停止します。
17. すべてのユーザを移行したら、`imsdirmig` を使用して、すべてのユーザ / グループディレクトリエントリを iPlanet Messaging Server スキーマにアップグレードします。`imsdirmig` のコマンドを以下に示します。

```
imsdirmig -b "o=internet" -M sims -D "cn=Directory Manager" -w secret -m both
```

18. マルチスキーマサポートを無効にします。

すべてのディレクトリエントリを iPlanet Messaging Server スキーマにアップグレードしたら、マルチスキーマサポートは不要になります。`configutil` を使用して、以下の 2 つのパラメータを削除します。

```
<InstanceRoot>/configutil -o local.imta.schematag -v ""  
<InstanceRoot>/configutil -o local.imta.ugfilter -v ""
```

19. `newmail.siroe.com` で段階的な `dirsync` を実行します。
20. iPlanet Delegated Administrator for Messaging がサポートされるように、システムを修正します。

以下に示す、移行ツールキットにある `imsdaaci` コマンドを使用すると、必要な ACI に従って Delegated Administrator Service Administrator Group および Delegated Administrator Domain Administrator Group が作成されるときに使用できる LDIF ファイルが生成されます。

```
<ServerRoot>/bin/msg/migrate/bin/imsdaaci
```

`ldapmodify` を使用して、LDIF ファイルを DIT に追加します。ACI の例外については、『iPlanet Messaging Server プロビジョニングガイド』を参照してください。

SIMS 段階的な移行 - 付録

メッセージストア構成を修正して(以下参照)、ユーザの最初のバッチについてメールボックス移行のパフォーマンスを向上させることができます。しかし、このように構成して、アクティブなメッセージングサーバを実行することは安全ではありません。ユーザメールボックスの最初のバッチを SIMS サーバから iPlanet Messaging Server に移行したら、構成をリセットすることをお勧めします。

メールボックス移行の最適化手順:

1. 手順 11、手順 c が終了したら、メッセージングサーバを停止します。

```
<InstanceRoot>/stop-msg
```

2. 同期レベルを 0 に設定します。

```
<InstanceRoot>/configutil -o "local.store.synclevel" -v 0
```

3. ストア デーモンを起動します。

```
<InstanceRoot>/start store
```

4. 手順 11、手順 d に戻ります。

5. メールボックスの最初のバッチを移行したら、同期レベルをリセットします。

```
configutil -o "local.store.synclevel" -v -1
```

6. メッセージングサーバプロセスを再起動します。

```
<InstanceRoot>/start-msg
```

シングルサーバ Netscape Messaging Server システムからの移行

次の手順では、シングルサーバ Netscape Messaging Server 電子メールシステムを、余分なハードウェアのないシングルサーバ iPlanet Messaging Server に移行する方法を示します。

シナリオの条件:

- iPlanet Messaging Server で、同じサーバの Netscape Messaging Server 4.x を置き換える

- ユーザおよびグループ UID の書式は、<LocalPart> (例: ofanning, wallyc) または <LocalPart>@<FQDN> (例: wallyc@varrius.org, ofanning@siroe.com) である。UID の書式が異なる場合、ネームスペース制限および対策について 18 ページの「Netscape Messaging Server 4.x Directory のネームスペース制限」を参照してください。
- ユーザ ダウンタイムがもっとも短い
- ディレクトリサーバは、Netscape Directory Server 4.12 で、Netscape Messaging Server と同じホストまたは異なるホストにある。新規ディレクトリサーバは、iPlanet Messaging Server にインストールされるが、サーバ構成データだけが含まれる。古いディレクトリ、つまり、Netscape Messaging Server をサポートするディレクトリは、同じ (アップグレード済みの) ユーザ、グループ、およびドメインエントリで新しい iPlanet Messaging Server もサポートする。
- iPlanet Messaging Server ユーザ / グループディレクトリサフィックス :
o=siroe.com (既存のユーザ / グループベースサフィックス)
マスター Directory Server : ldap.siroe.com
ディレクトリサーバ・バインド DN: cn=Directory Manager
ディレクトリサーバ・バインドパスワード: secret
Netscape Messaging Server ユーザ / グループベース DN: o=siroe.com
iPlanet Messaging Server のデフォルトの組織 DN: o=siroe.com
ディレクトリサーバ・ネットワークポート: 389
iPlanet Messaging Server サーバユーザ: mailsrv

移行手順:

移行を行う前に、メッセージストアのバックアップを作成しておくことを強くお勧めします。

1. SMTP サーバキュー・サーバのすべてのメッセージが処理され、キューが空になっていることを確認します。

これを行うには、SMTP ポート番号を変更し、SMTP サーバを再起動します。これにより、サーバが、標準 SMTP ポートのメッセージを受け入れない間も、キューの任意のメッセージを処理し続けることができます。

```
<InstanceRoot>/configutil -o service.smtp.port -v 901  
<InstanceRoot>/start-msg smtp  
<InstanceRoot>/start-msg smtp
```

次のコマンドを入力すると、キューが空になっているか確認できます。

```
/usr/bin/mailq
```

2. 結合スキーマファイル (`merged.oc.conf` および `merged.at.conf`) をディレクトリサーバに追加し、マルチスキーマサポート (SIMS、Netscape Messaging Server、および iPlanet Messaging Server) を有効にします。116 ページの「複数スキーマのサポート」を参照してください。

3. Netscape Messaging Server LDAP サーバに対して、`perl ims_dssetup.pl` を実行し、スキーマを更新しないように選択します。

詳細については、『*iPlanet Messaging Server* インストールガイド』を参照してください。

4. Netscape Messaging Server 4.x を停止します。ディレクトリサーバは停止しないでください。

5. iPlanet Messaging Server の Netscape Messaging Server バニティドメインを再実装します。

『*iPlanet Messaging Server* プロビジョニングガイド』を参照してください。

6. Netscape Messaging Server ディレクトリサーバを再起動します。

```
<InstanceRoot>/restart-slapd
```

7. 新規サーバルートディレクトリに iPlanet Messaging Server をインストールします。次のような例外はありますが、デフォルトのインストール選択を使用できます。

- a. 新規ディレクトリサーバをインストールして、構成情報を保守しますが、新規メッセージングシステムを、ユーザデータおよびグループデータ用の既存の Netscape Messaging Server ディレクトリサーバに指定します。

次のインストールスクリーンプロンプトが表示されたら、デフォルトの (No) を入力します。

```
Do you want to register this software with an existing netscape configuration
directory server?[No]:
```

しかし、次のインストール用の質問が表示されたら、デフォルトの答えは使用せず、Yes と答えて適切なディレクトリ情報を入力します。

```
Do you want to use another directory to store your data?[No]:Yes
```

- b. 次のインストールプロンプトが表示されたら、デフォルト値 (`o=siroe.com,o=<OldDirRoot>`) を使用します。

```
Default Organization DN [o=siroe.com,o=<OldDirRoot>]:
```

これは、Netscape Messaging Server ユーザエントリのある場所ではないので注意してください。このエントリは、この時点では、現在のネームスペースに残ります。

8. すべてのサーバプロセスを停止します。

```
<InstanceRoot>/stop-msg
```

9. 既存の Netscape Messaging Server ディレクトリネームスペースを iPlanet Messaging Server ディレクトリネームスペースにマップまたは修正します。

117 ページの「iPlanet Messaging Server での既存のディレクトリ情報ツリーの使用」を参照してください。

10. デフォルトの組織ツリーを設定します。

configutil を使用して、local.ugldapdeforgdn を o=siroe.com に設定します。

```
<InstanceRoot>/configutil -o "local.ugldapdeforgdn" -v  
"o=siroe.com"
```

o=siroe.com は、デフォルトドメインに対応する組織ツリーの DN です。

11. Netscape Messaging Server メッセージストアを iPlanet Messaging Server メッセージストアに移行します。

プライマリストアのパーティションパスを、次の手順に従って Netscape Messaging Server 4.x メッセージストアパスを参照するように変更します。

- a. iPlanet Messaging Server Admin Console を使用して、メッセージストア構成が、すべての Netscape Messaging Server 4.x メールストアパーティションを参照するように変更します (『iPlanet Messaging Server 管理者ガイド』を参照)。

注

Netscape Messaging Server 4.x を削除するときに、メッセージストアディレクトリは削除しないでください。これは、このディレクトリにメッセージストアデータが常駐するからです。

- b. ユーザ購読ディレクトリを削除します。

```
rmdir <iMSServerRoot>/msg-<instance>/store/user/
```

- c. Netscape Messaging Server ユーザの購読フォルダへのシンボリックリンクを設定します。

```
ln -s <NMSServerRoot>/msg-<instance>/store/user/  
<iMSServerRoot>/msg-<instance>/store/user/
```

- d. mboxlist ファイルをコピーします。

```
cp <NMSServerRoot>/msg-<instance>/store/mboxlist/data.db2  
<iMSServerRoot>/msg-<instance>/store/mboxlist/folder.db
```


- e. 制限ファイルをコピーします。

```
cp <NMSServerRoot>/msg-<instance>/store/quota.db2
<iMSServerRoot>/msg-<instance>/mboxlist/quota.db
```

- f. ファイルの所有者がメールサーバユーザであることを確認します。例：

```
chown mailsrv <<iMSServerRoot>/msg-<instance>/store/mboxlist/*
```

- g. ほかのファイルはコピーしないでください。

12. configutil を使用して次の 2 つのパラメータを追加することで、新規マルチシステムスキーマがサポートされるように dirsync を構成します。

```
<InstanceRoot>/configutil -o local.imta.schematag -v "ims50,nms41"
<InstanceRoot>/configutil -o local.imta.ugfilter -v
(|(objectClass=inetLocalMailRecipient)|(objectClass=mailRecipient)
(objectclass=mailGroup))
```

13. 完全な dirsync を実行し、ユーザおよびグループエントリをピックアップします。

```
<InstanceRoot>/imsimta dirsync -F
```

14. iPlanet Messaging Server を再起動します。これで、Netscape Messaging Server 4.x ユーザメールボックスを参照できます。

メールサーバが使用できるようになります。この時点で、iPlanet Messaging Server は、マルチスキーマサポートを使用する ldap.siroe.com の古いディレクトリエントリを削除します。新規ユーザおよび新規グループエントリは、新規ディレクトリノードに作成されます。

注 新しくインストールした iPlanet Messaging Server のデフォルト構成では、すべての SMTP リレーがブロックされます。デフォルト構成をサイトポリシーに合わせるには、28 ページの「SMTP リレー機能」を参照してください。

15. 制限データベースをアップグレードし、新規機能を使用できるようにします。

メールサーバユーザとして、以下を実行します。

```
su mailsrv
cd <iMSServerRoot>/bin/msg/admin/bin
setenv CONFIGROOT <iMSServerRoot>/msg-<Instance>/config
./reconstruct -q
exit
```

16. 新規サーバを起動したら、`imsdirmig` を使用して、すべてのユーザおよびグループディレクトリエントリを iPlanet Messaging Server スキーマにアップグレードします。

```
imsdirmig -b "o=siroe.com" -M nms -D "cn=Directory Manager" -w  
secret -m both
```

17. マルチスキーマ サポートを無効にします。

すべてのディレクトリエントリを iPlanet Messaging Server スキーマにアップグレードしたら、マルチスキーマサポートは必要なくなります。`configutil` を使用して、以下の 2 つのパラメータを削除します。

```
<InstanceRoot>/configutil -o local.imta.schematag -v ""  
<InstanceRoot>/configutil -o local.imta.ugfilter -v ""
```

マルチサーバシステムの iPlanet Messaging Server への移行に関するシナリオおよび手順

この章では、マルチサーバ SIMS 4.0 または Netscape Messaging Server 4.x システムから iPlanet Messaging Server システムへの移行方法について説明します。SIMS 4.0 および Netscape Messaging Server 4.x 導入を 5 種類示します。しかし、それぞれシステム独自の導入であり、状況に応じて、手順を修正する必要があるので注意してください。

注 本書全体を読み、特定の移行問題についてのすべての局面を理解してください。プロセスを理解したら、すべてのディレクトリおよびメッセージストアデータのバックアップを作成し、システム全体の移行を行う前に、数人のユーザで移行を実施してください。

この章は、以下の節で構成されています。

- 68 ページの「マルチサーバ移行の概要」
- 71 ページの「構成サーバのインストール」
- 72 ページの「SIMS マルチサーバ導入からの移行」
 - 73 ページの「SIMS ドメインエントリの iPlanet Messaging Server ドメインエントリへのアップグレード」
 - 73 ページの「SIMS SMTP リレーサーバのアップグレード」

- 75 ページの「SIMS POP/IMAP プロキシサーバのアップグレード」
- 76 ページの「オフライン移行方法を使用した、バックエンド SIMS メールストアサーバの iPlanet Messaging Server への移行」
- 81 ページの「オンライン移行方法を使用した、バックエンド SIMS メールストアサーバの iPlanet Messaging Server への移行」
- 90 ページの「段階的な移行方法を使用した、SIMS メッセージストアサーバから iPlanet Messaging Server への移行」
- 97 ページの「Netscape Messaging Server マルチサーバ導入のアップグレード」
 - 97 ページの「必要な命名コンテキストの追加」
 - 98 ページの「Netscape Messaging Server SMTP リレーサーバのアップグレード」
 - 102 ページの「Netscape Messaging Server MMP サーバのアップグレード」
 - 102 ページの「Netscape Messaging Server バックエンドメッセージストアの移行」

マルチサーバ移行の概要

マルチサーバ導入の移行の基本的なプロセスを次に示します。

1. 構成サーバをインストールします。
2. 一番外側のサーバ (SMTP リレーサーバおよびメッセージアクセスプロキシ) を移行します。
3. バックエンドメッセージストアサーバを移行します。

マルチサーバシナリオのトポロジ表示

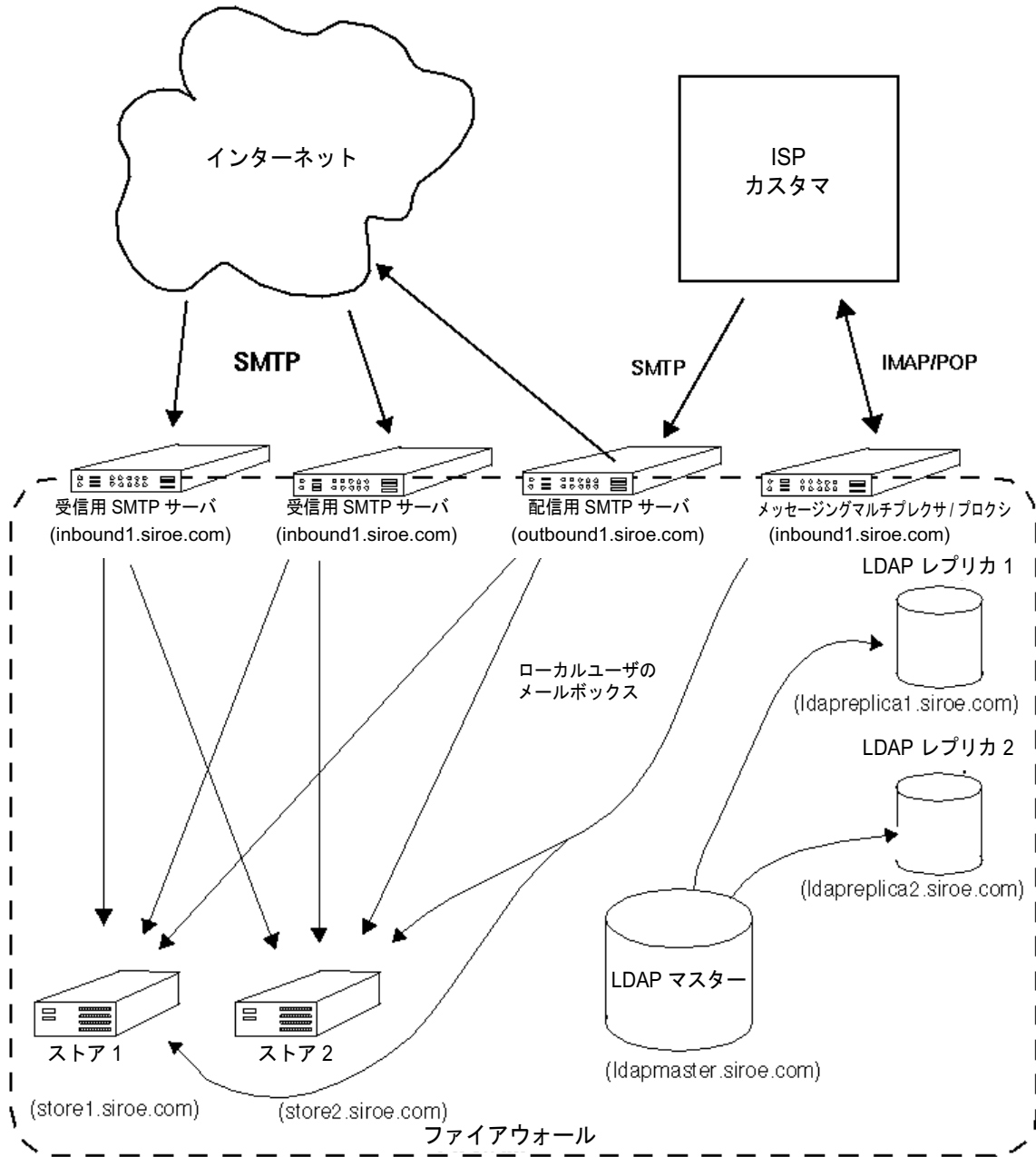
この節のシナリオでは、70 ページの図 4-1 に示されているサーバ導入を参照します。このシナリオの条件を次に示します。

- 現在のシステムは、SIMS 4.0 または Netscape Messaging Server 4.15 のいずれかである
- サーバ分散：
 - 受信用 SMTP サーバ 2 つ: inbound1.siroe.com および inbound2.siroe.com

- 配信用 SMTP リレーサーバ 1 つ: `outbound.siroe.com`
- メッセージングマルチプレクサ (MMP) プロキシ 1 つ: `mail.siroe.com`
- バックエンド (メッセージストア) サーバ 2 つ: `store1.siroe.com` および `store2.siroe.com`
- ユーザ/グループデータおよび iPlanet Messaging Server 構成情報の LDAP マスター 1 つ: `ldapmaster.siroe.com` (ユーザ / グループサーバのポート 389 および構成サーバのポート 390)
- LDAP レプリカ 2 つ: `ldapreplica1.siroe.com` および `ldapreplica2.siroe.com`

注 ディレクトリサーバを変更する前に、LDAP データベースのバックアップを作成することを強くお勧めします。

図 4-1 複数のサーバの例



構成サーバのインストール

構成サーバとは、iPlanet Messaging Server 構成データを含む LDAP サーバのことで、構成データは構成ファイルに保存されていたので、これは SIMS の拡張とみなせません。

通常、導入ごとに必要な構成サーバは 1 つだけです。既存の構成サーバがある Netscape Messaging Server 導入の場合、このマシンを使用できますが、新規構成サーバとして使用される別のディレクトリサーバをインストールする必要があります。

SIMS の場合、新規ディレクトリサーバをインストールするマシンを構成サーバとして使用します。以下の例では、新規構成サーバもホストするため、ユーザ/グループエントリ (ldapmaster.siroe.com) を含む LDAP サーバを保守するマシンを使用します。ldapmaster.siroe.com は、ユーザエントリおよびグループエントリ、および iPlanet Messaging Server 構成データの LDAP サーバをホストします。

1. iPlanet Messaging Server CD からディレクトリサーバだけをインストールします。

インストール時、ディレクトリサーバだけをインストールするように選択できます。詳細については『*iPlanet Messaging Server* インストールガイド』を参照してください。次のプロンプトが表示されたら、1, 2, 3 を入力します。

```
Sun-Netscape Alliance
iPlanet Server Products Installation/Uninstallation
```

```
-----
iPlanet Server Products components:
Components with a number in () contain additional subcomponents
which you can select using subsequent screens.
```

1. Netscape Server Products Core Components (3)
2. Netscape Directory Suite (2)
3. Administration Services (2)
4. iPlanet Messaging Suite (5)

```
Specify the components you wish to install [All]: 1,2,3
```

既存のユーザ/グループディレクトリはポート 389 を使用しているので、390 などの使用されていないポートを使用します。

2. `ims_dssetup.pl` を実行して、iPlanet Messaging Server インストールのために後で使用されるディレクトリサーバを準備します。詳細については、『*iPlanet Messaging Server* インストールガイド』を参照してください。

3. (Netscape Messaging Server 導入の場合のみ) 新しくインストールされた構成サーバのデフォルトのユーザ / グループサーバを変更します。
 - a. 構成サーバのサーバルートから `startconsole` を実行します。
 - b. [Administration Server] をダブルクリックして、管理サーバのコンソールを起動します。
 - c. 管理サーバ コンソールの [構成] タブおよび [ユーザ DS] タブを選択します。
 - d. [ユーザディレクトリの設定] のラジオ ボタンを選択します。ユーザ / グループディレクトリの LDAP ホストおよびポート (例: `ldapmaster.siroe.com:389`) および ユーザディレクトリ サブツリー (例: `o=siroe.com`) を入力します。[保存] を押します。

SIMS マルチサーバ導入からの移行

この節では、SIMS マルチサーバ導入からの iPlanet Messaging Server 導入への移行方法について説明します。基本的な手順を以下に示します。

- 71 ページの「構成サーバのインストール」
- 73 ページの「SIMS ドメインエントリの iPlanet Messaging Server ドメインエントリへのアップグレード」
- 73 ページの「SIMS SMTP リレーサーバのアップグレード」
- 75 ページの「SIMS POP/IMAP プロキシサーバのアップグレード」
- バックエンドメッセージストアのアップグレード。この作業には、3 種類の方法があり、次の節で説明します。
 - 76 ページの「オフライン移行方法を使用した、バックエンド SIMS メールストアサーバの iPlanet Messaging Server への移行」
 - 81 ページの「オンライン移行方法を使用した、バックエンド SIMS メールストアサーバの iPlanet Messaging Server への移行」
 - 90 ページの「段階的な移行方法を使用した、SIMS メッセージストアサーバから iPlanet Messaging Server への移行」

各移行方法の長所および短所については、38 ページの「SIMS メッセージストアの移行方法の選択」を参照してください。

SIMS ドメインエントリの iPlanet Messaging Server ドメインエントリへのアップグレード

SIMS からの移行を行う前に、すべての SIMS ドメインエントリを iPlanet Messaging Server ドメインエントリにアップグレードする必要があります。

```
imsdirmig -h ldapmaster.siroe.com -b "o=internet" -M sims -D  
"cn=Directory Manager" -w secret -m domains -P
```

この場合、o=internet 下のすべてのドメインがアップグレードされます。

SIMS SMTP リレーサーバのアップグレード

この手順は、SIMS 受信 SMTP サーバおよび配信 SMTP サーバに適用されます。

1. 任意の SMTP またはメールマルチプレクサ (SIMS ではプロキシサーバと呼ぶ) サーバをアップグレードする前に、結合スキーマファイル (merged.oc.conf および merged.at.conf) をディレクトリサーバに追加する必要があります。116 ページの「複数スキーマのサポート」を参照してください。
2. 古い SIMS SMTP サーバ (inbound1.siroe.com) を停止します。停止中、着信メッセージは、2 番目の受信 SMTP サーバ (inbound2.siroe.com) により処理されます。

サーバがロードバランサの後ろに実装されている場合、受信接続が inbound1.siroe.com に再指定されないようにその構成を修正します。ラウンドロビン DNS を使用して負荷均衡化を行なっている場合、オフラインのサーバの DNS エントリを削除します。

3. SMTP サーバキュー・サーバのすべてのメッセージが処理され、キューが空になっていることを確認します。

これを行う 1 つの方法として、ディスパッチャを停止します。

```
/opt/SUNWmail/sbin/imta stop dispatcher
```

この時点で、SMTP サーバはシャットダウンされますが、ジョブコントローラはキューのメッセージを処理し続けます。次のコマンドを入力すると、キューが空になっているか確認できます。

```
/opt/SUNWmail/sbin/imta qm counters
```

4. iPlanet Messaging Server をインストールおよび構成します。

新規ディレクトリサーバはインストールしないでください。次のプロンプトで、1, 3, 4 を入力します。

Components with a number in () contain additional subcomponents which you can select using subsequent screens.

1. Netscape Server Products Core Components (3)
2. Netscape Directory Suite (2)
3. Administration Services (2)
4. iPlanet Messaging Suite (5)

Specify the components you wish to install [All]: 1,3,4

構成サーバのプロンプトが表示されたら、URL およびポート番号を入力します (71 ページの「構成サーバのインストール」で説明したようにインストールされた URL およびポート番号)。

以下の書式で、構成ディレクトリを含む、サーバのセキュリティ保護されていない LDAP URL を入力します。

```
ldap://<hostname>:<port>
```

Directory Server の URL [ldap://inbound1.siroe.com:389/]:
ldap://ldapmaster.siroe.com:390

5. インストールが終了したら、SIMS 4.0 ユーザ / グループディレクトリを参照するように、新しくインストールした iPlanet Messaging Server を構成します。configutil を使用して、以下の構成パラメータを変更します。

```
local.ugldapbasedn = o=internet (SIMS 4.0 がユーザの格納に使用するサフィックス)
local.ugldapbinddn = "cn=Directory Manager" (DS バインド DN)
local.ugldapbindcred = secret (DS バインド パスワード)
local.ugldaphost = ldapreplica1.siroe.com (ldap サーバの場所)
local.ugldapport = 389
```

6. configutil を使用して次の 2 つのパラメータを追加し、新規マルチシステムスキーマがサポートされるように dirsync を構成します。

```
<InstanceRoot>/configutil -o local.imta.schematag -v "ims50,sims40"
<InstanceRoot>/configutil -o local.imta.ugfilter -v
(|(objectClass=inetLocalMailRecipient)(|(objectClass=inetMailUser)(objectClass=inetmailGroup)))
```

7. 古い SIMS SMTP リレーサーバで「+」がログインセパレータとして使用されている場合、iPlanet Messaging Server ではデフォルトは「@」なので「+」に変更します。これにより、ユーザは、既存のログインセパレータを使用して、SMTP AUTH を実行できます。

次のコマンドを使用します。

```
configutil -o service.loginseparator -v +
```

8. これが、配信用 SMTP サーバの場合、各サイトポリシーで SMTP リレーを使用します。
- a. クラス C ネットワークのすべてのノードがサーバを介してリレーできるように、<server-root>/msg-<instance>/imta/config 下の mappings ファイルを編集して「* \$N」を「* \$Y」に変更します。

```
+++++
INTERNAL_IP

    $(192.18.74.57/24) $Y
    127.0.0.1 $Y
    * $Y
+++++
```

- b. 次に、コマンド `imsimta cnbuild` を実行します。この時点で、リレーサーバは完全に機能します。
- c. 完全な `dirsnc` を実行します。
- ```
<InstanceRoot>/imsimta dirsnc -F
```
- d. SMTP サーバを起動します。
- ```
<InstanceRoot>/start-msg smtp
```

SMTP リレーの使用の詳細については、22 ページの「SMTP リレーの追加」を参照してください。

9. 手順 2 で説明したように負荷均衡化を行なっている構成を修正した場合、必要に応じて再調整を行います。
10. ほかの SMTP 受信リレーサーバおよび SMTP 配信リレーサーバをアップグレードします。

SIMS POP/IMAP プロキシサーバのアップグレード

次の手順を使用して、SIMS プロキシサーバから iPlanet Messaging Server MMP にアップグレードします。

1. 任意の SMTP またはメールマルチプレクサ (SIMS ではプロキシサーバと呼ぶ) サーバをアップグレードする前に、結合スキーマファイル (merged.oc.conf および merged.at.conf) をディレクトリサーバに追加する必要があります。116 ページの「複数スキーマのサポート」を参照してください。
2. SIMS プロキシサーバを停止します。
3. iPlanet Messaging Server MMP をインストールします。『iPlanet Messaging Server インストールガイド』を参照してください。インストール中、次のプロンプトが表示されたら、SIMS ユーザ / グループ LDAP サーバの名前を入力します。

Please enter the LDAP URL to the domain component tree

```
[ldap://siroe.com:389/o=internet]: ldap://ldapmaster.siroe.com:389/o=internet
```

4. SIMS サーバが、ログインセパレータとして「+」を使用している場合、ImapProxyAService.cfg および PopProxyAService.cfg ファイルの両方で、次の構成パラメータを変更し、iPlanet Messaging Server のデフォルトのログインセパレータ「@」を変更します。

```
#  
# list of valid delimiters  
#  
default:VirtualDomainDelim +@  
  
#  
# canonical delimiter  
#  
default:CanonicalVirtualDomainDelim +
```

オフライン移行方法を使用した、バックエンド SIMS メールストアサーバの iPlanet Messaging Server への移行

バックエンド SIMS メッセージングサーバを移行する前に、すべてのメッセージアクセスプロキシおよび SMTP リレーサーバがアップグレードされていることを確認します。オフライン移行の長所および短所については、38 ページの「メッセージストアのオフライン移行」を参照してください。

条件:

- 同じホストの SIMS 4.0 を iPlanet Messaging Server に置き換える
- iPlanet Messaging Server は、既存のユーザ / グループディレクトリサーバおよび構成ディレクトリサーバを使用する

- メールストアの移行中、メールサービスは使用できない(メールアクセスはオフラインになるが、着信メッセージは、受信 SMTP サーバに保存される)
- システムは、Netscape Directory Server 4.12 を使用する
- SIMS ユーザ / グループディレクトリサフィックス: o=internet
SIMS/iPlanet Messaging Server バックエンドサーバ名: store1.siroe.com
マスター Directory Server: ldapmaster.siroe.com
マスターディレクトリサーバ・ネットワークポート: 389
構成 Directory Server: ldapmaster.siroe.com
構成ディレクトリサーバ・ネットワークポート: 390
ディレクトリサーバ・バインドパスワード: secret
SIMS のデフォルトの組織 DN: dc=siroe,dc=com,o=internet
ユーザ / グループエントリは、DC ツリー (1 つの DIT) にある

移行手順:

1. SMTP サーバキュー・サーバのすべてのメッセージが処理され、キューが空になっていることを確認します。

これを行う 1 つの方法として、ディスパッチャを停止します。

```
/opt/SUNWmail/sbin/imta stop dispatcher
```

この時点で、SMTP サーバはシャットダウンされますが、ジョブコントローラはキューのメッセージを処理し続けます。次のコマンドを入力すると、キューが空になっているか確認できます。

```
/opt/SUNWmail/sbin/imta qm counters
```

2. /opt/SUNWmail/sbin/im.server stop を使用して SIMS を停止します。
すべての SIMS プロセスが停止しているか確認します。停止中、ユーザはメールボックスにアクセスできません。ユーザは、配信 SMTP サーバ outbound.siroe.com を介してメールを送信できます。
3. メッセージストアの 2.5 倍の容量を維持できるほど十分なシステムディスク容量がない場合、SIMS の imbackup コマンドを使用して、SIMS メッセージストアのバックアップを別のデバイス (テープドライブなど) に作成します。この SIMS メッセージストアバックアップは、iPlanet Messaging Server メッセージストアに移動されます。

imbackup コマンドを使用して、テープにバックアップを作成する例を以下に示します。

```
imbackup -f /dev/rmt/0
```

余分なディスク容量がある場合、SIMS メッセージストアを適切な場所に置き、後の手順で説明するように imbackup から imsrestore に直接データを送信することで、ダウンタイムを最小限にすることができます。

4. iPlanet Messaging Server をインストールおよび構成します。

新規ディレクトリサーバはインストールしないでください。次のプロンプトで、1, 3, 4 を入力します。

Components with a number in () contain additional subcomponents which you can select using subsequent screens.

1. Netscape Server Products Core Components (3)
2. Netscape Directory Suite (2)
3. Administration Services (2)
4. iPlanet Messaging Suite (5)

Specify the components you wish to install [All]: 1,3,4

構成サーバのプロンプトが表示されたら、URL およびポート番号を入力します (71 ページの「構成サーバのインストール」で説明したようにインストールされた URL およびポート番号)。

以下の書式で、構成ディレクトリを含む、サーバのセキュリティ保護されていない LDAP URL を入力します。

```
ldap://<hostname>:<port>
```

Directory Server の URL [ldap://store1.siroe.com:389] :
ldap://ldapmaster.siroe.com:390

5. すべてのサーバプロセスを停止します。

インストールプログラムは、インストールの最後にすべてのサーバプロセスを起動します。インストールが終了したら、すべてのプロセスを停止できます。停止するには、ルートとして次のコマンドを実行します。

```
<InstanceRoot>/stop-msg
```

6. SIMS 4.0 ユーザ/グループディレクトリを指すように、iPlanet Messaging Server 構成を変更します。

configutil を使用して、以下の構成パラメータを変更します。

```
local.ugldapbasedn = o=internet (SIMS 4.0 がユーザの格納に使用したサフィックス)  
local.ugldapbinddn = "cn=Directory Manager" (DS バインド DN)  
local.ugldapbindcred = secret (DS バインドパスワード)  
local.ugldapdeforgdn = "dc=siroe,dc=com,o=internet" (デフォルト組織 DN)  
local.ugldaphost = ldapreplica1.siroe.com (LDAP レプリカが常駐するホスト)  
local.ugldapport = 389
```

7. SIMS メッセージストアを iPlanet Messaging Server メッセージストアに変換します。

- a. SIMS メッセージストアのバックアップをテープに作成した場合 (手順3 参照)、ルートとして次のコマンドを使用して、iPlanet Messaging Server メッセージストアに復元します。

```
configutil -o "local.store.synclevel" -v 0
<InstanceRoot>/start-msg store
imsrestore -f /dev/rmt/0 -cy -n -v1
```

- b. ディスク容量に余裕がある場合、次のコマンドを使用して、SIMS メッセージストアフォーマットを iPlanet Messaging Server メッセージストアに直接変換できます。

```
configutil -o "local.store.synclevel" -v 0
<InstanceRoot>/start-msg store
imbackup -f- -u <UserFile> |
<SERVERROOT>/bin/msg/store/bin/imsrestore -f- -cy -n -v1
```

ここで、<UserFile> は、ユーザメールボックス名を含むファイルです。ユーザエントリを各ユーザファイルに均等なグループに分割し、10～15 のバックアップ/復元セッションを同時に実行します。これにより、最適な速度で新規メッセージストアに復元できます。

8. 復元が終了したら、構成パラメータ local.store.synclevel を次のように変更します。

```
configutil -o local.store.synclevel -v -1
```

9. store を停止します。

```
<InstanceRoot>/stop-msg store
```

10. 古い SIMS サーバで「+」がログインセパレータとして使用されている場合、iPlanet Messaging Server では、デフォルトは「@」なので「+」に変更する必要があります。次のコマンドを使用します。

```
configutil -o service.loginseparator -v +
```

11. 完全な dirsync を実行します。

```
<InstanceRoot>/imsimta dirsync -F
```

12. メッセージングサーバを起動します。

```
<InstanceRoot>/start-msg
```

この時点で、バックエンドサーバは完全に機能します。

注 新しくインストールした iPlanet Messaging Server のデフォルト構成では、すべての SMTP リレーがブロックされます。デフォルト構成をサイト ポリシに合わせるには、28 ページの「SMTP リレー機能」を参照してください。

13. 次のバックエンドサーバを移行します。

手順 1 に戻り、残りの各バックエンドサーバで手順を繰り返します。

14. すべてのバックエンドサーバを移行したら、次の手順に進みます。

- a. ユーザおよびグループエントリをアップグレードして、iPlanet Messaging Server スキーマを使用します。

imsdirmig を使用します。

```
imsdirmig -b "o=internet" -M sims -F
"(mailhost=store1.siroe.com)" -D "cn=Directory Manager" -w
secret -m both
```

この場合、o=internet 下のすべてのユーザ/グループエントリがアップグレードされます。

- b. すべての SMTP サーバ (バックエンドメッセージストアサーバ、SMTP リレーサーバなど) でマルチスキーマサポートを無効にします。

すべてのディレクトリエントリを iPlanet Messaging Server スキーマにアップグレードしたら、マルチスキーマサポートは不要になります。configutil を使用して、以下の 2 つのパラメータを削除します。

```
<InstanceRoot>/configutil -o local.imta.schematag -v ""
<InstanceRoot>/configutil -o local.imta.ugfilter -v ""
```

- c. iPlanet Delegated Administrator for Messaging がサポートされるように、システムを修正します。

以下に示す、移行ツールキットにある imsdaci コマンドを使用すると、必要な ACI に従って Delegated Administrator Service Administrator Group および Delegated Administrator Domain Administrator Group が作成されるときに使用できる LDIF ファイルが生成されます。

```
<ServerRoot>/bin/msg/migrate/bin/imsdaci
```


ldapmodify を使用して、LDIF ファイルを DIT に追加します。ACI の例外については、『*iPlanet Messaging Server* プロビジョニングガイド』を参照してください。

オンライン移行方法を使用した、バックエンド SIMS メールストアサーバの iPlanet Messaging Server への移行

バックエンドメッセージングサーバを移行する前に、すべてのメッセージアクセスプロキシおよび SMTP リレーサーバがアップグレードされていることを確認します。オンライン移行の長所および短所については、39 ページの「メッセージストアのオンライン移行」を参照してください。移行プロセスは、ハードウェア容量に余裕があるかどうかで異なります。ハードウェアスペースに余裕がない場合、82 ページの「マルチサーバ、オンラインで、ハードウェアに余裕がない場合の移行手順:」を参照してください。ハードウェアスペースに余裕がある場合、86 ページの「マルチサーバ、オンラインで、ハードウェアに余裕がある場合の移行手順:」を参照してください。

条件:

- 同じホストまたは新しいホストの SIMS 4.0 を iPlanet Messaging Server に置き換える
- iPlanet Messaging Server は、既存のユーザ/グループディレクトリサーバおよび構成ディレクトリサーバを使用する
- ディレクトリサーバは、Netscape Directory Server 4.12 で、SIMS と同じホストまたは異なるホストにある。新規ディレクトリサーバは、すでにインストールされていて、iPlanet Messaging Server 構成データを保守している (71 ページの「構成サーバのインストール」参照)。古いディレクトリ、つまり、SIMS をサポートするディレクトリは、同じ (アップグレード済みの) ユーザ、グループ、およびドメインエントリで新しい iPlanet Messaging Server をサポートする。
- SIMS メッセージストアは、サーバがアクティブでオンライン状態にあるときに、iPlanet Messaging Server メッセージストアに移行される。移行されるメッセージは、移行プロセス中に配信された新規メッセージとまとめられる。

- これらの試行は、新規ホストにインストールされるシステムの例である。条件：
SIMS ユーザ / グループディレクトリサフィックス：o=internet
SIMS メールサーバ名：store1.siroe.com
iPlanet Messaging Server メールサーバ名：store1.siroe.com (同じホストの場合) または newstore1.siroe.com (新しいホストの場合)
マスター Directory Server：ldapmaster.siroe.com
マスターディレクトリサーバ・ネットワークポート：389
構成 Directory Server：ldapmaster.siroe.com
構成ディレクトリサーバ・ネットワークポート：390
ディレクトリサーバ・バインドパスワード：secret
SIMS のデフォルトの組織 DN：dc=siroe,dc=com,o=internet

マルチサーバ、オンラインで、ハードウェアに余裕がない場合の移行手順：

1. SMTP サーバキュー・サーバのすべてのメッセージが処理され、キューが空になっていることを確認します。

これを行う 1 つの方法として、ディスパッチャを停止します。

```
/opt/SUNWmail/sbin/imta stop dispatcher
```

この時点で、SMTP サーバはシャットダウンされますが、ジョブコントローラはキューのメッセージを処理し続けます。次のコマンドを入力すると、キューが空になっているか確認できます。

```
/opt/SUNWmail/sbin/imta qm counters
```

2. /opt/SUNWmail/sbin/im.server stop を使用して SIMS を停止します。

すべての SIMS プロセスが停止しているか確認します。停止中、ユーザはメールボックスにアクセスできません。ユーザは、配信サーバ outbound.siroe.com を介してメールを送信できます。

3. iPlanet Messaging Server をインストールおよび構成します。

新規ディレクトリサーバはインストールしないでください。次のプロンプトで、1, 3, 4 を入力します。

Components with a number in () contain additional subcomponents which you can select using subsequent screens.

1. Netscape Server Products Core Components (3)
2. Netscape Directory Suite (2)
3. Administration Services (2)
4. iPlanet Messaging Suite (5)

Specify the components you wish to install [All]: 1,3,4

構成サーバのプロンプトが表示されたら、URL およびポート番号を入力します (71 ページの「構成サーバのインストール」で説明したようにインストールされた URL およびポート番号)。

以下の書式で、構成ディレクトリを含む、サーバのセキュリティ保護されていない LDAP URL を入力します。

```
ldap://<hostname>:<port>
```

Directory Server の URL [ldap://store1.siroe.com:389] :
ldap://ldapmaster.siroe.com:390

4. すべてのサーバプロセスを停止します。

インストールプログラムは、インストールの最後にすべてのサーバプロセスを起動します。インストールが終了したら、すべてのプロセスを停止できます。停止するには、ルートとして次のコマンドを実行します。

```
<InstanceRoot>/stop-msg
```

5. SIMS 4.0 ユーザ/グループディレクトリを指すように、iPlanet Messaging Server 構成を変更します。

configutil を使用して、以下の構成パラメータを変更します。

```
local.ugldapbasedn = o=internet (SIMS 4.0 がユーザの格納に使用したサフィックス)  
local.ugldapbinddn = "cn=Directory Manager" (DS バインド DN)  
local.ugldapbindcred = secret (DS バインドパスワード)  
local.ugldapdeforgdn = "dc=siroe,dc=com,o=internet" (デフォルトの組織 DN)  
local.ugldaphost = ldapreplica1.siroe.com (LDAP レプリカが常駐するホスト)  
local.ugldapport = 389
```

6. 古い SIMS サーバで「+」がログインセパレータとして使用されている場合、iPlanet Messaging Server ではデフォルトは「@」なので「+」に変更する必要があります。次のコマンドを使用します。

```
configutil -o service.loginseparator -v +
```

- SMTP リレーサーバおよびアップグレードバックエンドストアで完全な `dirsync` を実行します。

```
<InstanceRoot>/imsimta dirsync -F
```

- メッセージングサーバを起動します。

その他のすべてのサーバプロセスを起動します。

```
<InstanceRoot>/start-msg
```

この時点で、iPlanet Messaging Server は完全に機能します (たとえば、ユーザはログインでき、新規メッセージは配信されます)。通常の遅延メッセージ処理により、受信 SMTP サーバの遅延メッセージが `store1.siroe.com` に配信されます。

注 新しくインストールした iPlanet Messaging Server のデフォルト構成では、すべての SMTP リレーがブロックされます。デフォルト構成をサイトポリシーに合わせるには、28 ページの「SMTP リレー機能」を参照してください。

- SIMS メールボックスの iPlanet Messaging Server への移行

ユーザは、SIMS メッセージストアが iPlanet Messaging Server メッセージストアに移行されるまで、メッセージを受け取ることはできません。一時的にメールボックスが空の状態が表示されることもあります。また、古いメッセージが SIMS から移行されると、iPlanet Messaging Server メッセージストアに直接送信された新規メッセージとまとめられます。このため、正確なメッセージ着信順序を維持できない可能性があります。

`store1.siroe.com` で次のコマンドを実行します。

```
imbackup -f- -u <userFile> |
<ServerRoot>/bin/msg/store/bin/imsrestore -f- -cy -n -v1
```

ここで、`<UserFile>` は、ユーザメールボックス名を含むファイルです。ユーザエントリを各ユーザファイルに均等なグループに分割し、10～15のバックアップ/復元セッションを同時に実行します。これにより、もっとも速く新規メッセージストアに復元できます。

注 `configutil -o "local.store.synclevel" -v 0` を使用して、`fsync` を無効にしないでください。

10. その他のすべての SIMS バックエンドメッセージストアサーバに対して、このプロセスを繰り返します。

手順 1 に移動します。

11. すべてのバックエンドメッセージストアが移行されたら、次の手順に進みます。

- a. ユーザおよびグループエントリをアップグレードして、iPlanet Messaging Server スキーマを使用します。

imsdirmig を使用します。

```
imsdirmig -h ldapmaster.siroe.com -b "o=internet" -M sims -F
(mailhost=store1.siroe.com) -D "cn=Directory Manager" -w secret
-m both
```

この場合、o=internet 下のすべてのユーザ / グループエントリがアップグレードされます。

- b. すべての SMTP サーバ (バックエンドメッセージストアサーバ、SMTP リレーサーバなど) でマルチスキーマサポートを無効にします。

すべてのディレクトリエントリを iPlanet Messaging Server スキーマにアップグレードしたら、マルチスキーマサポートは不要になります。configutil を使用して、以下の 2 つのパラメータを削除します。

```
<InstanceRoot>/configutil -o local.imta.schematag -v ""
<InstanceRoot>/configutil -o local.imta.ugfilter -v ""
```

- c. iPlanet Delegated Administrator for Messaging がサポートされるように、システムを修正します。

以下に示す、移行ツールキットにある imsdaci コマンドを使用すると、必要な ACI に従って Delegated Administrator Service Administrator Group および Delegated Administrator Domain Administrator Group が作成されるときに使用できる LDIF ファイルが生成されます。

```
<ServerRoot>/bin/msg/migrate/bin/imsdaci
```

ldapmodify を使用して、LDIF ファイルを DIT に追加します。ACI の例外については、『iPlanet Messaging Server プロビジョニングガイド』を参照してください。

マルチサーバ、オンラインで、ハードウェアに余裕がある場合の移行手順：

1. 新規マシン (newstore1.siroe.com) で iPlanet Messaging Server をインストールおよび構成します。

新規ディレクトリサーバはインストールしないでください。次のプロンプトで、1, 3, 4 を入力します。

Components with a number in () contain additional subcomponents which you can select using subsequent screens.

1. Netscape Server Products Core Components (3)
2. Netscape Directory Suite (2)
3. Administration Services (2)
4. iPlanet Messaging Suite (5)

Specify the components you wish to install [All]: 1,3,4

構成サーバのプロンプトが表示されたら、URL およびポート番号を入力します (71 ページの「構成サーバのインストール」で説明したようにインストールされた URL およびポート番号)。

以下の書式で、構成ディレクトリを含む、サーバのセキュリティ保護されていない LDAP URL を入力します。

```
ldap://<hostname>:<port>
```

Directory Server の URL [ldap://newstore1.siroe.com:389] :
ldap://ldapmaster.siroe.com:390

2. すべてのサーバプロセスを停止します。

インストールプログラムは、インストールの最後にすべてのサーバプロセスを起動します。インストールが終了したら、すべてのプロセスを停止できます。停止するには、ルートとして次のコマンドを実行します。

```
<InstanceRoot>/stop-msg
```

3. SIMS 4.0 ユーザ/グループディレクトリを指すように、iPlanet Messaging Server 構成を変更します。

configutil を使用して、以下の構成パラメータを変更します。

```
local.ugldapbasedn = o=internet (SIMS 4.0 がユーザの格納に使用したサフィックス)  
local.ugldapbinddn = "cn=Directory Manager" (DS バインド DN)  
local.ugldapbindcred = secret (DS バインド パスワード)  
local.ugldapdeforgdn = "dc=siroe,dc=com,o=internet" (デフォルトの組織 DN)  
local.ugldaphost = ldapreplica1.siroe.com (LDAP レプリカが常駐するホスト)  
local.ugldapport = 389
```

- 古い SIMS サーバで「+」がログインセパレータとして使用されている場合、iPlanet Messaging Server ではデフォルトは「@」なので「+」に変更する必要があります。次のコマンドを使用します。

```
configutil -o service.loginseparator -v +
```

- ドメインエントリをアップグレードして、新規バックエンド SMTP ルーティング ホストに追加します。

```
imsdirmig -h ldap.siroe.com -b "o=internet" -M sims -D  
"cn=Directory Manager" -w secret -m domains -A  
mailroutinghosts:newstore1.siroe.com -P -O
```

- 新規メールホストを参照するように、ユーザおよびグループエントリをアップグレードします。

imsdirmig を使用します。

```
imsdirmig -h -b "o=internet" -M sims -F  
(mailhost=store1.siroe.com) -D "cn=Directory Manager" -w secret  
-m both -A mailhost:newstore1.siroe.com -O
```

この場合、o=internet 下のすべてのユーザ/グループエントリに、新しいメールホストが割り当てられ、新しいスキーマにアップグレードされます。

- configutil を使用して次の 2 つのパラメータを追加して、新規マルチシステムスキーマがサポートされるように dirsync を構成します。

```
<InstanceRoot>/configutil -o local.imta.schematag -v "ims50,sims40"  
  
<InstanceRoot>/configutil -o local.imta.ugfilter -v  
(|(objectClass=inetLocalMailRecipient)|(objectClass=inetMailUser)  
(objectclass=inetmailGroup))
```

- アップグレードバックエンドストア newstore1.siroe.com で dirsync を完全に実行します。

これにより、新規サーバは、SMTP サーバからメッセージを受信できるようになります。

```
<InstanceRoot>/imsimta dirsync -F
```

9. メッセージングサーバを起動します。

「start-msg」コマンドを使用して、その他のすべてのサーバプロセスを起動します。この時点で、iPlanet Messaging Server は完全に機能します (たとえば、ユーザはログインでき、新規メッセージを配信できます)。

SIMS メッセージストアが、iPlanet Messaging Server メッセージストアに移行されると、古いメッセージは復元できなくなります。また、古いメッセージが SIMS から移行されると、iPlanet Messaging Server メッセージストアに直接送信された新規メッセージとまとめられます。このため、正確なメッセージ着信順序を維持できない可能性があります。

注 新しくインストールした iPlanet Messaging Server のデフォルト構成では、すべての SMTP リレーがブロックされます。デフォルト構成をサイトポリシーに合わせるには、28 ページの「SMTP リレー機能」を参照してください。

10. すべての SMTP サーバで段階的な dirsync を実行します。

```
<InstanceRoot>/imsimta dirsync
```

移行ユーザへのメッセージは、inbound1.siroe.com および inbound2.siroe.com により、newstore1.siroe.com メッセージストアに転送されます。

11. SIMS SMTP サーバキュー・サーバのすべてのメッセージが処理されることを確認します。

この時点では、受信 SMTP サーバにより SIMS バックエンドメッセージストアに、メッセージは転送されません。SIMS バックエンドサーバをシャットダウンする前に、MTA キューのすべてのメッセージが配信されることを確認します。

12. /opt/SUNWmail/sbin/im.server stop を使用して SIMS を停止します。

すべての SIMS プロセスが停止しているか確認します。

13. SIMS メールボックスを iPlanet Messaging Server に移行します。

newstore1.siroe.com で次のコマンドを実行します。

```
rsh store1.siroe.com /opt/SUNWmail/sbin/backup -f- -u <user> |
<ServerRoot>/bin/msg/store/bin/imsrestore -f- -cy -n -v1
```

ここで、<user> は、ユーザメールボックス名を含むファイルです。ユーザエンタリを各ユーザファイルに均等なグループに分割し、10～15 のバックアップ / 復元セッションを同時に実行します。これにより、もっとも速く新規メッセージストアに復元できます。

注 configutil -o "local.store.synclevel" -v 0 を使用して、fsync を無効にしないでください。

SIMS メッセージストアが、iPlanet Messaging Server メッセージストアに移行されると、古いメッセージは復元できなくなります。一時的にメールボックスが空の状態が表示されることもあります。また、古いメッセージが SIMS から移行されると、iPlanet Messaging Server メッセージストアに直接送信された新規メッセージとまとめられます。このため、正確なメッセージ着信順序を維持できない可能性があります。

14. その他のすべての SIMS バックエンドメッセージストアサーバに対して、このプロセスを繰り返します。

手順 1 に移動します。

15. すべてのバックエンドメッセージストアが移行されたら、次の手順に進みます。

- a. ユーザおよびグループエンタリをアップグレードして、iPlanet Messaging Server スキーマを使用します。

imsdirmig を使用します。

```
imsdirmig -h ldapmaster.siroe.com -b "o=internet" -M sims -D
"cn=Directory Manager" -w secret -m both
```

この場合、o=internet 下のすべてのユーザ / グループエンタリが、新規スキーマにアップグレードされます。

- b. すべての SMTP サーバ (バックエンドメッセージストアサーバ、SMTP リレーサーバなど) でマルチスキーマサポートを無効にします。

すべてのディレクトリエンタリを iPlanet Messaging Server スキーマにアップグレードしたら、マルチスキーマサポートは不要になります。configutil を使用して、以下の 2 つのパラメータを削除します。

```
<InstanceRoot>/configutil -o local.imta.schematag -v ""  
<InstanceRoot>/configutil -o local.imta.ugfilter -v ""
```

- c. iPlanet Delegated Administrator for Messaging がサポートされるように、システムを修正します。

以下に示す、移行ツールキットにある `imsdaaci` コマンドを使用すると、必要な ACI に従って Delegated Administrator Service Administrator Group および Delegated Administrator Domain Administrator Group が作成されるときに使用できる LDIF ファイルが生成されます。

```
<ServerRoot>/bin/msg/migrate/bin/imsdaaci
```

`ldapmodify` を使用して、LDIF ファイルを DIT に追加します。ACI の例外については、『*iPlanet Messaging Server* プロビジョニングガイド』を参照してください。

段階的な移行方法を使用した、SIMS メッセージストアサーバから iPlanet Messaging Server への移行

バックエンドメッセージングサーバを移行する前に、すべてのメッセージアクセスプロキシサーバおよび SMTP リレーサーバがアップグレードされていることを確認します。段階的な移行の長所および短所については、40 ページの「メッセージストアの段階的な移行」を参照してください。

条件:

- iPlanet Messaging Server を、新規ホストにインストールし、SIMS 4.0 を置き換える。
- iPlanet Messaging Server は、既存のユーザ/グループディレクトリサーバおよび構成ディレクトリサーバを使用する
- ディレクトリサーバは、Netscape Directory Server 4.12 で、SIMS と同じホストまたは異なるホストにある。新規ディレクトリサーバは、すでにインストールされていて、iPlanet Messaging Server 構成データを保守している (71 ページの「構成サーバのインストール」参照)。ユーザ/グループディレクトリ、つまり、SIMS をサポートするディレクトリは、同じ (アップグレード済みの) ユーザ、グループ、およびドメインエントリで新しい iPlanet Messaging Server をサポートする。
- SIMS ユーザメールボックスは、すべて一度にではなく、バッチ単位で移行される。

- これらの試行は、新規ホストにインストールされるシステムの例です。条件：
SIMS ユーザ / グループディレクトリサフィックス： o=internet
SIMS メールサーバ名： store1.siroe.com
iPlanet Messaging Server メールサーバ名： newstore1.siroe.com
マスター Directory Server： ldapmaster.siroe.com
マスターディレクトリサーバ・ネットワークポート： 389
構成 Directory Server： ldapmaster.siroe.com
構成ディレクトリサーバ・ネットワークポート： 390
ディレクトリサーバ・バインドパスワード： secret
SIMS のデフォルトの組織 DN： dc=siroe,dc=com,o=internet

移行手順：

1. 新規マシン (newstore1.siroe.com) で iPlanet Messaging Server をインストールおよび構成します。

新規ディレクトリサーバはインストールしないでください。次のプロンプトで、1, 3, 4 を入力します。

Components with a number in () contain additional subcomponents which you can select using subsequent screens.

1. Netscape Server Products Core Components (3)
2. Netscape Directory Suite (2)
3. Administration Services (2)
4. iPlanet Messaging Suite (5)

Specify the components you wish to install [All]: 1,3,4

構成サーバのプロンプトが表示されたら、URL およびポート番号を入力します (71 ページの「構成サーバのインストール」で説明したようにインストールされた URL およびポート番号)。

以下の書式で、構成ディレクトリを含む、サーバのセキュリティ保護されていない LDAP URL を入力します。

ldap://<hostname>:<port>

Directory Server の URL [ldap://newstore1.siroe.com:389]:
 ldap://ldapmaster.siroe.com:390

2. すべてのサーバプロセスを停止します。

インストールプログラムは、インストールの最後にすべてのサーバプロセスを起動します。インストールが終了したら、すべてのプロセスを停止できます。停止するには、ルートとして次のコマンドを実行します。

<InstanceRoot>/stop-msg

3. SIMS 4.0 ユーザ/グループディレクトリを指すように、iPlanet Messaging Server 構成を変更します。

configutil を使用して、以下の構成パラメータを変更します。

```
local.ugldapbasedn = o=internet (SIMS 4.0 がユーザの格納に使用したサフィックス)
local.ugldapbinddn = "cn=Directory Manager" (DS バインド DN)
local.ugldapbindcred = secret (DS バインド パスワード)
local.ugldapdeforgdn = "dc=siroe,dc=com,o=internet" (デフォルトの組織 DN)
local.ugldaphost = ldapreplica1.siroe.com (LDAP レプリカが常駐するホスト)
local.ugldapport = 389
```

4. 古い SIMS サーバで「+」がログインセパレータとして使用されている場合、iPlanet Messaging Server ではデフォルトは「@」なので「+」に変更する必要があります。次のコマンドを使用します。

```
configutil -o service.loginseparator -v +
```

5. マルチスキーマ LDAP エントリがサポートされるように、iPlanet Messaging Server (newstore1.siroe.com) で dirsync コマンドを構成します。これは、configutil を使用して、次の 3 つのパラメータを設定することで行われます。

```
<InstanceRoot>/configutil -o local.imta.schematag -v "sims40,ims50"
<InstanceRoot>/configutil -o local.imta.ugfilter -v
"(|(objectClass=inetLocalMailRecipient)(|(objectClass=inetMailUser)(objectClass=inetMailGroup)))"
<InstanceRoot>/configutil -o local.imta.sims_migrate -v True
```

6. 完全な dirsync を実行します。

```
<InstanceRoot>/imsimta dirsync -F
```

7. newstore1.siroe.com ですべてのサーバプロセスを起動します。

```
<InstanceRoot>/start-msg
```

注 新しくインストールした iPlanet Messaging Server のデフォルト構成では、すべての SMTP リレーがブロックされます。デフォルト構成をサイトポリシーに合わせるには、28 ページの「SMTP リレー機能」を参照してください。

8. ユーザメールボックスのバッチを `store1.siroe.com` から `newstore1.siroe.com` に移行します。

新規システムに移行するユーザのサブセットを選択することで、ユーザダウンタイム (ユーザがメールボックスへのアクセスをブロックされる時間) を最小にできます。プロセスがどのように行われるか確認するため、まず少数のユーザを移行することをお勧めします。ユーザの各バッチについて、次の手順を実行します。

- a. 移行するユーザのバッチを選択します。移行プロセス中は、メールにアクセスできないことをユーザに通知します。
- b. これらのユーザへのすべての着信メッセージを、ユーザのメールボックスではなく保持チャンネルに送信し、ユーザのメールボックスが移行中に開かれないようにロックします。次のコマンドを使用します。

```
imsdirmig -h ldapmaster.siroe.com -b
"dc=siroe,dc=com,o=internet" -M sims -D "cn=Directory
Manager" -w secret -m users -F "(uid=s*)" -A
mailDeliveryOption:hold\;mailFolderMap:LOCK -O
```

上記の例では、uid 値が「s」で始まる `siroe.com` のすべてのユーザエントリー (REC-1558 に従って、任意の LDAP フィルタを使用可能) が、`mailDeliveryOption` および `mailFolderMap` の新規属性値で更新されます。このコマンドを使用しても、iPlanet Messaging Server スキーマがサポートされるようにエントリーはアップグレードされません。この手順は、移行プロセスの後半で行います。

このコマンドを実行したら、これらのユーザは、メールを送信することはできませんが、メールボックスにアクセスできなくなります。着信メールは、保持チャンネルに保存され、このプロセスの最後にメールボックスに送信されます。

- c. 受信 SMTP リレーホストと配信 SMTP リレーホスト、および `store1.siroe.com` と `newstore1.siroe.com` で `dirsync` を実行し、前の手順で指定したルーティングの変更を有効にします。

- d. 次のように (iPlanet Messaging Server で)、SIMS ユーザのバッチを iPlanet Messaging Server メッセージストアに変換および移動します。

```
rsh store1.siroe.com /opt/SUNWmail/ims/sbin/backup -f -u
<UserFile> | <ServerRoot>/bin/msg/store/bin/imsrestore -f -cy -n
-v1
```

backup は、SIMS ホストで実行されます。<UserFile> は、ユーザメールボックス名を含むファイルです。ユーザエントリを各ユーザファイルに均等なグループに分割し、10 ~ 15 のバックアップ/復元セッションを同時に実行します。これにより、もっとも速く新規メッセージストアに復元できます。imsrestore は、iPlanet Messaging Server ホストで実行されます。

- e. 新規 iPlanet Messaging Server を参照するようにユーザエントリを変更し、mailDeliveryOption=mailbox およびユーザエントリの mailhost:newmail.siroe.com を設定することで、メールボックスのロックを解除します。-o および -A オプションを指定して、imsdirmig を使用します。

```
imsdirmig -h ldapmaster.siroe.com -b
"dc=siroe,dc=com,o=internet" -M sims -D "cn=Directory
Manager" -w secret -m users -F "(uid=s*)" -O -A
mailDeliveryOption:mailbox\;mailhost:newstore1.siroe.com
```

これで、移行ユーザは、メールボックスにアクセスできるようになります。

- f. newstore1.siroe.com、store1.siroe.com およびすべてのリレーサーバで、段階的な dirsync を実行します。移行ユーザへのメッセージは、受信 SMTP リレーサーバにより、newstore1.siroe.com メッセージストアに送信されます。
- g. store1.siroe.com および newstore1.siroe.com の保持キューを解放し、ユーザメールボックスを新規サーバ newstore1.siroe.com への移動中にシステムに送信されたメッセージをすべて再送信します。

```
/opt/SUNWmail/imta/sbin/hold_master -u <uid> -d <domain>
```

スクリプトを作成し、一度に複数のユーザを移行することもできます。

9. ユーザおよびメーリングリストの次のバッチを移行します。上記の手順を参照してください。
10. メーリングリストエントリについて、mailhost 属性を、新規 iPlanet Messaging Server ホストの完全修飾名 (例: newstore1.siroe.com) に変更します。このようにしないと、ローカルで配送した場合、メールは古い SIMS サーバに誤って送信されます。

```
imsdirmig -h ldapmaster.siroe.com -b
"dc=siroe,dc=com,o=internet" -M sims -D "cn=Directory Manager" -w
secret -m groups -F "(objectclass=inetmailgroup)" -O -A
mailhost:newstore1.siroe.com
```

これにより、すべてのグループのLDAP エントリがアップグレードされます。

11. SMTP サーバキュー・サーバのすべてのメッセージが処理され、キューが空になっていることを確認します。

これを行う 1 つの方法として、ディスパッチャを停止します。

```
/opt/SUNWmail/sbin/imta stop dispatcher
```

この時点で、SMTP サーバはシャットダウンされますが、ジョブ コントローラはキューのメッセージを処理し続けます。次のコマンドを入力すると、キューが空になっているか確認できます。

```
/opt/SUNWmail/sbin/imta qm counters
```

12. すべてのメールボックスが移行されたら、store1.siroe.com を停止できます。

13. すべてのバックエンドサーバに対して、上記の手順を繰り返します。

14. すべてのバックエンドメッセージストアが移行されたら、次の手順に進みます。

- a. imsdirmig を使用して、すべてのユーザ / グループディレクトリ エントリを iPlanet Messaging Server スキーマにアップグレードします。

```
imsdirmig -h ldapmaster.siroe.com -b "o=internet" -M sims -D
"cn=Directory Manager" -w secret -m both
```

- b. すべての SMTP サーバでマルチスキーマサポートを無効にします。

すべてのディレクトリ エントリを iPlanet Messaging Server スキーマにアップグレードしたら、マルチスキーマサポートは必要なくなります。configutil を使用して、すべての SMTP サーバ (メッセージストアサーバおよびすべての受信と配信リレーサーバ) で以下の 2 つのパラメータを削除します。

```
<InstanceRoot>/configutil -o local.imta.schematag -v ""
<InstanceRoot>/configutil -o local.imta.ugfilter -v ""
```

- c. すべての SMTP サーバ (メッセージストアサーバおよびすべての受信リレーサーバと配信リレーサーバ) でコマンド imsimta dirsync -F を実行します。

- d. iPlanet Delegated Administrator for Messaging がサポートされるように、システムを修正します。

以下に示す、移行ツールキットにある `imsdaaci` コマンドを使用すると、必要な ACI に従って `Delegated Administrator Service Administrator Group` および `Delegated Administrator Domain Administrator Group` が作成されるときに使用できる LDIF ファイルが生成されます。

```
<ServerRoot>/bin/msg/migrate/bin/imsdaaci
```

`ldapmodify` を使用して、LDIF ファイルを DIT に追加します。ACI の例外については、『*iPlanet Messaging Server* プロビジョニングガイド』を参照してください。

付録

メッセージストア構成を修正して (以下の手順を参照)、ユーザの最初のバッチでメールボックス移行のパフォーマンスを向上させることができます。しかし、この構成で、現在使用しているメッセージングサーバを実行することは安全ではありません。ユーザメールボックスの最初のバッチを SIMS サーバから `iPlanet Messaging Server` に移行したら、構成をリセットすることをお勧めします。

メールボックス移行の最適化手順:

1. 手順 8 手順 c が終了したら、メッセージングサーバを停止します。

```
<InstanceRoot>/stop-msg
```

2. 同期レベルを 0 に設定します。

```
<InstanceRoot>/configutil -o "local.store.synclevel" -v 0
```

3. ストアデーモンを起動します。

```
<InstanceRoot>/start stored
```

4. 手順 8 手順 d に戻ります。

5. メールボックスの最初のバッチを移行したら、同期レベルをリセットします。

```
configutil -o "local.store.synclevel" -v 1
```

6. メッセージングサーバプロセスを再起動します。

```
<InstanceRoot>/start-msg
```


Netscape Messaging Server マルチサーバ導入のアップグレード

この節では、Netscape Messaging Server マルチサーバ導入からの iPlanet Messaging Server 導入へのアップグレードプロセスについて説明します。基本的な手順を以下に示します。

1. 97 ページの「必要な命名コンテキストの追加」
2. 98 ページの「Netscape Messaging Server SMTP リレーサーバのアップグレード」
3. 102 ページの「Netscape Messaging Server MMP サーバのアップグレード」
4. 102 ページの「Netscape Messaging Server バックエンドメッセージストアの移行」

必要な命名コンテキストの追加

既存のユーザ/グループディレクトリを使用するには、必要な DC と組織ツリールートサフィックス、およびユーザ/グループディレクトリサーバの追加ディレクトリインデックスを作成する必要があります。これについて以下で説明します。

1. Netscape Messaging Server ユーザ/グループ LDAP サーバ (ldapmaster.siroe.com) に対して、ims_dssetup.pl を実行します。

スクリーンプロンプトおよびその適切な応答の例を以下に示します。

```
Welcome to the IMS Directory Server preparation tool.
```

```
This tool will help you setup a Netscape Directory Server and
make it ready to use for installing iPlanet Messaging Server.
```

```
Do you want to continue [y]:
```

```
Please enter the full path to the directory where Netscape
Directory Server was installed.
```

```
Directory server root [/usr/netscape/server4]:
```

```
Please select a directory server instance from the following list:
```

```
[1] slapd-users
```

```
Which instance do you want [1]:
```

```
Please enter the base suffix for DC Tree [o=internet]:
```

Please enter the base suffix under which the Users/Groups data should be setup [o=siroe.com]:

Do you want to update the schema files [yes]: no

Do you want to configure new indexes [yes]:

Please enter the schema directory [/cdrom/cdrom0/solaris/iMS/msg/config]:

Here is a summary of the settings that you chose:

Server Root: /usr/netscape/server4
Server Instance:slapd-users
Update Schema:no
DC Root:o=internet
User/Group Root:o=siroe.com
Add New Indexes: yes
Schema Directory:/cdrom/cdrom0/solaris/iMS/msg/config

Do you want to continue [y]:

スクリプトは、命名コンテキストの作成、および新規属性のインデックス付けに進みます。

2. Netscape Messaging Server ユーザ / グループディレクトリサーバを再起動します。

`<InstanceRoot>/restart-slapd`

Netscape Messaging Server SMTP リレーサーバのアップグレード

1. 任意の SMTP またはメールマルチプレクサ (SIMS ではプロキシサーバと呼ぶ) サーバをアップグレードする前に、結合スキーマファイル (merged.oc.conf および merged.at.conf) をディレクトリサーバに追加する必要があります。116 ページの「複数スキーマのサポート」を参照してください。

2. SMTP サーバキュー・サーバのすべてのメッセージが処理され、キューが空になっていることを確認します。

これを行うには、SMTP ポート番号を変更し、SMTP サーバを再起動します。これにより、サーバが、標準 SMTP ポートのメッセージを受け入れなくても、キューの任意のメッセージを続けて処理できます。

```
<InstanceRoot>/configutil -o service.smtp.port -v 901
<InstanceRoot>/stop-msg smtp
<InstanceRoot>/start-msg smtp
```

次のコマンドを入力すると、キューが空になっているか確認できます。

```
/usr/bin/mailq
```

3. 古い SMTP サーバを停止します。停止中、着信メッセージは、2 番目の受信 SMTP サーバにより処理されます。
4. iPlanet Messaging Server をインストールおよび構成します。次のスクリーンプロンプト以外のプロンプトが表示されたら、デフォルトの値を選択します。
 - a. 新規ディレクトリサーバはインストールしないでください。次のプロンプトで、1, 3, 4 を入力します。

Components with a number in () contain additional subcomponents which you can select using subsequent screens.

1. Netscape Server Products Core Components (3)
2. Netscape Directory Suite (2)
3. Administration Services (2)
4. iPlanet Messaging Suite (5)

Specify the components you wish to install [All]: 1,3,4

- b. 構成サーバのプロンプトが表示されたら、URL およびポート番号を入力します (71 ページの「構成サーバのインストール」で説明したようにインストールされた URL およびポート番号)。

以下の書式で、構成ディレクトリを含む、サーバのセキュリティ保護されていない LDAP URL を入力します。

```
ldap://<hostname>:<port>
```

Directory Serever の URL [ldap://inbound1.siroe.com:389/] :
ldap://ldapmaster.siroe.com:390

- c. 次のインストールプロンプトが表示されたら、

Default Organization DN [o=siroe.com,o=siroe.com]:

デフォルト値 (o=siroe.com,o=siroe.com) を使用します。これは、Netscape Messaging Server ユーザ / グループエントリが常駐する場所ではないので注意してください。このエントリは、この時点では、現在のネームスペースに残ります。

5. iPlanet Messaging Server がインストールされたら、DC ツリー (この場合、dc=siroe,dc=com,o=internet) のデフォルトドメインエントリにある inetdomainbasedn 属性の値を、Netscape Messaging Server ユーザがいる DN (この場合、o=siroe.com) に変更します。また、configutil を使用して、local.ugldapdeforgdn を o=siroe.com に設定します。

```
<InstanceRoot>/configutil -o "local.ugldapdeforgdn" -v
"o=siroe.com"
```

デフォルトでは、インストールプログラムは、o=siroe.com,o=siroe.com のユーザ / グループを参照するようにデフォルトのドメインを構成しますが、既存の Netscape Messaging Server ユーザおよびグループは、o=siroe.com 下にあります。そのため、DT ツリードメインノード siroe.com の DN リファレンスは、正確な組織サブツリーを参照する必要があります。このように変更することにより、iPlanet Messaging Server がユーザ / グループディレクトリサーバの既存の Netscape Messaging Server ユーザ / グループをどのように認識するかについては、117 ページの「iPlanet Messaging Server での既存のディレクトリ情報ツリーの使用」を参照してください。

6. 新規マルチシステムスキーマがサポートされるように、dirsync を構成します。

```
<InstanceRoot>/configutil -o local.imta.schematag -v "ims50,nms41"
<InstanceRoot>/configutil -o local.imta.ugfilter -v
(|(objectClass=inetLocalMailRecipient)(|(objectClass=mailRecipient)
(objectclass=mailGroup)))
```

7. 古い Netscape Messaging Server SMTP リレーサーバで「+」がログインセパレータとして使用されている場合、iPlanet Messaging Server ではデフォルトは「@」なので「+」に変更します。これにより、ユーザは、既存のログインセパレータを使用して、SMTP AUTH を実行できます。

次のコマンドを使用します。

```
configutil -o service.loginseparator -v +
```

8. これが、配信 SMTP サーバの場合、各サイトポリシーで SMTP リレーを使用します。

- a. `dequeue_removertime` オプションを、`imta.cnf` file の `tcp_local` および `tcp_intranet` チャンネルに追加します。

チャンネルブロックは次のようになります。

```
! tcp_local
tcp_local smtp mx single_sys remotehost inner switchchannel \
identnonelimited subdirs 20 maxjobs 7 pool SMTP_POOL \
maytlssserver maysaslserver sasls witchchannel tcp_auth \
dequeue_removertime
tcp-daemon
```

```
!
! tcp_intranet
tcp_intranet smtp mx single_sys subdirs 20 noreverse \
maxjobs 7 pool SMTP_POOL maytlssserver allowswitchchannel \
sasls witchchannel tcp_auth dequeue_removertime
tcp_intranet-daemon
```

- b. クラス C ネットワークのすべてのノードがサーバを介してリレーできるように、`<server-root>/msg-<instance>/imta/config` 下の `mappings` ファイルを編集して、「* \$N」を「* \$Y」に変更します。

```
+++++
INTERNAL_IP

    $(192.18.74.57/24) $Y
    127.0.0.1 $Y
    * $Y
+++++
```

- c. 次に、コマンド `imsimta cnbuild` を実行します。この時点で、リレーサーバは完全に機能します。

- d. 完全な `dirsync` を実行します。

```
<InstanceRoot>/imsimta dirsync -F
```

- e. SMTP サーバを起動します。

```
<InstanceRoot>/start-msg smtp
```

SMTP リレーの使用の詳細については、22 ページの「SMTP リレーの追加」を参照してください。

Netscape Messaging Server MMP サーバのアップグレード

1. 任意の SMTP サーバまたはメールマルチプレクサ サーバをアップグレードする前に、結合スキーマファイル (merged.oc.conf および merged.at.conf) をディレクトリサーバに追加する必要があります。116 ページの「複数スキーマのサポート」を参照してください。
2. SMTP サーバをインストールすると、インストールプログラムにより、ldapmaster.siroe.com に DC ツリーが作成されました。しかし、DC ツリーのデータをレプリケートするマスターとレプリカ間のレプリケーション契約はありません。このレプリケーション契約を作成する必要があります。*Netscape Directory Server* の管理者用マニュアルを参照してください。
3. 古い Netscape Messaging Server MMP Server を停止します。
4. MMP サーバをインストールおよび構成します。次のスクリーンプロンプト以外のプロンプトが表示されたら、デフォルトの値を選択します。

Please enter the LDAP URL to the domain component tree

```
[ldap://siroe.com:389/o=internet]: ldap://ldapreplica2.siroe.com:389/o=internet
```

Netscape Messaging Server LDAP サーバ情報を入力します。これは、既存の Netscape Messaging Server ユーザ / グループ LDAP サーバです。

Netscape Messaging Server バックエンドメッセージストアの移行

バックエンドメッセージングサーバを移行する前に、すべての MMP および SMTP リレーサーバがアップグレードされていることを確認します。

条件:

- iPlanet Messaging Server は、同じサーバの Netscape Messaging Server 4.x を置き換える
- iPlanet Messaging Server は、以前にインストールされた既存のユーザ / グループディレクトリサーバおよび構成ディレクトリサーバを使用する
- iPlanet Messaging Server DC ツリーサフィックス: o=internet
マスター Directory Server: ldapmaster.siroe.com
マスターディレクトリサーバ・ネットワークポート: 389
構成 Directory Server: ldapmaster.siroe.com
構成ディレクトリサーバ・ネットワークポート: 390
Directory Server バインド DN: cn=Directory Manager

ディレクトリサーバ・バインドパスワード: `secret`
Netscape Messaging Server ユーザ/グループベース DN: `o=siroe.com`
iPlanet Messaging Server のデフォルトの組織 DN:
`dc=siroe,dc=com,o=internet`
iPlanet Messaging Server サーバユーザ: `mailsrv`

移行手順:

移行を行う前に、メッセージストアのバックアップを作成することを強くお勧めします。

1. SMTP サーバキュー・サーバのすべてのメッセージが処理され、キューが空になっていることを確認します。

これを行うには、SMTP ポート番号を変更し、SMTP サーバを再起動します。これにより、サーバが、標準 SMTP ポートのメッセージを受け入れない間も、キューの任意のメッセージを続けて処理できます。

```
<InstanceRoot>/configutil -o service.smtp.port -v 901  
<InstanceRoot>/stop-msg smtp  
<InstanceRoot>/start-msg smtp
```

次のコマンドを入力すると、キューが空になっているか確認できます。

```
/usr/bin/mailq
```

2. Netscape Messaging Server 4.x を停止します。

```
<InstanceRoot>/stop-msg
```

3. iPlanet Messaging Server をインストールおよび構成します。

新規ディレクトリサーバはインストールしないでください。次のプロンプトで、1, 3, 4 を入力します。

Components with a number in () contain additional subcomponents which you can select using subsequent screens.

1. Netscape Server Products Core Components (3)
2. Netscape Directory Suite (2)
3. Administration Services (2)
4. iPlanet Messaging Suite (5)

Specify the components you wish to install [All]: 1,3,4

構成サーバのプロンプトが表示されたら、URL およびポート番号を入力します (71 ページの「構成サーバのインストール」で説明したようにインストールされた URL およびポート番号)。

以下の書式で、構成ディレクトリを含む、サーバのセキュリティ保護されていない LDAP URL を入力します。

```
ldap://<hostname>:<port>
```

Directory Server の URL [ldap://store1.siroe.com:389] :
ldap://ldapmaster.siroe.com:390

4. すべてのサーバプロセスを停止します。

```
<InstanceRoot>/stop-msg
```

5. 既存の Netscape Messaging Server ディレクトリネームスペースを iPlanet Messaging Server ディレクトリネームスペースにマップまたは修正します。

117 ページの「iPlanet Messaging Server での既存のディレクトリ情報ツリーの使用」を参照してください。

6. デフォルトの組織ツリーを設定します。

configutil を使用して、local.ugldapdeforgdn を o=siroe.com に設定します。

```
<InstanceRoot>/configutil -o "local.ugldapdeforgdn" -v  
"o=siroe.com"
```

o=siroe.com は、デフォルトドメインに対応する組織ツリーの DN です。

7. Netscape Messaging Server メッセージストアを iPlanet Messaging Server メッセージストアに移行します。

プライマリストアパーティションパスを、次のような Netscape Messaging Server 4.x メッセージストアパスを参照するように変更します。

- a. iPlanet Messaging Server Admin Console を使用して、メッセージストア構成が、すべての Netscape Messaging Server 4.x メールストアパーティションを参照するように変更します (『iPlanet Messaging Server 管理者ガイド』を参照)。

注 Netscape Messaging Server 4.x を削除するときに、メッセージストアディレクトリは削除しないでください。これは、このディレクトリにメッセージストアデータが常駐するからです。

- b. ユーザ購読ディレクトリを削除します。

```
rmdir <iMSServerRoot>/msg-<instance>/store/user/
```

- c. Netscape Messaging Server ユーザの同意フォルダへのシンボリックリンクを設定します。

```
ln -s <NMSServerRoot>/msg-<instance>/store/user/  
<iMSServerRoot>/msg-<instance>/store/user/
```

- d. mboxlist ファイルをコピーします。

```
cp <NMSServerRoot>/msg-<instance>/store/mboxlist/data.db2  
<iMSServerRoot>/msg-<instance>/store/mboxlist/folder.db
```

- e. 制限ファイルをコピーします。

```
cp <NMSServerRoot>/msg-<instance>/store/quota.db2  
<iMSServerRoot>/msg-<instance>/mboxlist/quota.db
```

- f. ファイルの所有者がメールサーバユーザであることを確認します。例:

```
chown mailsrv <iMSServerRoot>/msg-<instance>/store/mboxlist/*
```

- g. ほかのファイルはコピーしてはなりません。

8. configutil を使用して次の 2 つのパラメータを追加することで、新規マルチシステムスキーマがサポートされるように dirsync を構成します。

```
<InstanceRoot>/configutil -o local.imta.schematag -v "ims50,nms41"
```

```
<InstanceRoot>/configutil -o local.imta.ugfilter -v  
"(|(objectClass=inetLocalMailRecipient)(| (objectClass=mailRecipient)  
(objectclass=mailGroup)))"
```

9. ストアサーバで完全な dirsync を実行します。

```
<InstanceRoot>/imsimta dirsync -F
```

10. iPlanet Messaging Server を再起動します。

メールサーバが使用できるようになります。この時点で、iPlanet Messaging Server は、マルチスキーマサポートを使用する `ldapmaster.siroe.com` の古いディレクトリエントリを削除します。新規ユーザおよびグループエントリは、新規ディレクトリノードに作成されます。

注 新しくインストールした iPlanet Messaging Server のデフォルト構成では、すべての SMTP リレーがブロックされます。デフォルト構成をサイトポリシーに合わせるには、28 ページの「SMTP リレー機能」を参照してください。

11. 制限データベースをアップグレードし、新機能を使用できるようにします。

メールサーバユーザとして、以下を実行します。

```
su mailsrv
cd <iMSServerRoot>/bin/msg/admin/bin
setenv CONFIGROOT <iMSServerRoot>/msg-<Instance>/config
./reconstruct -q
exit
```

12. すべてのバックエンドサーバに対して、上記の手順を繰り返します。

13. すべてのバックエンドサーバを移行したら、次の手順に進みます。

- a. `imsdirmig` を使用して、ユーザ/グループエントリを iPlanet Messaging Server スキーマにアップグレードします。

```
imsdirmig -h ldapmaster.siroe.com -b "o=siroe.com" -M nms -D
"cn=Directory Manager" -w secret -m both
```

- b. すべての SMTP サーバでマルチスキーマ サポートを無効にします。

すべてのディレクトリエントリを iPlanet Messaging Server スキーマにアップグレードしたら、マルチスキーマサポート不要になります。`configutil` を使用して、以下の 2 つのパラメータを削除します。

```
<InstanceRoot>/configutil -o local.imta.schematag -v ""
<InstanceRoot>/configutil -o local.imta.ugfilter -v ""
```

iPlanet Messaging Server 移行のトラブルシューティング

バックアウトストラテジ

新規システムで予期せぬ問題が発生し、その問題が解決されるまで古いシステムに戻す必要がある場合に備えて、バックアウトストラテジをお勧めします。

ディレクトリエントリを新規スキーマにまだ移行していない場合は、単純に手順を逆戻りすることで、ユーザ移行を取り消すことができます。

1. mailUserStatus を hold に変更することで、ユーザを保守状態に戻します。
2. バックアップを作成し、復元 (または MoveUser を使用) して、メールボックスを元のシステムに戻します。
3. メールホストを古いシステムで更新します。
4. ユーザを保守状態から解除します。
5. 新規システムの保持キューを処理して、保守されていた任意のメールを、古いシステムのユーザのメールボックスに戻します。

ディレクトリ移行中のエラー

imsdirmig は、「idempotent」と呼ばれる方法で、ディレクトリエントリを個別に移行します。imsdirmig が、すでに移行されたエントリを移行するように通知された場合、単純にエントリは残ります。そのため、ここですべきことは、imsdirmig により、すべてのディレクトリエントリが処理されたことが報告されるまで、(報告されたエラーの処理後に) imsdirmig を再起動し続けることです。

ディレクトリ移行中のエラー

コマンド行インタフェース

この付録では、109 ページの「`imsdirmig`」および 112 ページの「`imsdaaci`」という移行コマンドについて説明します。

imsdirmig

`imsdirmig` コマンドは、SIMS 4.0 または NMS 4.x ディレクトリエントリ (ユーザ、グループ、およびドメイン) をアップグレードし、iPlanet Messaging Server スキーマの属性を使用します。また、新規スキーマにアップグレードせずに、属性値ペアをエントリに追加することもできます。

形式

```
imsdirmig [-h ldaphost[:ldapport]] -D AdminDN -M mailserver -b dirname
[-A attr:val [\;attr:val] [\;attr:val] [...] [-P] [-O]] [-C configfile] [-F LDAPFilter]
[-T number] [-r val1 [,val2] [,val3] [...]] [-c ] [-f logfile] [-l debuglevel]
[-m user|group|domain|both] [-n] [-w password]
```

オプション

オプション	説明
<code>-D AdminDN</code>	必須。LDAP サーバにバインドするエントリの DN を指定します。通常、管理者またはディレクトリ管理者の DN です。
<code>-M mailserver</code>	必須。メールサーバが、 <code>sims</code> (Sun Internet Mail Server) または <code>nms</code> (Netscape Messaging Server) のどちらであるかを指定します。

オプション	説明
-b <i>DirectoryBaseDn</i>	必須。移行されるエントリを含むディレクトリベースの DN を指定します。この DN は、エントリの取り込みの開始点です。
-A <i>attr:val</i> [\; <i>attr:val</i>] [\; <i>attr:val</i>] [...]	移行中に設定される属性値ペアのリスト (; で区切る) を指定します。デフォルト値は、NULL <i>attr:val</i> ペアです。
-P	-A と併用されます。指定すると、-A で指定された属性値が既存の値ペアに追加されます。指定しないと (デフォルト)、既存の値ペアが置換されます。
-C <i>configfile</i>	構成ファイルを指定します。このファイルは、コマンドフラグおよびパラメータの保存に使用できます。書式については、 <i>config.fmt</i> を参照してください。
-F <i>LDAPFilter</i>	LDAP フィルタを指定します。デフォルト値は NULL です。RFC 1558 を参照してください。
-O	最適化機能を提供します。指定すると、imsdirmig は、-A オプションで指定された <i>attr:val</i> ペアだけを処理します。デフォルト移行には適用されません。このオプションは、-A オプションで指定される移行規則だけを適用するクイック実行オプションです。 このオプションは、-A オプションを指定した場合だけ有効です。
-T <i>number</i>	imsdirmig により提供されるアップデートスレッドの数を指定します。デフォルト値は 2 です。
-c	連続モード操作を指定します。指定すると、imsdirmig は、すべてのエラーを報告しながら、移行プロセスを続行します。指定しないと、imsdirmig は、最初にエラーが発生した時点で停止します。-c オプションが使用されるかどうかにかかわらず、imsdirmig は、発生したすべてのエラーを報告します。
-f <i>logfile</i>	レポートログファイルを指定します。デフォルトの場所は、 <i>/var/tmp/toolname.<TimeStamp></i> です。
-h <i>hostname[:port]</i>	マスター LDAP ディレクトリの LDAP ホストおよびポートを指定します。デフォルト値はローカルホストです。LDAP ポートは 389 です。
-l <i>debuglevel</i>	デバッグファイルに書き込まれるデバッグ情報のレベルを指定します。このデバッグファイルは、 <i>/var/tmp/toolname.dbg</i> に保存されます。有効なデバッグレベルの値を以下に示します。 <ul style="list-style-type: none"> 0 - デフォルトメッセージ 1 - 常にログとして扱われるメッセージ 2 - エラーメッセージ 3 - 警告メッセージ 4 - デバッグメッセージ デフォルト値は 0 です。

オプション	説明
-m user group domain both	エントリタイプを指定します。デフォルト値は、both です。これは、ユーザおよびグループエントリタイプを意味します。
-n	すべてのエントリにプレビューオプションを指定します。デフォルト値は NULL です。
-r val1 [, val2] [, val3] [...]	レポートオプションのリスト (コマンドで区切る) を指定します。値を以下に示します。 totals - 移行されたエントリ、およびエントリタイプのエラーのため移行されなかったエントリのカウントをリストします。 nototals - カウントをリストしません。 names - 移行が行われるときに、各エントリの一意の名前をリストします。 nonames - 各エントリの一意の名前をリストしません。 before - 各検証エントリについて、変更前に、imsdirmig により検証されたすべての属性の値をリストします。 nobefore - 変更前のすべての属性の値をリストしません。 after - 各検証エントリについて、変更後に、imsdirmig により変更されたすべての属性の値をリストします。 noafter - 変更後に、変更された属性をリストしません。 レポートオプションのデフォルト値は、totals、nonames、nobefore および noafter です。
-w password	バインドパスワードを指定します。指定しない場合、imsdirmig は、パスワードについて、エコーのないプロンプトを表示します。

例

```
imsdirmig -b "dc=com,o=internet" -M sims -D "cn=Directory Manager"
-w secret -m both -A mailhost:newmail.siroe.com
```

o=internet 下のすべてのユーザ / グループエントリに、新しいメールホストが割り当てられ、新しいスキーマにアップグレードされます。

imsdaaci

imsdaaci コマンドは、必要な ACI で サービス管理者グループおよびドメイン管理者グループを作成するときに使用される LDIF ファイルを作成します。

ldapmodify を使用して、グループおよび ACI を DIT に追加します。グループが空であり、また、ユーザに管理権限を付与する場合は 1 人以上のユーザがサービス管理者グループのメンバーになる必要があるので注意してください。

<http://docs.iplanet.com/docs/> 以下にある『iPlanet Messaging Server プロビジョニングガイド』の「トップレベル管理者の作成」を参照してください。

形式

```
imsdaaci [-h LDAP_host] -D AdminDN -w password -b DC_Suffix [-p LDAP_Port] [-o OSI_Suffix]
```

オプション

このコマンドのオプションを以下に示します。

オプション	説明
-D <i>AdminDN</i>	必須。管理者の一意の名前を指定します。
-w <i>password</i>	必須。 <i>AdminDN</i> のパスワード。
-b <i>DC_Suffix</i>	必須。DC ツリーのルートサフィックスを指定します。例: o=internet
-h <i>LDAP_host</i>	任意。ユーザ / グループ LDAP サーバのホスト名を指定します。デフォルト値はローカルホストです。
-p <i>LDAP_Port</i>	任意。ユーザ / グループ LDAP サーバのポート番号を指定します。デフォルト値は 389 です。
-o <i>OSI_Suffix</i>	任意。OSI ツリーのルートサフィックスを指定します。指定しない場合、DC サフィックスの値がデフォルトで使用されます。この値は、通常、DC ツリーがユーザ / グループ データを含む既存の SIMS 導入で使用されます。

例

```
imsdaaci -h ldap.siroe.com -D "cn=Directory Manager" -w secret -b  
"o=internet" -o "o=siroe.com"
```

imsdaaci

共通移行手順

この付録では、いくつかの移行シナリオに共通する手順を示します。この付録は、次の節で構成されています。

- 115 ページの「SIMS/Netscape Messaging Server から Netscape Directory Server 4.12 へのアップグレード」
- 116 ページの「複数スキーマのサポート」
 - 116 ページの「SIMS でのマルチスキーマサポートの使用」
 - 117 ページの「Netscape Messaging Server 4.x でのマルチスキーマサポートの使用」
- 117 ページの「iPlanet Messaging Server での既存のディレクトリ情報ツリーの使用」
 - 118 ページの「単一ドメインの Netscape Messaging Server ネームスペースから iPlanet Messaging Server ネームスペースへのマッピング」
 - 121 ページの「複数ドメインの Netscape Messaging Server ネームスペースから iPlanet Messaging Server ネームスペースへのマッピング」
 - 124 ページの「SIMS ディレクトリネームスペースの使用」

SIMS/Netscape Messaging Server から Netscape Directory Server 4.12 へのアップグレード

iPlanet Messaging Server をインストールする前に、Sun Directory Server または以前のバージョンの Netscape Directory Server を使用したインストールを Netscape Directory Server 4.12 にアップグレードする必要があります。以前のバージョンの Netscape Directory Server からバージョン 4.12 にアップグレードする方法について

は、Netscape Directory Server のマニュアルを参照してください。Sun Directory Server から Netscape Directory Server バージョン 4.12 へのアップグレードについては、<http://docs.iplanet.com/docs/> 以下にある SIMS 4.0 インストールガイドの付録 A を参照してください。

複数スキーマのサポート

移行シナリオによっては、iPlanet Messaging Server と SIMS 4.0 または Netscape Messaging Server 4.1 スキーマを、移行中に同時にサポートする必要があります。これには、SIMS および Netscape Messaging Server の結合スキーマファイルのインストールが含まれます。結合スキーマファイルは、LDAP マスターサーバおよびそのすべてのレプリカにインストールする必要があります。

2 つの結合スキーマファイル、merged.oc.conf および merged.at.conf では、SIMS、Netscape Messaging Server および iPlanet Messaging Server のスキーマがサポートされます。これらのファイルは、<CDRoot>/solaris/migrate/schema にあります。また、これらのファイルは、移行ツールキットに同梱されています。

結合スキーマファイルをインストールするには、ファイルを <ServerRoot>/slapd-<instance>/config にコピーします。SIMS または Netscape Messaging Server を実行しているかどうかにより、さらにいくつかの手順を実行する必要があります。以下でこれらを説明します。

SIMS でのマルチスキーマサポートの使用

1. Netscape Directory Server の config ディレクトリにある ns-schema.conf ファイルから次のファイルをコメントアウトします。

```
#include $INSTANCEROOT/ns-mail-schema.conf
```

2. 使用されている Netscape Directory Server の config ディレクトリにある slapd.conf ファイルから次のファイルをコメントアウトします。

```
#include $INSTANCEROOT/config/sims-sisp.at.conf
#include $INSTANCEROOT/config/sims-sisp.oc.conf
#include $INSTANCEROOT/config/sims.at.conf
#include $INSTANCEROOT/config/sims.oc.conf
```

3. 適切な include ステートメントを使用して、merged.oc.conf および merged.at.conf を ns-schema.conf ファイルに追加します。merged.oc.conf は、最初にインストールする必要があるので注意してください。例:

```
include "<ServerRoot>/slapd-<instance>/config/merged.at.conf"
include "<ServerRoot>/slapd-<instance>/config/merged.oc.conf"
```

4. ディレクトリサーバを再起動し (GUI またはコマンド行で)、変更を有効にします。

Netscape Messaging Server 4.x でのマルチスキーマサポートの使用

1. ファイル <ServerRoot>/slapd-<instance>/config/slapd.conf を開き、次の2つの行を追加します (at.conf ファイルは、oc.conf ファイルの前に追加する必要があります)。

```
include "<ServerRoot>/slapd-<instance>/config/merged.at.conf"
include "<ServerRoot>/slapd-<instance>/config/merged.oc.conf"
```

2. ファイル ns-schema.conf で、次の行をコメントアウトします。

```
# include "<ServerRoot>/slapd-<instance>/config/ns-mail-schema.conf"
```

3. ディレクトリサーバを再起動し (GUI またはコマンド行で)、結合スキーマファイルをインストールします。

iPlanet Messaging Server での既存のディレクトリ情報ツリーの使用

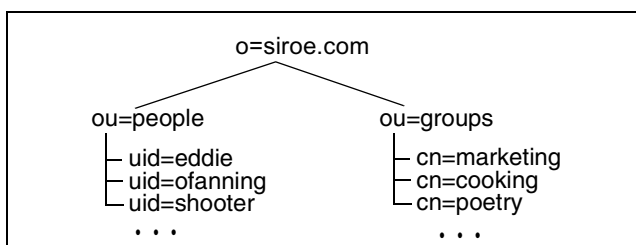
iPlanet Messaging Server では、SIMS 4.0 導入およびいくつかの Netscape Messaging Server 4.1 導入 (18 ページの「Netscape Messaging Server 4.x Directory のネームスペース制限」を参照) の既存のディレクトリ情報ツリー (DIT) を使用できます。この節では、以下のネームスペース移行シナリオについて説明します。

- 118 ページの「単一ドメインの Netscape Messaging Server ネームスペースから iPlanet Messaging Server ネームスペースへのマッピング」
- 121 ページの「複数ドメインの Netscape Messaging Server ネームスペースから iPlanet Messaging Server ネームスペースへのマッピング」
- 124 ページの「SIMS ディレクトリネームスペースの使用」

単一ドメインの Netscape Messaging Server ネームスペースから iPlanet Messaging Server ネームスペースへのマッピング

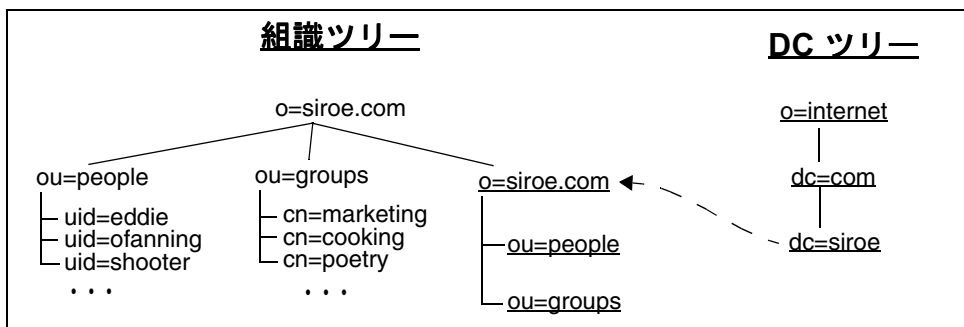
単一ドメインの Netscape Messaging Server ネームスペースから iPlanet Messaging Server ネームスペースにマップする方法を説明するため、まず、単一ドメインの Netscape Messaging Server ネームスペースの簡単な例 (図 B-1) を示します。

図 B-1 Netscape Messaging Server 単一ドメインネームスペース



iPlanet Messaging Server がインストールされると (図 B-2)、ネームスペースマッピングに関する次の 3 つの作業が行われます。1) デフォルトドメインノードの DC ツリーが作成される。2) 空のデフォルトドメインが組織ツリーに作成される。3) DC ツリーのデフォルトドメインエントリの inetDomainBaseDN 属性が、組織ツリーのデフォルトドメインノードに設定される (inetDomainBaseDN は、すべてのユーザ / グループエントリが保存される組織サブツリーの DN です)。

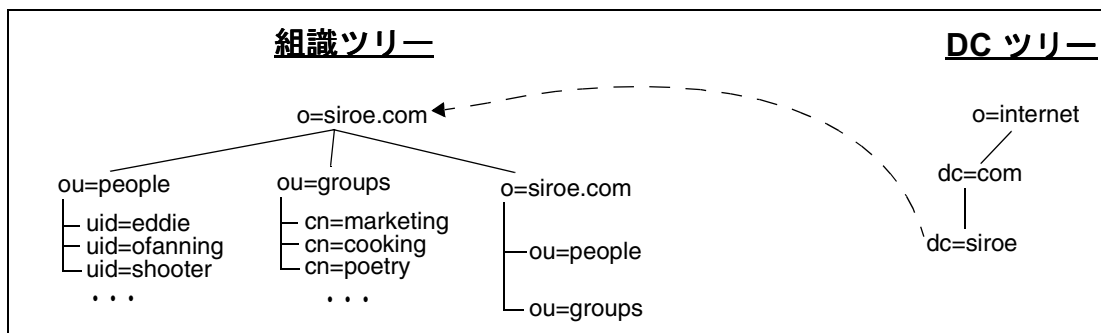
図 B-2 iPlanet Messaging Server がインストールされた後の単一ドメインネームスペース (下線付きノードはインストールプログラムにより作成される)



iPlanet Messaging Server は、この構成では機能しません。これは、DC ツリーを、ユーザおよびグループエントリが存在する組織ツリーにマップする必要があるからです。ユーザおよびグループ データを含む組織サブツリーを参照するように、DC ツリードメインエントリの `inetDomainBaseDN` を設定します。

この例を使用して、Netscape Messaging Server ネームスペースを iPlanet Messaging Server ネームスペースにマップするもっとも簡単な方法を図 B-3 に示します。

図 B-3 単一ドメインの Netscape Messaging Server ネームスペースから iPlanet Messaging Server ネームスペースへのマッピング - Delegated Administrator およびホストドメインはサポートされない

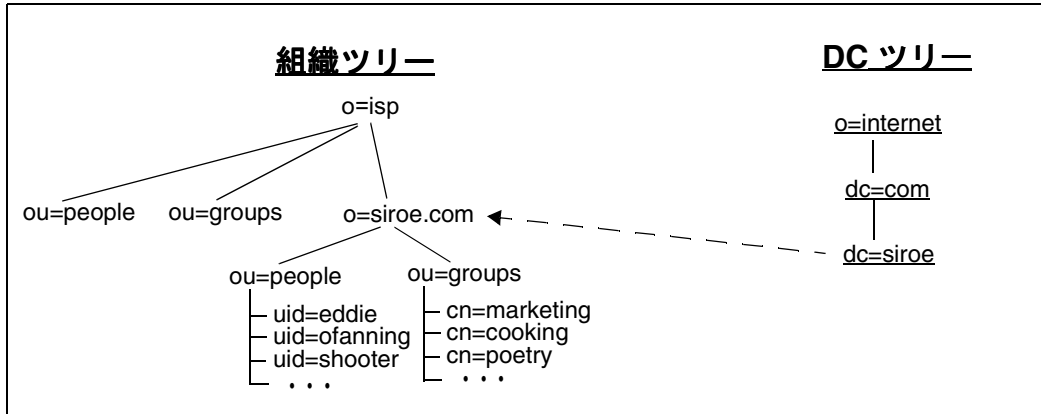


この例では、DC ツリードメインノードエントリ `dc=siroe,dc=com,o=internet` の属性値ペアを、`inetDomainBaseDN:o=siroe.com,o=siroe.com` から `inetDomainBaseDN:o=siroe.com` に変更しました。これは、次の LDIF 変更ファイルで実行できます。

```
dn:dc=siroe,dc=com,o=internet
changetype:modify
replace:inetdomainbasedn
inetDomainBaseDN:o=siroe.com
```

このネームスペース構成は、iPlanet Messaging Server で機能しますが、Delegated Administrator またはホストドメインはサポートされません。Delegated Administrator およびホストドメインをサポートするには、ユーザおよびグループエントリを組織サブツリーノードに移動し、DC ツリードメインノードの `inetDomainBaseDN` 属性を図 B-4 に示すようにリセットする必要があります。

図 B-4 単一ドメインの Netscape Messaging Server ネームスペースから iPlanet Messaging Server ネームスペースへのマッピング - Delegated Administrator およびホストドメインはサポートされる



この例では、次のような作業を行いました。

1. 組織ツリーで、ルートサフィックスを `o=siroe.com` から `o=isp` に変更しました。これは操作上必要ありませんでしたが、これにより組織ツリーがより標準的になります。
2. 組織ツリーで、ユーザおよびグループエントリを、`ou=people,o=siroe.com` および `ou=groups,o=siroe.com` から `ou=people,o=siroe.com,o=isp` および `ou=group,o=siroe.com,o=isp` に移動しました。
3. DC ツリーエントリ `dc=siroe,dc=com,o=internet` で、既存の `inetDomainBaseDN` 属性値ペアを、`inetDomainBaseDN: o=siroe.com,o=isp` に置換しました。

このネームスペース構成では、Delegated Administrator およびホストドメインがサポートされます。Delegated Administrator 機能を追加するには、`imsdaaci` コマンド (移行ツールキットに同梱) を実行します。これにより、必要な ACI で Delegated Administrator Service Administrator Group および Delegated Administrator Domain Administrator Group を作成するときを使用できる LDIF ファイルが生成されます。

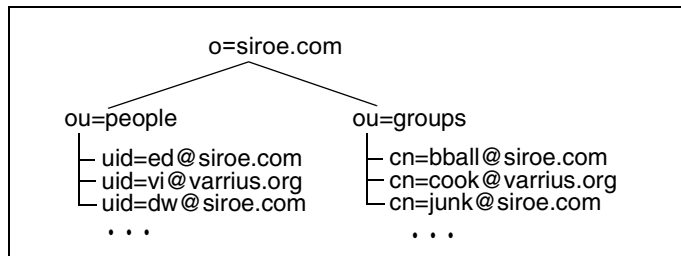
```
<ServerRoot>/bin/msg/migrate/bin/imsdaaci
```

`ldapmodify` を使用して、LDIF ファイルを DIT に追加します。ACI の例外については、『iPlanet Messaging Server プロビジョニングガイド』を参照してください。

複数ドメインの Netscape Messaging Server ネームスペースから iPlanet Messaging Server ネームスペースへのマッピング

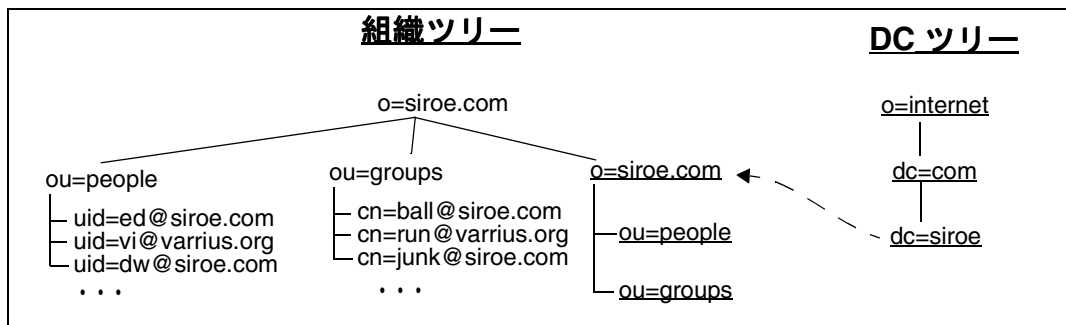
複数ドメインの Netscape Messaging Server ネームスペースから iPlanet Messaging Server ネームスペースにマップする方法を説明するため、まず、複数ドメインの Netscape Messaging Server ネームスペースの簡単な例 (図 B-5) を示します。

図 B-5 Netscape Messaging Server 複数ドメインネームスペース



iPlanet Messaging Server がインストールされると (図 B-6)、ネームスペースマッピングに関する次の 3 つの作業が行われます。1) デフォルトドメインノードの DC ツリーが作成される。2) 空のデフォルトドメインが組織ツリーに作成される。3) DC ツリーのデフォルトドメインエントリの `inetDomainBaseDN` 属性が、組織ツリーのデフォルトドメインノードに設定される (`inetDomainBaseDN` とは、すべてのユーザ/グループエントリが保存される組織ツリーの DN です)。

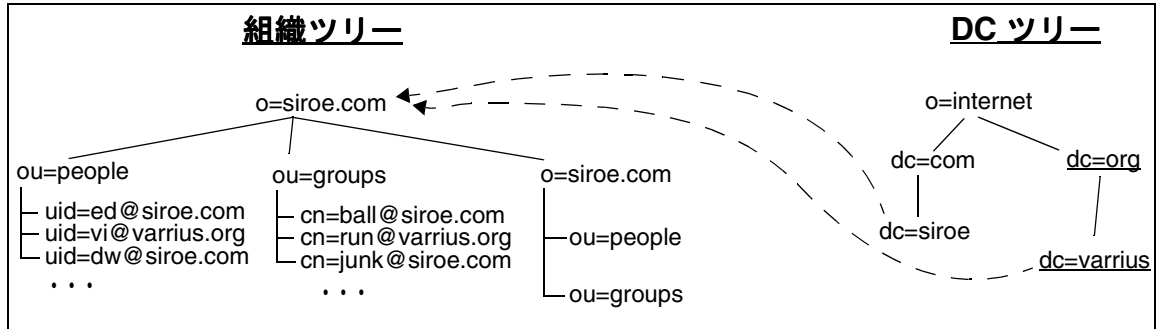
図 B-6 iPlanet Messaging Server がインストールされた後の複数ドメインネームスペース (下線付きノードはインストールプログラムにより作成される)



iPlanet Messaging Server は、この構成では機能しません。これは、DC ツリーを、ユーザおよびグループエントリが存在する組織ツリーにマップする必要があるからです。これには、次の 2 つの手順が関係します。1) 組織ツリーの各ドメインについて、DC ツリーの対応するドメインノードを作成する必要がある。2) 各 DC ツリードメインエントリの `inetDomainBaseDN` 属性は、ユーザおよびグループデータを含む組織サブツリーに設定する必要がある。

この例を使用して、Netscape Messaging Server ネームスペースを iPlanet Messaging Server ネームスペースにマップするもっとも簡単な方法を図 B-7 に示します。

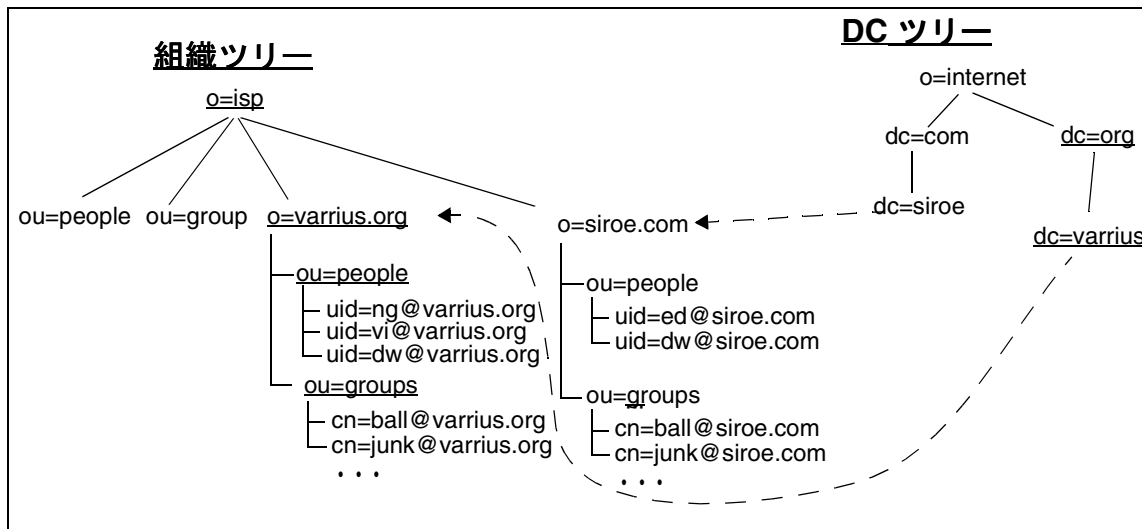
図 B-7 簡単な複数ドメインの Netscape Messaging Server ネームスペースから iPlanet Messaging Server ネームスペースへのマッピング - Delegated Administrator およびホストドメインはサポートされない (下線付きノードは管理者により作成される)



この例では、`dc=varrius`, `dc=org`, `o=internet` という新しい DC ツリードメインノードを作成しました (この作成方法の詳細については、『*iPlanet Messaging Server* プロビジョニングガイド』を参照してください)。また、`dc=siroe`, `dc=com`, `o=internet` および `dc=varrius`, `dc=org`, `o=internet` の `inetDomainBaseDN` 属性値ペアを `inetDomainBaseDN: o=siroe.com` で置換しました。

このネームスペース構成は、iPlanet Messaging Server で機能しますが、Delegated Administrator またはホストドメインはサポートされません。Delegated Administrator およびホストドメインをサポートするには、組織ツリーおよび DC ツリーの個々のドメインノードを作成し、ユーザおよびグループエントリをこれらの組織ツリーノードに移動し、DC ツリードメインノードの `inetDomainBaseDN` 属性をリセットする必要があります。これについては、図 B-8 で説明します。

図 B-8 複数ドメインの Netscape Messaging Server ネームスペースから iPlanet Messaging Server ネームスペースの DC ツリーへのマップ - Delegated Administrator およびホストドメインはサポートされない (下線付きノードは管理者により作成/変更される)



この例では、次のような作業を行いました。

1. 組織ツリーで、ルートサフィックスを `o=siroe.com` から `o=isp` に変更しました。これは操作上必要ありませんでしたが、これにより組織ツリーがより標準的になります。
2. 組織ツリーで、サブツリー `o=varrius.org`, `o=isp`, および 2 つのコンテナ `ou=people` および `ou=groups` を作成しました (ドメインおよびコンテナの作成方法については、『iPlanet Messaging Server プロビジョニングガイド』を参照してください)。
3. 組織ツリーで、ユーザエントリおよびグループエントリを、`ou=people`, `o=siroe.com` および `ou=groups`, `o=siroe.com` から、`varrius.org` および `siroe.com` のユーザおよびグループコンテナに移動しました。
4. DC ツリーで、ドメインノード `dc=org`, `o=internet` および `dc=varrius`, `dc=org`, `o=internet` を作成しました。
5. ドメインノードエントリ `dc=siroe`, `dc=com`, `o=internet` および `dc=varrius`, `dc=org`, `o=internet` で、属性値ペア `inetDomainBaseDN: o=siroe.com, o=isp` および `inetDomainBaseDN: o=varrius.org, o=isp` を追加しました。

このネームスペース構成では、Delegated Administrator およびホストドメインがサポートされます。Delegated Administrator 機能を追加するには、imsdaaci コマンド (移行ツールキットに同梱) を実行します。これにより、必要な ACI で Delegated Administrator Service Administrator Group および Delegated Administrator Domain Administrator Group を作成するときに使用できる LDIF ファイルが生成されます。

```
<ServerRoot>/bin/msg/migrate/bin/imsdaaci
```

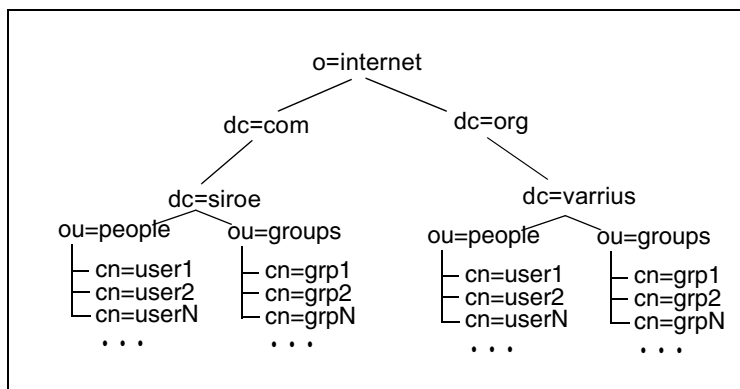
ldapmodify を使用して、LDIF ファイルを DIT に追加します。ACI の例外については、『iPlanet Messaging Server プロビジョニングガイド』を参照してください。

SIMS ディレクトリネームスペースの使用

iPlanet Messaging Server で SIMS 4.0 DIT を使用するには、単純に imsdirmig ユーティリティを実行します。この手順は、さまざまな SIMS 移行シナリオを示す節で説明されています。

imsdirmig は、各 DC ツリードメインエントリの inetDomainBaseDN 属性を、ユーザ/グループデータを含むドメインノードに設定します。この値は、ドメインノード自体です。以下のディレクトリについて、
 dc=siroe,dc=com,o=internet のドメインエントリには、属性ペア
 inetDomainBaseDN: dc=siroe,dc=com,o=internet が含まれます。
 dc=varrius,dc=org,o=internet のドメインエントリには、属性ペア
 inetDomainBaseDN: dc=varrius,dc=org,o=internet が含まれます。

図 B-9 SIMS ディレクトリネームスペース



用語集

admin 管理者または管理を表します。

APOP Authenticated Post Office Protocol (認証機能付きポストオフィスプロトコル) の略語。Post Office Protocol (POP) と類似していますが、APOP では、認証にプレーンテキストのパスワードを使用するのではなく、パスワードをエンコードし、推測が困難な文字列を使用します。

AUTH SMTP コマンドの 1 つで、SMTP クライアントがサーバに対して認証方法を指定できるようにし、認証プロトコル交換を実行し、必要に応じて後続のプロトコル対話のセキュリティレイヤーをネゴシエーションする。

AutoReply ユーティリティ AutoReply 機能を有効にしているアカウントに送信されたメッセージに自動的に応答するユーティリティ。iPlanet Messaging Server のすべてのアカウントは、受信メッセージに対して自動的に応答するように構成できます。

A レコード ホスト名および関連する IP アドレスを含む DNS レコードのタイプの 1 つ。A レコードは、インターネット上でメッセージングサーバが電子メールをルーティングするために使用します。ドメイン名システム (DNS) および MX レコードも参照してください。

CA Certificate Authority (証明書発行局) の略語。デジタル証明書 (デジタル ID) を発行し、その公開鍵を対象者が利用できるようにする組織。

capability (機能) 指定の IMAP サービス内で利用可能な機能を定義する、クライアントに提供される文字列。

ciphertext 暗号化されているテキスト。cleartext の逆です。

cleartext 暗号化されていないテキスト。

CLI Command Line Interface (コマンドラインインタフェース) の略語。

cn 共通名の LDAP 別名。

CNAME レコード ドメイン名エイリアスをドメイン名にマップする DNS レコードの 1 種。

config 構成。

Configuration Directory Server 単一のサーバまたはサーバセットの構成情報を保持する Directory Server。

configutil ディレクトリサーバまたはローカル構成ファイル `configdb` 内に格納されている、さまざまな構成パラメータを変更するためのコマンドラインユーティリティ。

Console 多くの iPlanet コンポーネントの構成、監視、維持、障害追跡を行うことができる GUI (グラフィカルユーザインタフェース)。

cookie 特定の Web サイトを訪れたときにブラウザのメモリに自動的に入力されるテキストのみの文字列。**cookie** は、Web ページ作成者によってプログラムされます。ユーザは、**cookie** を受け入れるか、拒否することができます。**cookie** を受け入れると、Web ページをより速く読み込むことができます。マシンのセキュリティを損うことはありません。

counterutil カウンタオブジェクト内のすべてのカウンタを表示するためのコマンドラインユーティリティ。

cronjob UNIX のみ。構成時に **cron** デーモンによって自動的に実行されるタスク。
crontab ファイルを参照してください。

crontab ファイル UNIX のみ。指定時間に自動的に実行されるコマンドのリスト (1 行につき 1 つのコマンド)。

DC ツリー Domain Component (ドメイン構成要素) ツリー。DNS ネットワーク構文をミラー化するディレクトリ情報ツリー。DC ツリー内の識別名の例は、`cn=billbob,dc=bridge,dc=net,o=internet` のようになります。

Delegated Administrator for Messaging。ドメイン管理者が、ユーザおよびグループをホストドメインに追加または変更できるようにするインタフェースのセット (GUI および CLI)。

Delegated Administrator Console ドメイン管理者がユーザおよびグループをホストドメインに追加または変更できるようにする、Web ブラウザベースのソフトウェアコンソール。また、エンドユーザが自身のパスワードの変更、メッセージ転送規則の設定、休暇規則の設定、および配布リストの一覧表示をできるようにします。

deliver POP、IMAP、または HTTP メールクライアントがアクセス可能なメールをメッセージストアに直接配信するコマンドラインユーティリティ。

Directory Manager ディレクトリサーバデータベースの管理特権を持つユーザ。このユーザには、アクセスコントロールは適用されません (Directory Manager はディレクトリのスーパーユーザとを考えてください)。

Directory Server LDAP に基づく iPlanet ディレクトリサービス。ディレクトリサービス、**Lightweight Directory Access Protocol**、**Configuration Directory Server**、**User/Groups Directory Server** も参照してください。

Dispatcher 定義された TCP ポートに対する接続要求を処理する MTA コンポーネント。Dispatcher は、複数のマルチスレッドサーバが指定サービスの責任を共有可能にするマルチスレッド接続ディスパッチエージェントです。Dispatcher を使用すると、複数のマルチスレッド SMTP サーバプロセスを同時に実行できます。

DIT ディレクトリ情報ツリーを参照してください。

DN 識別名を参照してください。

dn 識別名の LDAP エイリアス。**識別名**も参照してください。

DNS ドメイン名システムを参照してください。

DNS スプーフィング DNS サーバが不正な情報を提供するように変更されているネットワークアタックの 1 形式。

DNS データベース ドメイン名 (ホスト名) および対応する IP アドレスのデータベース。

DNS 別名 DNS サーバが、別のホスト (特に DNS CNAME レコード) を指し示していると認識するホスト名。マシンは、常に 1 つの実名を持ちますが、エイリアスは複数持つことができます。たとえば、**www.siroe.domain** は、サーバが現在存在する **realthing.siroe.domain** という実マシンを示すエイリアスである場合があります。

DSN 配信状態の通知を参照してください。

dsservd ディレクトリ情報を保持するデータベースファイルにアクセスし、LDAP プロトコルを使用してディレクトリクライアントと通信するデーモン。

dssetup 既存の Directory Server を iPlanet Messaging Server で使用できるように準備する Directory Server 準備ツール。

EHLO コマンド サーバが拡張 SMTP コマンドをサポートしているかどうかを確認するためにサーバに照会する SMTP コマンド。RFC 1869 に定義されています。

ESP Enterprise Service Provider (エンタープライズサービスプロバイダ) の略語です。

ESMTP **Extended Simple Mail Transfer Protocol** を参照してください。

ETRN サーバで待機しているクライアントマシンへのメッセージのメールキューの処理をサーバが開始するように、クライアントが要求できるようにする SMTP コマンドの 1 つ。RFC 1985 に定義されています。

expander メッセージをアドレスのリストに配信できるようにする、電子メール配信システムの一部。mail expander は、メーリングリストの実装に使用されます。ユーザが 1 つのアドレス (たとえば、hacks@somehost.edu) にメッセージを送信すると、mail expander がリスト内のメールボックスに配信を行います。mail exploder と呼ばれることもあります。**EXPN** も参照してください。

EXPN メーリングリストを展開する SMTP コマンド。RFC 821 に定義されています。

Extended Simple Mail Transfer Protocol (ESMTP) 拡張簡易メール転送プロトコル。インターネットメッセージ転送プロトコルの 1 つ。ESMTP では、どのコマンドがリモートサイトによって実装されたかを、ESMTP サーバが認識する機能を含めた、拡張機能用のオプションのコマンドを SMTP コマンドセットに追加します。

facility (機能) Messaging Server ログファイルエントリ内における、ログエントリを生成したソフトウェアサブシステムの指定 (Network または Account など)。

FQDN **完全修飾ドメイン名**を参照してください。

GUI グラフィカルユーザインタフェースの略語。

HA **高可用性**を参照してください。

hashdir どのディレクトリが特定のユーザ用のメッセージストアを含んでいるかを判別するためのコマンドラインユーティリティ。

HTTP **HyperText Transfer Protocol** を参照してください。

iDA iPlanet Delegated Administrator for Messaging。

IDENT **Identification Protocol** を参照してください。

Identification Protocol 識別プロトコル (IDENT)。特定の TCP 接続のリモート エンドを担当するリモート プロセスの ID を判別するための手段を提供するプロトコル。RFC 1413 に定義されています。

IMAP4 Internet Message Access Protocol Version 4 を参照してください。

imsadmin ドメイン管理者、ユーザ、グループを管理するためのコマンドラインユーティリティのセット。

imsasm ユーザのメールボックスの保存および回復を処理するユーティリティ。**imsasm** ユーティリティは、**imsbackup** ユーティリティおよび **imsrestore** ユーティリティを呼び出して、データストリームを作成および解釈します。

imsbackup メッセージストアをバックアップするためのコマンドラインユーティリティ。

imsmta コマンド Message Transfer Agent (MTA) のさまざまな保守、テスト、管理タスクを実行するコマンドラインユーティリティのセット。

HyperText Transfer Protocol ハイパーテキスト転送プロトコル (HTTP)。ハイパーテキストドキュメントを Web 上で転送できるようにする標準プロトコル。**iPlanet Messaging Server** では、Web ベースの電子メールをサポートするために HTTP サービスを提供しています。**Messenger Express** を参照してください。

imsrestore メッセージストアを復元するためのコマンドラインユーティリティ。

imscripter IMAP サーバに通知するためのコマンドラインユーティリティ。このユーティリティを使用して、IMAP フォルダに対するコマンドまたはコマンドのバッチ処理を実行することができます。

INBOX ユーザのメール配信用のデフォルトのメールボックスに予約されている名前。**INBOX** は、大文字と小文字を区別しない唯一のフォルダ名です。たとえば、**INBOX**、**Inbox**、**inbox** は、すべてユーザのデフォルトのメールボックスとして有効な名前です。

Internet Message Access Protocol Version 4 インターネットメッセージアクセスプロトコル・バージョン 4 (IMAP4)。ユーザが、メインのメッセージ送信システムから切断してもメールを処理できるようにする標準プロトコル。IMAP 仕様では、これらの切断されたユーザおよびメッセージ送信システムに再接続したときに、ユーザのメッセージストアの同期を管理コントロールできるようにします。

Internet Protocol (IP) インターネットプロトコル (IP)。インターネットおよびイントラネットの基本となる基本ネットワークレイヤープロトコル。

IP **Internet Protocol** を参照してください。

iPlanet Setup すべての iPlanet サーバおよび iPlanet Console 用のインストール プログラム。

IP アドレス 198.93.93.10 などのドットで区切られた数字のセット。イントラ ネットやインターネット上のマシンの実際の場所を指定します。TCP/IP を使用してホストに割り当てられた 32 ビットのアドレスです。

ISP **Internet Service Provider** (インターネットサービスプロバイダ) の略語です。電子メール、電子カレンダー、WWW へのアクセス、Web ホスティングを含むインターネットサービスを顧客に提供する会社。

Job Controller 他の MTA コンポーネントによるさまざまな要求に基づいて、タスクをスケジュールおよび実行する MTA コンポーネント。

LDAP **Lightweight Directory Access Protocol** を参照してください。

LDAP Data Interchange Format LDAP データ変換形式 (LDIF)。Directory Server エントリをテキスト形式で表すために使用される形式。

LDAP Server LDAP ディレクトリを維持し、ディレクトリへの照会をサービスするソフトウェアサーバ。iPlanet Directory Services は、LDAP Server の実装です。

LDAP サーバフェイルオーバー LDAP サーバのバックアップ機能。1 つの LDAP サーバに障害が発生した場合、システムは別の LDAP サーバに切り替えることができます。

LDAP 検索文字列 ディレクトリ検索に使用される属性を定義する、置換可能パラメータを持つ文字列。たとえば、LDAP 検索文字列 "uid=%s" は、検索がユーザ ID 属性に基づいていることを意味します。

LDAP 参照 別の LDAP エントリへのシンボリックリンク (参照) で構成される LDAP エントリ。LDAP 参照は、LDAP ホストと識別名で構成されます。LDAP 参照は、既存の LDAP データを複製する必要がないように、このデータへの参照として使用されます。また、移動されている可能性がある特定のエンタリに依存するプログラムの互換性を維持するためにも使用されます。

LDAP フィルタ 特定の属性または属性値の存在に基づいてエンタリ セットを指定する方法の 1 つ。

LDBM LDAP Data Base Manager の略語。

LDIF **LDAP Data Interchange Format** を参照してください。

Legato Networker Legato 社によって配布されているサードパーティ製バックアップユーティリティ。

Lightweight Directory Access Protocol 軽量ディレクトリアクセスプロトコル (LDAP)。TCP/IP 上および複数プラットフォーム間で実行するように設計されているディレクトリサービスプロトコル。ユーザプロファイル、配布リスト、iPlanet サービス間の構成データを含む情報の格納、検索、配布の一元管理を許可する X.500 Directory Access Protocol (DAP) の簡略機能。iPlanet Directory Server は、LDAP プロトコルを使用しています。

mboxutil メールフォルダを管理するためのコマンドラインユーティリティ。メールボックス (フォルダ) の一覧表示、作成、削除、名前変更、移動を行います。また、制限容量情報をレポートするためにも使用されます。

MD5 RSA Data Security によるメッセージダイジェストアルゴリズム。MD5 は、高い可能性で固有であるデータの短いダイジェストを生成するために使用できます。同じメッセージダイジェスト電子メールを作成するデータ片を生成するのは非常に困難です。

Message Handling System (MHS) 接続された複数の MTA、そのユーザエージェント、メッセージストアのグループ。

Message Transfer Agent (MTA) メッセージのルーティングと配信用に特化されたプログラム。MTA は複数で機能し、メッセージを転送して指定受信者に配信します。MTA ではメッセージをローカルメッセージストアに配信するか、リモート配信のために別の MTA にルーティングするかどうかを判別します。

Messaging Multiplexor 複数のメールサーバへの接続の単一ポイントとして機能するように特化された iPlanet Messaging Server。複数のメールボックスホストにわたる大きなユーザベースの配信を簡易にします。

Messaging Server 管理者 iPlanet Messaging Server インスタンスのインストールおよび管理特権を持つ管理者。

Messenger Express ユーザがブラウザベース (HTTP) のインタフェースを使用してメールボックスにアクセスできるようにするメールクライアント。メッセージ、フォルダ、およびその他のメールボックス情報は、ブラウザウィンドウに HTML 形式で表示されます。**webmail** も参照してください。

mkbackupdir バックアップディレクトリを作成し、メッセージストア内の情報と同期させるユーティリティ。Legato Networker とともに使用されます。

MHS **Message Handling System** を参照してください。

MIME Multipurpose Internet Mail Extension を参照してください。

MMP Messaging Multiplexor を参照してください。

MoveUser 1つの Messaging Server から別の Messaging Server に、ユーザのメールフォルダ内のメッセージを移動するためのコマンドラインユーティリティ。

MTA Message Transfer Agent を参照してください。

MTA 構成ファイル Messaging Server に対するすべてのチャンネル定義、およびルーティング用にアドレスを書き換える方法を決定する書き換え規則を含むファイル (imta.cnf)。チャンネルおよび書き換え規則も参照してください。

MTA ディレクトリキャッシュ MTA がメッセージを処理するために必要なユーザおよびグループに関するディレクトリ サービス情報のスナップショット。ディレクトリ同期化も参照してください。

MTA ホップ 1つの MTA から別の MTA にメッセージをルーティングする動作。

MUA ユーザエージェントを参照してください。

Multiplexor Messaging Multiplexor を参照してください。

Multipurpose Internet Mail Extension 多目的インターネットメール拡張 (MIME)。マルチメディアファイルをメッセージに添付することによって、マルチメディアを電子メールメッセージに含めるために使用できるプロトコル。

MX レコード メール交換レコード。1つのホスト名の別のホスト名にマップする DNS レコードの1種。

NDN 非配信通知を参照してください。

NIS ネットワーク上のシステムおよびユーザに関する主要な情報を含む分散ネットワーク情報サービス。NIS データベースは、マスターサーバ、およびすべての複製サーバまたはスレーブサーバ上に格納されます。

NIS+ ネットワーク上のシステムおよびユーザに関する階層情報を含む分散ネットワーク情報サービス。NIS+ データベースは、マスターサーバおよびすべての複製サーバ上に格納されます。

NMS Netscape Messaging Server の略語。

NOTARY メッセージ NOTARY 仕様 RFC 1892 に準拠する非配信通知 (NDN) および配信状況通知 (DSN)。

OSI ツリー Open Systems Interconnect ネットワーク構文をミラー化するディレクトリ情報ツリー。OSI ツリー内の識別名は、cn=billt,o=bridge,c=us のようになります。

POP3 Post Office Protocol Version 3 を参照してください。

Post Office Protocol Version 3 ポストオフィスプロトコル・バージョン 3 (POP3)。メッセージ転送エージェントが、ユーザのメールフォルダにアクセスすることを必要としない、標準配信方法を提供するプロトコル。アクセスを必要としないことは、メールクライアントおよびメッセージ転送エージェントが異なるコンピュータ上にあることが多いネットワーク接続された環境では利点となります。

RC2 RSA Data Security による可変キーサイズブロック符号化方式。

RC4 RSA Data Security によるストリーム符号化方式。RC2 よりも高速です。

readership 共有メールフォルダ上の読者情報を収集するためのコマンドラインユーティリティ。

reconstruct メールフォルダを再構築するためのコマンドラインユーティリティ。

RFC コメントの要求 (Request For Comments)。1969 年に始まったドキュメントシリーズは、プロトコルおよび関連実験のインターネットスイートを説明しています。RFC で、インターネット標準について説明しているのはわずかですが、すべてのインターネット標準は、RFC として公開されています。
<http://www.imc.org/rfc.html> を参照してください。

SASL Simple Authentication and Security Layer を参照してください。

SCM Service Control Manager を参照してください。

Secure Sockets Layer (SSL) セキュアソケットレイヤ。2つのパーティ(クライアントとサーバ)間で安全な接続を確立するソフトウェアライブラリ。

sendmail UNIX マシンで一般的に使用される MTA。ほとんどのアプリケーションで、iPlanet Messaging Server は sendmail の代わりとして使用できます。

Service Control Manager サービスを管理するための Windows NT 管理プログラム。

Sieve メールをフィルタリングするための言語。

Simple Authentication and Security Layer (SASL) 簡易認証およびセキュリティレイヤ。POP、IMAP または SMTP クライアントが、自身をサーバに識別させるためのメカニズムをコントロールする手段。iPlanet Messaging Server での SMTP SASL のサポートは、RFC 2554 (ESMTP AUTH) に準拠しています。SASL は、RFC 2222 に定義されています。

Simple Mail Transfer Protocol (SMTP) 簡易メール転送プロトコル。インターネット上で最も一般的に使用されている電子メールプロトコルで、iPlanet Messaging Server でサポートされています。RFC 821 に定義され、RFC 822 に関連するメッセージ形式の説明があります。

SIMS Sun Internet Mail Server の略語。

SIZE クライアントが特定のメッセージのサイズをサーバに宣言できるようにする SMTP 拡張機能。サーバは、宣言されたメッセージサイズに基づいて、メッセージを受信できないことをクライアントに示すことができ、サーバは、受信可能な最大メッセージサイズをクライアントに宣言できます。RFC 1870 に定義されています。

SMTP **Simple Mail Transfer Protocol** を参照してください。

SMTP AUTH **AUTH** を参照してください。

sn 苗字の別名ディレクトリ属性。

SSL **Secure Sockets Layer** を参照してください。

SSR Server Side Rules の略語。**サーバ側規則**を参照してください。

stored メッセージストア上で、日々の保守タスクを実行するためのコマンドラインユーティリティ。ディスク上に格納されているメッセージを削除および消去します。

TCP **Transmission Control Protocol** を参照してください。

TCP/IP **Transmission Control Protocol/Internet Protocol** を参照してください。

TLS **Transport Layer Security** を参照してください。

Transmission Control Protocol (TCP) トランスマッションコントロールプロトコル。2つのホスト間に、信頼できる接続型のストリームサービスを提供するインターネットプロトコル群の基本転送プロトコル。

Transmission Control Protocol/Internet Protocol (TCP/IP) トランスミッションコントロールプロトコル/インターネットプロトコル。インターネットプロトコルスイートで使用されるネットワークプロトコルコレクションの名前。この名前は、転送レイヤープロトコルの TCP (Transmission Control Protocol) およびネットワークレイヤープロトコルの IP (Internet Protocol) という 2 つのプロトコル群のプライマリネットワークプロトコルを表しています。

Transport Layer Security (TLS) トランスポートレイヤセキュリティ。SSL の標準形式。Secure Sockets Layer も参照してください。

UA ユーザエージェントを参照してください。

UBE 不特定多数宛てメールを参照してください。

UID (1) ユーザ識別情報。システムに対してユーザを識別する固有の文字列。ユーザ ID とも呼ばれます。(2) ユーザ ID (ログイン名) の別名ディレクトリ属性。

User/Groups Directory Server 組織内のユーザおよびグループに関する情報を保持するディレクトリサーバ。

UUCP UNIX to UNIX Copy Program の略語。UNIX システム間の通信に使用されるプロトコル。

/var/mail 新しいメールメッセージが順番に単一のフラットテキストファイルで格納される Berkeley 方式の受信トレイを参照するために使用される名前。

Veritas Cluster Server iPlanet Messaging Server が統合可能な Veritas Software の高可用性クラスタ化ソフトウェア。

VRFY ユーザ名を確認するための SMTP コマンド。RFC 821 に定義されています。

Web メール ブラウザベースの電子メールサービスを表す一般用語。サーバ上で多くの処理を行う thin クライアントと呼ばれるブラウザベースのクライアントは、常にサーバ上に格納されているメールにアクセスします。Messenger Express も参照してください。

X.400 メッセージ処理システムの基準。

アカウント 特定のユーザまたはユーザグループを定義する情報。この情報には、ユーザ名またはグループ名、有効な電子メールアドレスまたは住所、および電子メールの配信方法と配信先が含まれます。

アクセスコントロール サーバまたはサーバ上のフォルダやファイルへのアクセスを制御する方法。

アクセスコントロール規則 特定のディレクトリエントリまたは属性に対してユーザのアクセス権を指定する規則。

アクセスコントロールリスト (ACL) ディレクトリに対してユーザやグループのアクセス権を定義したデータ。

アクセスドメイン 指定したドメイン内からの特定の Messaging Server 操作へのアクセスを制限します。たとえば、アクセスドメインは、あるアカウントへのメールをどこへ集めるかを制限するために使用できます。

アドレス メッセージの送信先と方法を決定する電子メールメッセージ内の情報。アドレスは、メッセージヘッダとメッセージエンベロープの両方に表示されます。エンベロープアドレスは、メッセージのルーティングおよび配布方法を決定し、ヘッダアドレスは表示専用です。

アドレス処理 MTA によって実行されるアクション。宛先指定に発生するエラーの検出、必要に応じたアドレスの書き換え、アドレスと受信者の一致を行います。

アドレストークン 書き換え規則パターンアドレス要素。

宛て先指定プロトコル 電子メールの送信を可能にする宛て先指定規則。RFC 822 は、インターネット上で最も広く使用されているプロトコルで、iPlanet Messaging Server でサポートされています。その他のプロトコルには、X.400 および UUCP (UNIX to UNIX Copy Protocol) があります。

暗号化 コードキーを持つ指定受信者以外の人物に暗号解読されないように情報を識別するプロセス。

安全なファイルシステム システムがクラッシュした場合に、データをクラッシュ発生前の状態にロールバックし、すべてのデータを復元できるようにログ記録を実行するファイルシステム。安全なファイルシステムの例としては、Veritas File System (VxFS) があります。

一時的な失敗 メッセージ処理中に発生するエラー状態。リモート MTA は、配信時にメッセージを処理することができませんが、後から処理が可能になる場合があります。ローカル MTA は、メッセージをキューに戻して後で再転送をスケジュールします。

インスタンス 指定ホスト上のサーバまたはその他のソフトウェアエンティティの、独立した実行可能な構成。バイナリファイルの単一のインストールセットを使用すると、互いに独立して実行およびアクセス可能な iPlanet サーバの複数のインスタンスを作成できます。

インスタンスディレクトリ サーバの特定のインスタンスを定義するファイルを含むディレクトリ。Messaging Server の場合は、サーバルート *ServerRoot/msg-InstanceName/* のサブディレクトリになります。*InstanceName* は、インストール時に指定したサーバの名前です。**インストールディレクトリ**、**サーバルート**と比較してください。

インストールディレクトリ サーバのバイナリ (実行可能) ファイルがインストールされるディレクトリ。Messaging Server の場合は、サーバルート *ServerRoot/bin/msg/* のサブディレクトリになります。**インスタンスディレクトリ**、**サーバルート**と比較してください。

インターネット TCP/IP プロトコルを使用するネットワークの世界的なネットワークの名前。

インターネットプロトコルアドレス IP アドレスを参照してください。

イントラネット 会社または組織内の TCP/IP ネットワークの 1 つのネットワーク。イントラネットを使用すると、企業は、WWW に使用されているものと同じ種類のサーバおよびクライアントソフトウェアを、企業 LAN 間で配布する内部アプリケーションに採用できます。インターネットと通信するイントラネット上の機密情報は、通常はファイアウォールで保護されています。**ファイアウォール**および**エクストラネット**も参照してください。

永続的な失敗 メッセージ処理中に発生するエラー状態。これが発生すると、メッセージストアは電子メールメッセージのコピーを削除します。MTA はメッセージを送信者に戻し、メッセージのコピーを削除します。

エイリアス 電子メールアドレスの代替名。

エイリアスファイル ディレクトリ内に設定されていないエイリアス (別名) を設定するために使用されるファイル。ポストマスターエイリアスなど。

エクストラネット 顧客およびサプライヤがアクセス可能な、会社のイントラネットの一部。**イントラネット**も参照してください。

エラーハンドラ エラーを処理するプログラム。Messaging Server では、エラーメッセージを発行し、ポストマスターがエラーアクションフォームに記入した後にフォームを処理します。

エラーハンドラアクションフォーム 受信したメッセージのうち、Messaging Server が処理できないメッセージに付随するフォーム。ポストマスターアカウントに送信されます。ポストマスターはフォームに記入して、サーバにメッセージを処理する方法を指示します。

エラーメッセージ エラーまたはその他の状況をレポートするメッセージ。iPlanet Messaging Server は、いくつかの状況でメッセージを生成します。特に、処理できない電子メールメッセージを受け取ったときに生成します。通知エラーと呼ばれるその他のメッセージは、情報を通知することだけを目的としています。

エンタープライズネットワーク 地理的に分散している領域上で相互に接続されているネットワークの集合で構成されるネットワーク。エンタープライズネットワークは、広く分散している会社のニーズにこたえ、会社のミッションクリティカルなアプリケーションで使用されます。

エンベロープ 電子メールメッセージの送信者および受信者に関する情報の転送用コンテナ。情報は、メッセージヘッダの一部ではありません。エンベロープは、さまざまな電子メールプログラムで、メッセージがある場所からある場所へ移動されるときに使用されます。ユーザには、メッセージのヘッダと本文のみが表示されます。

エンベロープフィールド メッセージエンベロープ内の情報の名前付き項目。RCPT TO など。

オブジェクトクラス エントリが説明するオブジェクトの種類および、そこに含まれる属性のセットを指定するテンプレート。たとえば、iPlanet Directory Server では commonname、mail (電子メールアドレス)、mailHost、および mailQuota などの属性を持つ emailPerson オブジェクトクラスを指定します。

オフライン状態 メールクライアントが、メッセージをサーバシステムから表示および応答可能なクライアントシステムにダウンロードする状態。メッセージは、サーバから削除される場合と削除されない場合があります。

オンライン状態 メッセージがサーバ上に残り、メールクライアントによってリモートで応答される状態。

完全修飾ドメイン名 Fully-Qualified Domain Name (FQDN)。特定のインターネットホストを識別する固有の名前。**ドメイン名**も参照してください。

書き換え規則 ドメイン書き換え規則とも呼ばれます。MTA が配信するメッセージを正しいホストにルーティングするために使用するツール。書き換え規則は、次の機能を実行できます。(1) ホスト/ドメイン仕様を受信メッセージのアドレスから抽出する、(2) ホスト/ドメイン仕様を書き換え規則パターンと一致させる、(3) ホスト/ドメイン仕様をドメインテンプレートに基づいて書き換える、(4) どのチャンネルキューにメッセージを配置するかを決定する。

仮想ドメイン (1) ISP ホストドメイン。ホストドメインも参照してください。(2) LDAP 検索およびメールボックスサーバへのログイン用に Messaging Multiplexor によってクライアントのユーザ ID に付加されたドメイン名。

管理コンソール コンソールを参照してください。

管理サーバ管理者 Directory Server 接続がない場合でも、サーバを開始または停止する管理特権を持つユーザ。管理サーバ管理者は、ローカルサーバグループ内のすべてのサーバに対する制限付きサーバタスク (一般的に Restart Server および Stop Server のみ) を持ちます。管理サーバがインストールされるときに、この管理者のエントリがローカルに自動的に作成されます (この管理者はユーザディレクトリ内のユーザではありません)。

管理者 定義された管理特権セットを持つユーザ。構成管理者、Directory Manager、管理サーバ管理者、サーバ管理者、メッセージストア管理者、上位レベル管理者、ドメイン管理者、組織管理者、ファミリグループ管理者、メーリングリスト所有者も参照してください。

管理対象オブジェクト 構成可能な属性の集合。たとえば、ディレクトリサービス用の属性の集合。

管理特権 ユーザの管理役割を定義する権限のセット。

キーデータベース サーバの証明書用の一対のキーを含むファイル。キーファイルとも呼ばれます。

キュー メッセージキューを参照してください。

共有フォルダ 複数の人が読み取り可能なフォルダ。共有フォルダには、フォルダへの読み取りアクセスを指定でき、共有フォルダからメッセージを削除できる所有者がいます。共有フォルダは、受信メッセージを編集、ブロック、転送するモデレータを配置することもできます。共有できるのは IMAP フォルダのみです。**個人用フォルダ**と比較してください。

許可フィルタ POP、IMAP、HTTP のいずれか、またはこれら複数のサービスへのアクセスを許可されるクライアントを識別する Messaging Server アクセスコントロール規則。**拒否フィルタ**と比較してください。

拒否フィルタ POP、IMAP、HTTP のいずれか、またはこれら複数のサービスへのアクセスを拒否されるクライアントを識別する Messaging Server アクセスコントロール規則。**許可フィルタ**と比較してください。

クライアント サーバからサービスまたは情報を要求するソフトウェアエンティティ。

クライアント - サーバモデル ネットワーク接続されたコンピュータが、ほかのクライアントコンピュータに特定のサービスを提供するコンピュータ処理モデル。たとえば、DNS のネームサーバ/ネームリゾルバパラダイム、および NFS やディスクレスホストなどのファイルサーバ/ファイルクライアントのような関係です。

グリーティングフォーム アカウントが作成されたときにユーザに送信されるメッセージ。このフォームは、新しいアカウントの確認とその内容の検証として機能します。

グループ 識別名で構成された LDAP メールエントリのグループ。通常は配布リストとして使用されますが、特定の管理特権をグループのメンバーに付与するときにも使用されます。**動的グループ**、**静的グループ**も参照してください。

グループフォルダ 共有フォルダおよびグループフォルダ用のフォルダを含みません。**共有フォルダ**を参照してください。

ゲートウェイ ゲートウェイおよびアプリケーションゲートウェイという用語は、1つのネイティブフォーマットから別のフォーマットに変換を行うシステムを指します。たとえば、X.400 と RFC 822 間の電子メールゲートウェイや、2つ以上の電子メールシステム(特に、2つの異なるネットワーク上の類似性のないメールシステム)を接続し、その間でメッセージを転送するマシンなどがあります。マッピングおよび変換は複雑な場合があります。一般的には、格納転送スキーマが必要になります。これによって、メッセージが適切に変換されてから次のシステムに転送される前に、1つのシステムから完全に受信されます。

検索ベース **ベース DN**を参照してください。

高可用性 サービス遮断の検知を有効にし、システムの照会またはプロセスの失敗時に回復メカニズムを提供します。また、一次システムに障害が発生した場合に、バックアップシステムがサービスを受け持つようにすることができます。

構成管理者 iPlanet トポロジ全体のサーバおよび構成ディレクトリデータの管理特権を持つユーザ。構成管理者は、iPlanet トポロジ内のすべてのリソースへの無制限アクセスを持ちます。ほかの管理者にサーバアクセス権を割り当てることができる唯一の管理者です。構成管理者は、管理者グループおよびそのメンバーが配置されるまで管理構成を管理します。

構成ファイル iPlanet Messaging システムの特定のコンポーネントの構成パラメータを含むファイル。

個人用フォルダ 所有者のみが読み取り可能なフォルダ。**共有フォルダ**も参照してください。

コメント文字 行の最初に配置することで、その行をコメント(プログラムとして実行されない文字列)に変換する文字。

サーバインスタンス 特定のサーバインストールを表すディレクトリ、プログラム、およびユーティリティ。

サーバ側規則 (SSR) メールサーバ側フィルタリングを有効にする規則のセット。Sieve メールフィルタリング言語に基づいています。

サーバ管理者 サーバ管理タスクを実行するユーザ。サーバ管理者は、タスク ACI に依存して、特定のサーバのタスクに対する制限付きアクセス権を提供します。構成管理者は、ユーザにサーバへのアクセス権を割り当てる必要があります。ユーザがサーバへのアクセス権を付与されると、そのユーザはサーバ管理者になり、サーバへのアクセス権をほかのユーザに付与することができます。

サーバルート 特定のホスト上の特定の管理サーバに関連付けられている、すべての iPlanet サーバがインストールされるディレクトリ。一般的に *ServerRoot* と示します。**インストールディレクトリ**、**インスタンスディレクトリ**と比較してください。

サービス (1) サーバによって提供される機能。たとえば、iPlanet Messaging Server では、SMTP、POP、IMAP、HTTP サービスが提供されます。(2) ユーザインタフェースを持たない Windows NT でのバックグラウンドプロセス。iPlanet は、Windows NT プラットフォーム上ではサービスとして実行します。**デーモン**と同等です。

サービス拒否攻撃 個人が多量のメッセージで故意または偶然にメールサーバをあふれさせる状態。サーバのスループットが大きく影響を受けたり、サーバ自身が過負荷になって機能しなくなる可能性があります。

サブドメイン ドメインの一部。たとえば、corp.siroe.com というドメイン名では、corp がドメイン siroe.com のサブドメインになります。**ホスト名**および**完全修飾ドメイン名**も参照してください。

サブネット ホスト ID のブロックを識別する IP アドレスの一部。

識別名 ディレクトリ情報ツリー内で、エントリの固有の場所を指定する属性および値のカンマ区切りシーケンス。DN と省略されることがあります。

自動応答オプションファイル 自動応答オプションの設定に使用されるファイル。休暇通知など。

従属参照 ディレクトリサーバによって保持されている名前付きコンテキストの子である名前付きコンテキスト。**知識情報**も参照してください。

証明書データベース サーバのデジタル証明書を含むファイル。証明書ファイルとも呼ばれます。

証明書発行局。 CA を参照してください。

証明書ベースの認証 クライアントによって提供されたデジタル証明書によるユーザの識別。**パスワード認証**と比較してください。

証明書名 証明書および所有者を識別する名前。

集約 小さなメッセージまたはフラグメントに分割された大きなメッセージを再構築できるようにする Multipurpose Internet Mail Extensions (MIME) 機能。各フラグメント内に表示される Message Partial Content-Type ヘッダフィールドには、分割されたメッセージを 1 つのメッセージに再構築する情報が含まれます。**分割**も参照してください。

上位参照 ディレクトリ情報ツリー (DIT) 内の、ディレクトリサーバの名前付きコンテキストの上位にある名前付きコンテキストを保持するディレクトリサーバを示します。

照会 ディレクトリサーバが、情報要求を送信したクライアントにその要求を戻すプロセス。その際、クライアントが要求に関して通知する必要がある Directory Service Agent (DSA) に関する情報も一緒に戻します。**知識情報**も参照してください。

シングルサインオン ユーザを一度認証することで、複数のサービス (メール、ディレクトリ、ファイルサービスなど) にアクセスできるようにする機能。

スキーマ 構造および構文を含む、iPlanet Directory Server にエントリとして格納できる情報の種類の定義。スキーマに一致しない情報がディレクトリ内に格納されると、そのディレクトリにアクセスしようとするクライアントに適切な結果が表示されない場合があります。

スプーフィング ネットワークアタックの1形式で、サーバにアクセスまたはメッセージを送信しようとしているクライアントに、不正なホスト名を使用させること。

スマートホスト ほかのメールサーバが受信者を認識できない場合に、メッセージを転送するドメイン内のメールサーバ。

スレーブチャンネルプログラム リモートシステムによって開始された転送を受け入れるチャンネルプログラム。**マスターチャンネルプログラム**も参照してください。

スレッド プロセス内のライトウェイト実行インスタンス。

正規表現 パターンマッチングの目的で、文字の範囲またはクラスを表すために特殊文字を使用したテキスト文字列。

静的グループ 各グループメンバーを列挙することによって静的に定義されるメールグループ。**動的グループ**も参照してください。

セキュリティモジュールデータベース SSL 符号化方式用のハードウェアアクセラレータを説明する情報を含むファイル。secmod とも呼ばれます。

セッション クライアントサーバ接続のインスタンス。

切断状態 メールクライアントがサーバに接続し、選択したメッセージのキャッシュコピーを行い、サーバから切断します。

相対識別名 識別名の属性および値シーケンスにおける最終属性およびその値。**識別名**も参照してください。

組織管理者 Delegated Administrator for Messaging GUI または CLI を使用して、組織またはサブ組織内のメールユーザおよびメーリングリストを作成、変更、削除する管理特権を持つユーザ。

待機ポート サーバがクライアントおよびほかのサーバと通信するために使用するポート。

代替アドレス アカウントの二次アドレス。一般的に一次アドレスのバリエーションです。単一のアカウントに複数のアドレスを持つことが便利な場合があります。

代表管理者サーバ ホストドメインによるディレクトリへのアクセスコントロールを処理するデーモンプログラム。

単一フィールド置換文字列 書き換え規則で、ホスト/ドメインアドレスの指定したアドレス トークンを動的に書き換えるドメイン テンプレートの一部。**ドメイン テンプレート**も参照してください。

知識情報 ディレクトリサービスインフラストラクチャ情報の一部。ディレクトリ サーバでは知識情報を使用して、ほかのサーバに情報に対する要求を渡します。

チャンネル メッセージを処理する基本 MTA コンポーネント。チャンネルは、別のコンピュータシステムまたはシステムグループとの接続を表します。各チャンネルは、1つまたは複数のチャンネルプログラム、およびチャンネルに関連付けられている1つまたは複数のシステムに送信するよう指定されたメッセージを格納する送信メッセージキューで構成されます。**チャンネルブロック**、**チャンネルホストテーブル**、**チャンネルプログラム**も参照してください。

チャンネルプログラム 次の機能を実行するチャンネルの一部。(1) メッセージをリモートシステムに送信して、送信後にメッセージをキューから削除する。(2) リモートシステムからメッセージを受信して適切なチャンネルキューに配置する。**マスターチャンネルプログラム**、**スレーブチャンネルプログラム**も参照してください。

チャンネルブロック 単一のチャンネル定義。チャンネルホストテーブルも参照してください。

チャンネルホストテーブル チャンネル定義のセット。

通知メッセージ Messaging Server によってポストマスターアカウントに送信されるメッセージ。通知をすることを目的とし、ポストマスターからのアクションは要求しません。**エラー メッセージ**と比較してください。

次のホップ リスト メール経路が、メッセージの転送先を判別するために使用する近接システムのリスト。次のホップ リスト内のシステムの順序は、メール経路がシステムにメッセージを転送する順序を決定します。

ディレクトリエントリ 識別名で識別されるディレクトリ属性と値のセット。各エントリには、エントリが説明するオブジェクトの種類を指定し、そこに含まれる属性のセットを定義するオブジェクトクラス属性が含まれます。

ディレクトリ検索 指定したユーザやリソースに関する情報について、ユーザやリソースの名前またはその他の特性に基づいてディレクトリを検索するプロセス。

ディレクトリコンテキスト メッセージストアアクセスに対するユーザおよびパスワードの認証に使用されるエントリーの、検索が開始されるディレクトリツリー情報内のポイント。**ベース DN** も参照してください。

ディレクトリサービス 組織内の人材およびリソースに関する情報の論理的に集中化されたリポジトリ。**Lightweight Directory Access Protocol** も参照してください。

ディレクトリ情報ツリー ディレクトリエントリが構成されるツリー状の階層構造。DIT とも呼ばれます。DIT は、DNS (DC ツリー) または Open Systems Interconnect ネットワーク (OSI ツリー) に沿って構成できます。

ディレクトリスキーマ ディレクトリに格納可能なデータを定義する規則のセット。

ディレクトリ同期化 MTA ディレクトリキャッシュをディレクトリサービスに格納されている現在のディレクトリ情報に更新する (同期化する) プロセス。**MTA ディレクトリキャッシュ** も参照してください。

データストア ディレクトリ情報を含むストア。一般的にディレクトリ情報ツリー全体を含みます。

デーモン 必要に応じてバックグラウンドで端末から独立して機能を実行する UNIX プログラム。デーモンプログラムの一般的な例は、メールハンドラ、ライセンスサーバ、プリントデーモンです。Windows NT マシンでは、このようなプログラムはサービスと呼ばれます。**サービス** も参照してください。

展開 この用語は、配布リストの MTA 処理に適用されます。配布リストに宛て先指定されたメッセージを、各配布リストのメンバー数分のコピーに変換します。

転送プロトコル MTA 間でメッセージを転送する手段を提供します。たとえば、SMTP および X.400 など。

統一メッセージ送信 電子メール、ボイスメール、ファックス、およびその他の通信形式に単一のメッセージストアを使用する概念。iPlanet Messaging Server は、完全な統一メッセージ送信ソリューションの基礎を提供します。

同期化 (1) マスターディレクトリサーバによる複製ディレクトリサーバへのデータの更新。(2) MTA ディレクトリ キャッシュの更新。

動的グループ LDAP 検索 URL で定義されるメールグループ。ユーザは、LDAP 属性をディレクトリエントリに設定することによってグループに参加します。

トップレベル管理者 Delegated Administrator for Messaging GUI または CLI を使用して、Messaging Server ネームスペース全体のメールユーザ、メーリングリスト、ファミリアカウントおよびドメインを作成、変更、削除する管理特権を持つユーザ。デフォルトでは、このユーザはトポロジ内のすべてのメッセージ送信サーバに対するメッセージストア管理者として機能できます。

ドメイン 1) ホスト名が共通の接尾辞 (ドメイン) 名を共有するコンピュータのグループ。構文上、インターネットドメイン名は、ピリオド (点) で区切られた名前前のシーケンス (ラベル) で構成されます。たとえば、corp.mktng.siroe.com のようになります。2) 管理コントロールの領域。

ドメイン書き換え規則 **書き換え規則**を参照してください。

ドメイン管理者 Delegated Administrator for Messaging GUI または CLI を使用して、ホストドメイン内のメールユーザ、メーリングリスト、ファミリアカウントを作成、変更、削除する管理特権を持つユーザ。デフォルトでは、このユーザはトポロジ内のすべてのメッセージ送信サーバに対するメッセージストア管理者として機能できます。

ドメイン組織 組織ツリー内のホストドメインの下のサブドメイン。ドメイン組織は、ユーザおよびグループエントリを部門ラインに沿って構成する会社にとって便利です。

ドメイン制限値 電子メールメッセージ用にドメインに割り当てられる容量。システム管理者が設定します。

ドメインテンプレート アドレスのホスト / ドメイン部分を書き換える方法を定義する書き換え規則の一部。完全静的ホスト / ドメインアドレスまたは単一のフィールド代替文字列、あるいはその両方を含めることができます。

ドメイン部分 @ 記号の右側にある電子メールアドレスの一部。たとえば、siroe.com は、電子メールアドレス dan@siroe.com のドメイン部分です。

ドメイン別名 別のドメインを示すドメインエントリ。別名を使用することにより、ホストドメインが複数のドメイン名を持つことができます。

ドメインホスティング 共有メッセージングサーバ上の 1 つまたは複数のドメインをホストする機能。たとえば、ドメイン siroe.com および sesta.org は、両方とも siroe.net メールサーバ上でホストされます。ユーザは、ホストドメインでメールを送受信します。メールサーバの名前は電子メールアドレスには表示されません。

ドメイン名 (1) 電子メールアドレスで使用されるホスト名。(2) 管理組織を定義する固有名。ドメインには、ほかのドメインを含むことができます。ドメイン名は、右から左に解釈されます。たとえば、**siroe.com** は、**Siroe Company** のドメイン名であり、また上位レベル **com** ドメインのサブドメインになります。**siroe.com** ドメインは、**corp.siroe.com** などのサブドメインにさらに分割できます。**ホスト名**および**完全修飾ドメイン名**も参照してください。

ドメイン名システム Domain Name System (DNS)。コンピュータが、ネットワークまたはインターネット上のほかのコンピュータをドメイン名で見つけることができるようにする分散名前解決ソフトウェア。システムは、標準 IP アドレスにホスト名を関連付けます (**www.siroe.com** など)。マシンは通常、この情報を **DNS** サーバから取得します。**DNS** サーバは、ホスト名をインターネットアドレスに変換する分散、複製、データ照会サービスを提供します。**A レコード**、**MX レコード**、**CNAME レコード**も参照してください。

名前解決 IP アドレスを対応する名前にマッピングするプロセス。**DNS** も参照してください。

認証 (1) iPlanet Messaging Server に対してクライアントユーザの識別情報を証明するプロセス。(2) クライアントまたは別のサーバに対して iPlanet Messaging Server の識別情報を証明するプロセス。

認証証明書 相手のパーティを確認および認証するためにサーバからクライアントまたはクライアントからサーバへ送信されるデジタルファイル。証明書は、その所有者 (クライアントまたはサーバ) の認証を保証します。証明書は転送不可能です。

ネームスペース LDAP ディレクトリのツリー構造。**ディレクトリ情報ツリー**を参照してください。

ノード DIT 内のドメインエントリ。

パーティション **メッセージストアパーティション**を参照してください。

配信 **メッセージ配信**を参照してください。

配信状態の通知 受信者に配信中のメッセージに関する状態情報を通知するメッセージ。たとえば、配信がネットワーク停止により遅延していることを示すメッセージなど。

配布リスト 1つの電子メールアドレスを指定することによってメッセージを送信できる電子メールアドレス (ユーザ) のリスト。メーリングリストまたはグループとも呼ばれます。**展開**、**メンバ**、**モデレータ**、**別名**も参照してください。

配布リスト所有者 配布リストに責任を持つユーザ。所有者は、配布リストメンバの追加または削除ができます。**配布リスト**、**展開**、**メンバー**、**モデレータ**も参照してください。

バインドDN 操作を実行するときに Directory Server に対して認証するために使用される識別名。

パスワード認証 ユーザ名とパスワードを使用したユーザの識別。証明書ベースの認証と比較してください。

パターン 許可フィルタや拒否フィルタなどで、一致目的で使用される文字列式。

バックアップ メッセージストアからバックアップ装置にフォルダの内容をバックアップするプロセス。**復元**も参照してください。

バックエンドサーバ 電子メールメッセージを格納および取り出す機能のみを持つ電子メールサーバ。メッセージストアサーバとも呼ばれます。

バックボーン 分散システムの一次接続性メカニズム。バックボーン上の中間システムに接続可能なすべてのシステムは、相互に接続されています。コスト、パフォーマンスまたはセキュリティの理由から、システムでバックボーンをバイパスするように設定することが妨げられることもできます。

バナー クライアントが初めて接続したときに IMAP などのサービスによって表示されるテキスト文字列。

バニティドメイン 特定のサーバまたはホストドメインではなく個別のユーザに関連付けられているドメイン名。**MailAlternateAddress** 属性を使用して指定されます。ドメイン名に LDAP エントリを持ちません。バニティドメインは、独自のホストドメインをサポートするオーバーヘッドを管理することなしに、カスタマイズドメイン名を希望する個人または小規模な組織で役立ちます。カスタムドメインとも呼ばれます。

ハブ システムの単一接続ポイントとして機能するホスト。たとえば、2つのネットワークがファイヤウォールで分離されている場合、ファイヤウォールコンピュータがメールハブとして機能します。

パブリックキー暗号化 公開コンポーネントと非公開コンポーネントで構成される、2つの部分のキー(コード)を使用する暗号方式。メッセージを暗号化するには、受信者のパブリックキーを使用します。メッセージの暗号を解除するには、受信者は自身だけが知っている非パブリックキーを使用します。

非配信通知 メッセージ転送中に、MTA がアドレスパターンと書き換え規則間に一致するものを見つけられない場合、MTA では非配信レポートをオリジナルのメッセージと一緒に送信者に戻します。

ファイアウォール ネットワーク構成の 1 つ。通常はハードウェアおよびソフトウェアの両方で、組織内のネットワーク接続されたコンピュータと組織外のコンピュータ間のバリアを構成します。ファイアウォールは、一般的に、物理的な建物または組織サイト内にある、ネットワークの電子メール、ディスカッショングループ、データファイルなどの情報を保護するために使用されます。

ファミリーグループ管理者 ファミリーグループのファミリーメンバを追加または削除する管理特権を持つユーザ。このユーザは、グループのほかのメンバーにファミリーグループ管理アクセス権を付与できます。

フェイルオーバー 1 つのシステムから別のシステムへのコンピュータサービスの自動転送。冗長バックアップを提供するための機能です。

フォルダ メッセージの名前付きコレクション。フォルダには、ほかのフォルダを含めることができます。メールボックスとも呼ばれます。**個人用フォルダ**、**共有フォルダ**、**INBOX** も参照してください。

復元 バックアップ装置からメッセージストアにフォルダの内容を復元するプロセス。**バックアップ**も参照してください。

複製ディレクトリサーバ データのすべてまたは一部のコピーを受信するディレクトリ。

輻輳しきい値 システム管理者が設定できるディスク容量制限。システムリソースが不足したときに、データベースが過負荷になるのを防ぐために、新しい操作を制限します。

符号化方式 暗号化に使用されるアルゴリズム。

不特定多数宛てメール Unsolicited Bulk Email (UBE)。一般的に宣伝目的などに使用される、電子メール。大量の配布者から一方的に送信される。

プレーンテキスト データの転送メソッドを表します。定義はコンテキストによって異なります。たとえば、SSL プレーンテキストパスワードは、暗号化され、cleartext としては送信されません。SASL では、プレーンテキストパスワードはハッシュされ、パスワードのハッシュのみがテキストとして送信されます。SSL および SASL も参照してください。

プレーンテキスト認証 パスワード認証を参照してください。

プロキシ 1つのシステムが、プロトコル要求に応答して別のシステムに " 向かう " メカニズム。プロキシシステムは、ネットワーク管理において、モデムなどの簡単なデバイスで完全なプロトコルスタックを実装するのを避けるために使用されます。

プロセス オペレーティングシステムによって設定される、独立して完全に機能する実行環境。アプリケーションの各インスタンスは、一般的に別のプロセスで実行します。**スレッド**と比較してください。

プロトコル 交換されるメッセージおよび情報を交換するために2つ以上のシステムで従うべき規則の正式な説明。

プロビジョニング iPlanet Directory Server 内のエントリを追加、変更、削除するプロセス。これらのエントリには、ユーザおよびグループとドメイン情報が含まれます。

分割 大きなメッセージを小さなメッセージに分割できるようにする Multipurpose Internet Mail Extensions (MIME) の機能。**集約**も参照してください。

ベース DN 検索が行われるディレクトリ内の識別名エントリ。検索ベースとも呼ばれます。たとえば、ou=people、o=siroe.com など。

ヘッダ メッセージの本文の前に付く、電子メールメッセージの一部。ヘッダは、フィールド名の後にコロンが付き、その後に値が表示されます。ヘッダには、メッセージを識別する電子メールプログラム、およびユーザに役立つ情報が含まれます。たとえば、配信情報、内容の概要、トレース、MIME 情報が含まれます。これらは、メッセージの受信者、送信者、送信日時、内容を示します。ヘッダは、電子メールプログラムが読み取れるように RFC 822 に従って記述されている必要があります。

ヘッダフィールド メッセージヘッダの情報の名前付き項目。From: や To: など。「ヘッダ行」と呼ばれることもあります。

別名の参照解除 バインドまたは検索操作において、ディレクトリサービスが識別名の別名をエントリの実際の識別名に変換するよう指定します。

ポート番号 ホストマシン上の個々の TCP/IP アプリケーションを指定する番号。転送されたデータの宛先を提供します。

ホスト 1つまたは複数のサーバが常駐するマシン。

ホストドメイン ISPによってアウトソーシングされる電子メールドメイン。つまり、ISPでは、組織の電子メールサービスを運用および維持することによって組織に電子メールドメインホスティングを提供します。ホストドメインは、ほかのホストドメインと同じ Messaging Server ホストを共有します。初期の LDAP ベースの電子メールシステムでは、ドメインは1つまたは複数の電子メールサーバホストによってサポートされていました。Messaging Server を使用すると、多くのドメインを単一のサーバでホストできます。各ホストドメインに対して、ドメインのユーザおよびグループコンテナを示す1つの LDAP エントリがあります。ホストドメインは、仮想ホストドメインまたは仮想ドメインとも呼ばれます。

ホスト名 ドメイン内の特定のマシンの名前。ホスト名は、IP ホスト名です。これは、「短い形式」のホスト名（たとえば、mail）または完全修飾ホスト名のどちらかになります。完全修飾ホスト名は、ホスト名とドメイン名の2つの部分で構成されます。たとえば、mail.siroe.com は、ドメイン siroe.com のマシン mail です。ホスト名は、ドメイン内で固有でなければなりません。組織は、マシンが異なるサブドメイン内にある限り、mail という名前の複数のマシンを持つことができます。たとえば、mail.corp.siroe.com および mail.field.siroe.com などです。ホスト名は、常に特定の IP アドレスにマップされます。**ドメイン名**、**完全修飾ドメイン名**、**IP アドレス** も参照してください。

ホスト名を隠す 特定の内部ホスト名を含まない、ドメインベースの電子メールアドレスを持つことです。

ポストマスターアカウント Messaging Server からのシステム生成メッセージを受信する電子メールグループおよび電子メールアドレスの別名。ポストマスターアカウントは、有効な1つまたは複数のメールボックスを指定する必要があります。

本文 電子メールメッセージの一部。ヘッダおよびエンベロープは標準形式に従う必要がありますが、メッセージの本文は、送信者が決定します。本文には、テキスト、グラフィック、マルチメディアを含めることができます。構造化された本文は、MIME 基準に従います。

ホップ 2つのコンピュータ間の転送。

無効なユーザ メッセージ処理中に発生するエラー状態。これが発生すると、メッセージストアはMTAに通信を送信し、メッセージストアはメッセージのコピーを削除します。MTAはメッセージを送信者に戻し、メッセージのコピーを削除します。

マスターディレクトリサーバ 複製されるデータを含むディレクトリサーバ。

マスターチャネルプログラム 一般的にリモートシステムへの転送を開始するチャネルプログラム。**スレーブチャネルプログラム**も参照してください。

命名コンテキスト DNによって識別されるディレクトリ情報ツリーの特定のサブツリー。iPlanet Directory Serverでは、特定の種類のディレクトリ情報が命名コンテキスト内に格納されます。たとえば、Siroe Corporationのボストンオフィスにいるマーケティング従業員のすべてのエントリを格納する命名コンテキストは、次のようになります。ou=mktg, ou=Boston, o=Siroe, c=US。

命名属性 ディレクトリ情報ツリー識別名内の最後の属性。**相対識別名**も参照してください。

メール交換レコード **MXレコード**を参照してください。

メールクライアント ユーザが電子メールを送受信するのを支援するプログラム。ユーザが最もよく使用する、多様なネットワークおよびメールプログラムの一部です。メールクライアントでは配信用のメッセージを作成および送信し、新しい受信メールをチェックし、受信メールを受け入れて構成します。

メールボックス メッセージが格納および表示される場所。**フォルダ**を参照してください。

メールリレー MUAまたはMTAからのメールを受け入れ、メール受信者のメッセージストアまたは別のルータにリレーするメールサーバ。

メールルータ **メールリレー**を参照してください。

メールリングリスト 1つのメールリングリストアドレスによって1つのメッセージを送信するための電子メールアドレスのリスト。グループとも呼ばれます。

メールリングリスト所有者 メールリングリストのメンバーを追加または削除する管理特権を持つユーザ。

メッセージ 電子メールの基本ユニット。メッセージは、ヘッダと本文で構成され、多くは、送信者から受信者に転送される間はエンベロープに収められています。

メッセージアクセスサービス Messaging Serverメッセージストアへのクライアントアクセスをサポートするプロトコルサーバ、ソフトウェアドライバ、ライブラリ。

メッセージキュー クライアントおよびその他のメールサーバから受信したメッセージが、配信(即時または延期)用にキューに入れられているディレクトリ。

メッセージ削除 メッセージに削除マークを付ける動作。削除されたメッセージは、ユーザによる別のアクションによって消去またはパージされるまでメッセージストアから削除されません。**メッセージのパージ**、**メッセージの消去**も参照してください。

メッセージ制限値 特定のフォルダが消費できるディスク容量を定義する制限。

メッセージストア Messaging Server インスタンスにローカルに配信されたすべてのメッセージのデータベース。メッセージは、単一の物理ディスクまたは複数の物理ディスク上に格納できます。

メッセージストア管理者 Messaging Server インストール用のメッセージストアの管理特権を持つユーザ。このユーザは、メールボックスを表示および監視でき、ストアへのアクセスコントロールを指定できます。プロキシ認証権限を使用して、ストアを管理する特定のユーティリティを実行できます。

メッセージストアパーティション 単一の物理ファイルシステムパーティション上に常駐するメッセージストアまたはメッセージストアのサブセット。

メッセージ転送 特定のアカウントに配信されたメッセージを、MTA がアカウントの属性で指定された1つまたは複数の新しい宛先に送信するときに発生する動作。転送は、ユーザが設定することができます。**メッセージ配信**、**メッセージルーティング**も参照してください。

メッセージの消去 メッセージに削除マークを付けて、その後に INBOX から永久に削除する動作。**メッセージの削除**、**メッセージのパージ**も参照してください。

メッセージのパージ 削除マークが付いたメッセージを永久に削除し、ユーザおよびグループフォルダ内で参照されないようにし、領域をメッセージストアファイルシステムに戻すプロセス。**メッセージの削除**、**メッセージの消去**も参照してください。

メッセージ配信 MTA がローカル受信者 (メールフォルダまたはプログラム) にメッセージを配信したときに発生する動作。

メッセージ発行 クライアント User Agent (UA) は、メールサーバにメッセージを転送して、配信を要求します。

メッセージルーティング 最初の MTA が、受信者がローカルアカウントではなく他の場所に存在すると判断したときに、1つの MTA から別の MTA にメッセージを転送する動作。ルーティングは通常、ネットワーク管理者によってのみ構成されます。**メッセージ転送**も参照してください。

メンバー 配布リストに宛て先指定された電子メールのコピーを受け取るユーザまたはグループ。**配布リスト**、**展開**、**モデレータ**、**所有者**も参照してください。

モデレータ 配布リストに宛先指定されたすべての電子メールを最初に受信するユーザで、(A)メッセージを配布リストに転送する、(B)メッセージを編集して配布リストに転送する、(C)メッセージを配布リストに転送しないことを決定します。**配布リスト**、**展開**、**メンバ**も参照してください。

ユーザアカウント サーバにアクセスするアカウント。ディレクトリサーバ上のエン트리として保持されます。

ユーザエージェント (UA) ユーザがメールメッセージを作成、送信、受信できるようにするクライアントコンポーネント。Netscape Communicator など。

ユーザエン트리またはユーザプロフィール 各ユーザに関する必須および任意の情報を説明するフィールド。たとえば、識別名、氏名、役職、電話番号、携帯端末番号、ログイン名、パスワード、ホームディレクトリなどが含まれます。

ユーザ制限値 電子メールメッセージ用にユーザに割り当てられる容量。システム管理者によって構成されます。

ユーザフォルダ ユーザの電子メールのメールボックス。

レベル ログに記録する情報内容の指定。ログファイルに記録されるイベントの種類に関連番号を意味します。たとえば、Emergency レベルでは、わずかなイベントしかログに記録されませんが、Informational レベルでは、多くのイベントがログに記録されます。

リバース DNS 検索 数値 IP アドレスを同等の完全修飾ドメイン名に解釈するために DNS を照会するプロセス。

リレー 1つのメッセージ送信サーバから別のメッセージ送信サーバにメッセージを渡すプロセス。

ルータ ネットワークトラフィックが、複数のパスのどれをたどるかを決定するシステム。ルーティングプロトコルを使用してネットワークに関する情報を取得し、アルゴリズムを使用して「ルーティングマトリックス」として知られる複数の条件に基づいて最適なルートを選択します。OSI 用語では、ルータは、ネットワークレイヤー中間システムです。**ゲートウェイ**も参照してください。

ルーティング **メッセージルーティング**を参照してください。

ルートエン트리 ディレクトリ情報ツリー (DIT) 階層の最初のエン트리。

ルックアップ 検索と同じです。データのソートに指定パラメータを使用します。

ローカル部分 受信者を識別する電子メールアドレスの一部分。**ドメイン部分**も参照してください。

ログ期限 有効期間が過ぎたログファイルは、ログディレクトリから削除されます。

ログディレクトリ すべてのサービスのログファイルが保持されるディレクトリ。

ログローテーション ログファイルを最新にするための新しいログファイルの作成。すべての後続のログ記録イベントは、新しいファイルに書き込まれます。以前のログファイルにはそれ以上書き込まれませんが、ログディレクトリ内に残ります。

ワイルドカード 1つまたは複数のほかの文字または文字範囲を表すことができる検索文字列における特殊文字。

ワークグループ サーバが、ローカルオフィスやワークグループ内で、独自のルーティングおよび配信を実行するローカルワークグループ環境。部門間メールは、バックボーンサーバにルーティングされます。**バックボーン**も参照してください。

索引

A

A レコード, 59
ACI, 112

C

CNAME, 59

D

DC ツリー, 18
dirsync、マルチスキーマサポートの構成, 56
DNS 検索, 32
DNS レコード、変更, 59

I

IMAP, 14
imbackup, 45, 77
ims_dssetup.pl, 63
imsdaaci, 36, 112
imsdirmig, 36, 46, 51, 109
imsdirmig45, 107, 109
imsrestore, 45, 77
iPlanet Messaging Server

SIMS/NMS のコンポーネント, 14
デザインの原理, 13

L

LDAP, 69
local.store.synclevel, 61

M

mgrpAllowedBroadcaster, 27
mgrpBroadcasterPolicy, 27
mgrpErrorsTo, 27
mgrpMsgRejectAction, 27
MMP サーバ、マルチシステム移行
NMS MMP サーバ, 102

N

Netscape Directory Server 4.12, 36
Netscape Mail Server
UID 制限, 18
ネームスペース制限, 18
Netscape Messaging Server, 61
MMP サーバのアップグレード, 102
SMTP リレーサーバのアップグレード, 98

- SMTP リレーのアクティブ化, 28
- SMTP リレー、使用, 28
- 既存のネームスペース使用, 117
- シングルサーバメッセージストアの移行, 64
- 単一ドメインネームスペースのマッピング, 118
- ネーミングコンテキストの追加, 97
- バックエンドメッセージストア、移行, 102
- 複数ドメインネームスペースのマッピング, 121
- マルチサーバ移行, 97
- マルチスキーマサポート, 117
- メッセージストアのサポート中止, 34

Netscape Messaging Server (NMS), 13

Netscape Messaging Service

- サポートされていないグループ属性, 27

NMS

- MTA のサポート中止 / 変更, 26

P

POP, 14

R

RBL チェック, 32

S

SIMS, 90

- dirsync マルチスキーマ構成, 56
- MTA のサポート中止および変更, 21
- POP/IMAP プロキシサーバ、アップグレード, 75
- SMTP リレーサーバのアップグレード, 73
- オフラインメッセージ移行、マルチサーバ, 76
- オンライン移行、マルチサーバ, 81
- オンライン移行、マルチサーバ、ハードウェアに
余裕あり, 86
- オンライン移行、マルチサーバ、ハードウェアに
余裕なし, 82
- シングルサーバオフラインシステム, 44

- シングルサーバオンラインメッセージストア移行
, 48
- シングルサーバメッセージストアの移行, 54
- ドメインエントリのアップグレード, 73
- プロキシサーバ構成, 57
- マルチサーバの導入, 72
- マルチスキーマサポート, 116
- メッセージストアのオフライン移行, 38
- メッセージストアのオンライン移行, 39
- メッセージストア移行方法, 38
- メッセージストアのサポート中止, 24
- メッセージストアの段階的な移行, 40

SMTP AUTH, 22

SMTP リレー, 100

- 追加, 22

SMTP ルータ, 68

Sun Internet Messaging Server (SIMS), 13

V

Vacation (不在) 属性、SIMS, 21

あ

アンチリレー, 28

い

- 移行ステップ, 36
- 移行ツールキット, 36
- 移行プロセス, 36

か

外部サイトでの SMTP リレー、NMS での使用, 30

き

既存の使用, 37
許可のない大量電子メール, 32, 33

け

結合スキーマファイル, 116

こ

高可用性クラスタ、移行, 34
構成サーバ, 37
 インストール, 71
コマンド行インタフェース, 109
コンパイル構成, 21
コンポーネント, 14

さ

サービス管理者グループ, 112

し

シングルサーバシステム, 43

す

スキーマ
 マルチスキーマサポート, 36, 116
スキーマファイル、結合, 116

せ

セパレータ、NMS の UID 制限, 18
前提条件, 9, 35

そ

組織ツリー, 18

た

対象読者, 9
段階的な移行、マルチサーバ、SIMS, 90

ち

知識, 9

つ

通知、メーリングリスト, 26

て

ディレクトリ
 Netscape Directory Server 4.12 へのアップグレード
 , 115
 既存の DIT, 117
 既存の DIT の使用, 117
 サーバサポート, 15
 サポートおよび変更, 15
 相違, 14
 ディレクトリ情報ツリー
 相違, 16
 ネームスペース制限, 18
 マルチスキーマのサポート, 116

ディレクトリ移行中のエラー, 107
ディレクトリ情報ツリー
「ネームスペース」も参照, 18
デバイス バックアップ, 77
デバイスへのバックアップ, 77

と

同期レベル、設定, 61
ドメインエントリ, 56
ドメインエントリ、アップグレード, 73
ドメイン管理者グループ, 112
トラブルシューティング, 107

ね

ネームスペース, 18
ネームスペース制限, 18
ネームスペース、NMS の使用, 117

は

バックアウト, 107
バックアップ、デバイス, 45

ひ

表記規則, 10

ふ

プラグイン, 26, 36
プロキシ, 69

ほ

保持キュー, 59, 94

ま

マニュアル
オンライン, 12
メッセージ, 12
マニュアルページ, 109
マルチサーバ移行, 67
NMS バックエンドメッセージストア, 102
NMS マルチサーバの導入, 97
NMS、SMTP リレーサーバのアップグレード, 98
NMS、ネーミングコンテキストの追加, 97
SIMS SMTP サーバ、アップグレード, 73
SIMS 段階的な移行, 90
SIMS、オンライン移行方法, 81
SIMS、オンライン移行、ハードウェアに余裕あり, 86
SIMS、オンライン移行、ハードウェアに余裕なし, 82
構成サーバ、インストール, 71
シナリオのトポロジ, 68
プロセスの概要, 68
マルチサーバシナリオのトポロジ, 68
マルチスキーマサポート, 37

め

メーリングリスト
アクセスのブロック, 22
メッセージストア, 34

り

リレー
追加, 22
リレー、追加, 100